SONY

4-435-911-**02**(1)

デジタルハイビジョンチューナー内蔵
ハードディスク搭載

ブルーレイディスク™/ DVDレコーダー

取扱説明書

使い始めの操作については、別冊の
「らくらくスタートガイド」をお読みください。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書と別冊の「らくらくスタートガイド」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

BDZ-EX3000 / BDZ-ET2000 / BDZ-ET1000 / BDZ-EW2000 / BDZ-EW1000 / BDZ-EW500 / BDZ-E500

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2～3ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。「はじめにお読みください」(6ページ)もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

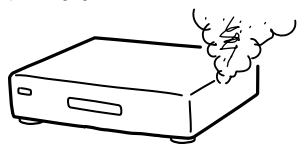
禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に水が入ったものや、重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

禁止

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。

指示

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

分解禁止

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

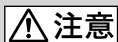
本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

指示

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。
過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。
➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

禁止

安定した場所に置く

水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

コード類は正しく配置する

信号ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、すべての信号ケーブルや電源コードを抜く

信号ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

指示

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

指示

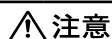
電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンの電池フタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

指示

目次

録画する

再生する

ネットワークで楽しむ

削除／編集する

コピー／ダビングする

PSP®や"ウォークマン"・携帯電話などに持ち出す

他機器から取り込む

接続する

設定を変更する

困ったときは

その他

はじめにお読みください

本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれる「ソフトウェア等に関する重要なお知らせ」(146ページ)をお読みください。お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります(8ページ)。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと(表示窓が消灯し、さらに録画状態、ダビング状態、データ取得状態でないこと)を確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。ただし、本機の[設定]の[本体設定]にて、[スタンバイモード]の設定が「瞬間起動」になっている場合は電源を切ってもハードディスクが動作しているので、設定を「標準」または「低消費待機」に変更してから電源を切ってください。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理･点検の際、不具合症状の発生･改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製･保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機を使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。通常、本体の電源ボタンで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。
本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が、また本機の電源が切れるときには、本体表示窓に「POWER OFF」が点滅表示されます。
電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

操作を受け付けないときは

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面の扉を開き《リセット》ボタンを押してください(118ページ)。

電源を「切」にしているときのご注意

次のようなときは電源が「切」の状態でも、本機のシステムの一部は動作しているため、本機が温かくなったり、ファンやハードディスクが動作したりすることがありますが、故障ではありません。

– 番組表などのデータ取得中
– 録画中のとき(録画予約やx-おまかせ･まる録など)
– ダビング中のとき
– [HDMI機器制御設定]の[高速連動]が[入]に設定されているとき
– 本機のホームサーバー機能やLAN録画／ LANムーブ、リモート録画予約機能を利用しているとき
– [スタンバイモード]が[瞬間起動]に設定されているとき
– ソフトウェアのアップデートを行っているとき
– スカパー！ e 2の無料視聴期間サービスを利用しているとき

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

個人情報などのお取り扱いについて

- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されている個人情報などのデータを[設定初期化](111ページ)で削除することを強くおすすめします。
  削除をしないまま廃棄、譲渡等を行うと、記録されている個人情報が第三者に知られてしまう可能性があります。
- 本機に記録されている個人情報などのデータは次の内容です。
  – 各種機能の設定時のIPアドレスなど
  – お知らせ、番組購入履歴など
  – 放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなど
  – インターネットサービスに機器を登録した際に発行される機器登録(識別)情報
  – リモート録画予約で登録した機器などに設定されている「ニックネーム」および「機器名」
- アクトビラやTSUTAYA TV、T's TVのホームページで登録した情報は、サービス提供元のサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、アクトビラやTSUTAYA TV、T's TVの規約などに従って必ず登録情報の削除を行ってください。
- MACアドレスは、リモート録画予約の初回登録時にサービス事業者のサーバーに送信されます。
- 本製品内に記録された録画予約およびタイトルなどに関わる情報は、リモート録画予約の利用時にサービス事業者のサーバーへ送信されます。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

内蔵無線LANについて(対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000)

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4GHz/5GHz帯です。2.4GHz帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(以下他の無線局と略す)が運用されており、本製品と電波干渉を起こす場合があります。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、機器の運用を停止してください。

3 その他、わからないときや困ったときは、お買い上げのお店またはソニー使い方相談窓口にお問い合わせください(129ページ)。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解/改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

法令により5GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

⚠警告

心臓ペースメーカーの装着部位から22㎝以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

禁止

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは利用を控える

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

著作権に関するご注意

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- コピー制御信号が含まれている映像・音声は、本機で録画・録音できない場合があります。また、同様の信号が、本機の出力端子からの映像・音声に含まれる場合、他機で録画・録音できなかったり、録画したものを正常な映像で再生できない場合があります。

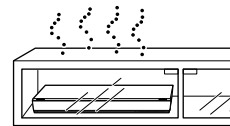
- 本機は、無許諾のBD/DVD(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、つなぐテレビの画面に合わせて映像の横縦比や表示範囲を選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード設定等を利用してオリジナルと異なる見えかたで再生などを行いますと、著作権法で保護されている著作者などの権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
- 著作権の対象になっている画像やデータの記録された"メモリースティック"は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。
- Cinaviaの通告
  この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
  Cinavia技術に関する詳細情報は、
  http://www.cinavia.com
  のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

  この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2010 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

3D映像の視聴について

3D映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器や本機で再生するブルーレイディスクの取扱説明書、ご注意文などもあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ
(http://www.sony.jp/support/)をご覧ください。なお、お子さま(特に6歳未満の子)の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- 熱のこもりやすい所

- 振動の多い所
- 直射日光が当る所、湿度や温度が高い所
- 極端に寒い所

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

本機を移動するときは、ディスクを取り出してから行ってください。
入れたままで移動するとディスクに傷などが入る場合があります。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽を楽しむときは

映画や音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

BDやDVD、CDの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

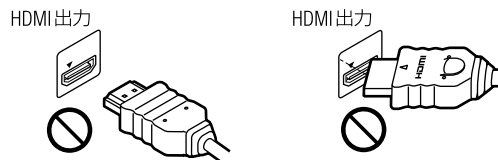
- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  - 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。

HDMI出力端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI出力端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体後面のHDMI出力端子とコネクターの形や向きに注意してください。

- 本機を移動させるときは、必ずHDMIケーブルを抜いてください。

- HDMIケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HDMI出力端子に強く押しこんだりしないでください。

本書の記載について

- 本書では、BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500 / E500の7機種について説明しています。
- 本書では、「ハードディスク」のことを「ハードディスク」または「HDD」、「ブルーレイディスク」のことを「BD」と記載しています。
- 本書中の《 》内の項目はボタン名、[ ]内の項目は画面上に表示される項目です。
- 本書記載のサービスや問い合わせ先、別売アクセサリー、接続機器については、2012年7月現在のものです。
- 全機種共通の機能を説明する場合、本書では、BDZ-EW500のイラストを使っています。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書で使われている画面イラスト内の番組名は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などと関係ありません。
- 放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス内容は、変更･中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。
- 有料多チャンネル放送サービス「スカパー!」は、2012年9月29日より、サービスブランド名称が変更となりました。本書では、変更前の名称で記載しています。詳しくはスカパー!カスタマーセンター(129ページ)までお問い合わせください。

  本書の主な記載
  - スカパー! e2→スカパー!
  - スカパー! HD→スカパー!プレミアムサービス
  - スカパー! HD録画→スカパー!プレミアムサービスLink
  - スカパー!ダビング→スカパー!プレミアムサービスLink

番組表 番組を探してみよう

リモコン（135ページ）の《番組表》ボタンを押すと表示される番組表では、新聞の代わりに1週間先の番組をらくらく探せます。

全体情報エリア
（放送サービス、放送局、放送日、現在時刻など）

⏻：録画予約した番組
⏻：日時指定予約した番組
❙（赤）：予約のある時間帯
❙（ピンク）：これ以上予約できない時間帯*

* 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

操作情報エリア
（カラーボタンやオプションなど、便利なショートカットボタン）

番組表でできること

録画予約する

録画したい番組を選び、《決定》ボタンを押します（16ページ）。

探す

《緑》ボタンでチャンネル別の週間番組表にしたり、《10秒戻し／ 15秒送り》ボタンでページを送ったりして番組を探せます。また、《オプション》ボタンを押すと、［日時指定］で探すこともできます。

もっと探す

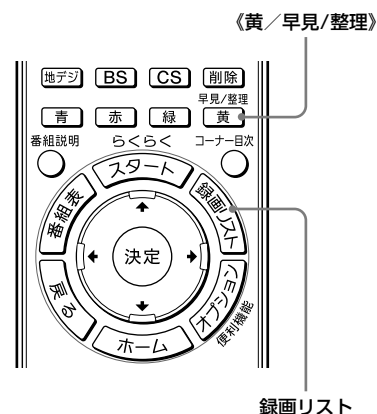
《オプション》ボタンを押すと、［番組検索］もできます。
好きなタレントが出ている番組もキーワードで絞り込んで探せるので便利です。

見る

見たい番組を《決定》ボタンで選び、［選局する］ことができます。

録画リストを使ってみよう

リモコン（135ページ）の《録画リスト》ボタンを押すと、録画リストの画面が表示され、見たい番組をすぐに探せます。

グループ分けですぐに見つかる！
リモコンの《黄／早見/整理》ボタンを押すと、年月やジャンルなど、さまざまな切り口でグループ分けできます。

録画リストでできること

録画した番組を見る

画像付きのタイトルを選び、《決定》ボタンを押すだけで再生できます（27ページ）。

タイトル検索

[タイトル検索]を選ぶと、見たいタイトルをジャンルやキーワードで検索できます（30ページ）。

オートグルーピング

リモコンの《黄／早見/整理》ボタンを押すと、年月やジャンルなどの切り口でグループ分けできます（31ページ）。

並べ替え

リモコンの《緑》ボタンを押すと、日付順、タイトル名順などでタイトルを並べ替えられます（31ページ）。

よく使うボタン

《戻る》ボタン：前の画面に戻ります。

《オプション》ボタン：そのときできることをメニュー表示します。

録画リストの他にも、ホームメニューのビデオ列には本機を使ううえで便利な機能がたくさんあります

- 番組を録画予約する（16ページ）
- 録画予約の確認や修正をする（20ページ）
- 外付けハードディスクの映像を見る（27ページ）
- ディスクの映像を見る（28ページ）。
- 映像を持ち出して楽しむ（73ページ）*。
- 映像を取り込んで楽しむ（77ページ）。
- ビデオテープの映像を取り込んで楽しむ（82ページ）。
- 本機と外付けハードディスク間で映像をコピーする（67ページ）。
- 映像をディスクに残す（63ページ）。
- おまかせ録画の設定をする（22ページ）。

* 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

録画する

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/bd/manual/

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも紹介しています。

録画できるディスク／ハードディスクの種類

本機のハードディスクに録画したい

☞次のページも参考にしてください。
- 本機のハードディスクの空き容量を確認したい(19ページ)。

通常は、本機のハードディスクに録画します。

外付けハードディスクに直接録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 外付けハードディスクを本機につなぎ、[USB HDD登録]で外付けハードディスクを登録する(96ページ)。

☞次のページも参考にしてください。
- 外付けハードディスクの空き容量を確認したい(19ページ)。

録画予約設定画面(16、25ページ)で[録画先]>[USB]に設定してください。
録画予約のたびに選ばずに、外付けハードディスクに録画するには、ホームメニュー>[設定]>[ビデオ設定]>[予約録画「録画先」初期値]>[USB HDD]に設定します(104ページ)。

BDに直接録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- BDを用意する。

☞次のページも参考にしてください。
- ディスクの空き容量を確認したい(19ページ)。
- 利用できるディスクを確認したい(139ページ)。

1 ディスクを入れ、録画先を設定する。
録画予約設定画面(16、25ページ)で[録画先]>[BD]に設定してください。

ご注意
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。BD-RE XL(3層)／ BD-R XL(3層／ 4層)は、BD-RE XL(3層)／ BD-R XL(3層／ 4層)に対応したBD機器で再生できます。
- デジタル放送などコピー制限付きの番組をBDに直接録画した場合、タイトルには 1回 が付き、本機のハードディスクに1回移動(ムーブバック)できます(66ページ)。

以下のことはできません
- 外付けハードディスクに次の録画をすること。
  - LAN録画／ LANムーブ。
  - 複数番組の同時録画。
- BDに次の録画をすること。
  - おまかせ録画。
  - LAN録画／ LANムーブ。
  - 複数番組の同時録画。

DVDに直接録画したい

DVDには直接録画できません。本機／外付けのハードディスクに録画してからダビングしてください(16、64ページ)。

録画の前にお読みください

録画を始めるとき／録画を途中で止めるとき

録画を始めるとき

電源「入」／「切」に関わらず、録画開始時刻になると録画を開始します。
終了時刻になると、自動で録画が終了します。

録画を途中で止めるとき

録画中（●）のタイトルを選び、■《停止》ボタンを押します。

録画中の操作制限

録画中は次の操作はできません。
- 記録モードを変更してダビング。
- 録画中の番組の編集。
- おでかけ転送（高速以外）／転送用動画ファイルの作成*[1]。
- 思い出ディスクダビング。
- x-Pict Story HD。
- まるごとDVDコピー。
- インターネットサービスの利用。

録画の種類	できないこと
複数番組同時録画中*[2]	• 他のチャンネルを視聴すること。 • ブラビアリンクの「見て録」。 • おでかけ転送／おかえり転送*[1]。 • VHSダビング。 • HDV/DVダビング*[3]。
BDに録画中	• BDやDVDの再生、編集、ダビング。 • ディスクのフォト再生／取り込み。 • 無線でおでかけ転送*[1]。
外付けハードディスクに録画中	• HDD⇔USB HDDダビング。
LAN録画／ LANムーブ中	• BD-ROMの再生。 • ルームリンクから見ること。 • HDV入力録画／ダビング*[3]。 • 無線でおでかけ転送*[1]。
外部入力録画中	• VHSダビング。 • DVダビング*[3]。
HDV入力録画中*[3]	• LAN録画／ LANムーブ。 • HDV/DVダビング*[3]。
DV入力録画中*[3]	• VHSダビング／外部入力録画。 • HDV/DVダビング*[3]。

*[1] 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。
*[2] BDZ-E500では録画中、BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500では2番組同時録画中、BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000では3番組同時録画中。
*[3] 対象機種：BDZ-EX3000。

ちょっと一言
- 録画を優先するため、リモコン操作などが一時的に遅くなることがあります。
- 複数番組同時録画中（BDZ-E500のときは録画中）に、他のチャンネルを見たい場合は、テレビ側で視聴してください。
- 番組の特定の場面を選んで録画することはできません。録画したあとに、不要な場面を削除したり（56ページ）、映像の区切りで頭出ししたり（33ページ）できます。

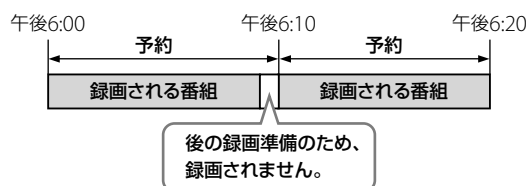
録画が重なったときに優先順位を変更したい

予約リスト（20ページ）で が表示されている番組を選び、《オプション》ボタンを押します。［優先変更］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

優先順位を変更した後、《緑》ボタンを押して表示を優先順に変更すると、予約リストの上に表示されます。

連続した番組を録画するときの制限

次の場合、後の録画予約番組を最初から録画するため、前の録画予約は終了予定時刻より早く録画停止します。

前の録画予約の終了時刻と後の録画予約の開始時刻が同じで、
- BDZ-E500を使用している場合。
- BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500を使用していて、後の録画予約の開始時刻に他の番組が録画されている場合。
- BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000を使用していて、後の録画予約の開始時刻に他の番組が2番組同時録画されている場合。

録画予約が連続しているかを確認するには

「録画予約状況を確認／修正／取り消したい」（20ページ）の手順で確認できます。

録画中のランプ

録画中にランプが点灯します。
詳しくは、「各部のなまえ」（132ページ）をご覧ください。
ランプが点滅しているときは、119ページをご覧ください。

録画モードとは

☞次のページも参考にしてください。
- 録画モードと録画／ダビング可能時間（141ページ）。

お買い上げ時の設定はSRモードです。

DRモード

ハイビジョンの番組や二か国語放送、字幕付きの番組をそのまま録画できます。
二か国語放送や字幕付きの番組を再生時に切り換えできるようになり便利です。

項目	記録できる内容
デジタル放送の映像	映像1
画質	ハイビジョン（HD）／スタンダード（SD）画質／混在
横縦比（映像サイズ）	16:9 ／ 4:3 ／混在
外部入力からの録画	録画不可
二か国語放送	すべての音声
字幕	字幕データ（再生時に入／切可）

DRモード以外

XR/XSR/SR/LSR/LR/ERモードは、外部チューナーからの録画や、容量をおさえて録画したいときに選びます。
画質は劣りますが、より多くの番組を録画できて便利です。

項目	記録できる内容
デジタル放送の映像	**BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000をお使いのときは** ［詳細設定］（17ページ）で選んだ映像 **BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500をお使いのときは** 映像1
画質	ハイビジョン（HD）／スタンダード（SD）画質
横縦比（映像サイズ）	16:9 ／ 4:3
外部入力からの録画	録画可
二か国語放送	**BDZ-EX3000 / ET2000 /ET1000をお使いのときは** 1つの音声。設定方法は「記録する音声を選びたい」（18ページ）をご覧ください。 **BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500をお使いのときは** すべての音声
字幕	録画不可

ご注意

- 映像や音声の情報量は番組や放送局などにより異なります。そのため、録画時間が同じでも、録画後の容量は異なることがあります。DRモードでの録画は、タイトルによってはDR以外のモードで録画したタイトルよりも、容量が少なくなることがあります。

以下のことはできません

- データ放送や、BS/110度CSデジタル放送のラジオ放送を録画すること。

録画モードを設定／変更したい

録画予約するときは
「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい（詳細設定）」（16ページ）の手順3の［モード］で設定します。

いま見ている番組を録画するときは
番組視聴中に、オプションメニューから［録画モード］＞変更したい録画モードを選びます。●《録画》ボタンを押して録画します（24ページ）。

録画予約した番組の録画モードを変更するには
「録画予約状況を確認／修正／取り消したい」（20ページ）の手順2で、［モード］＞変更したい録画モードを選んでください。

ご注意

- LAN録画／ LANムーブでは、録画モードはDRのみとなり、変更できません。

番組表から録画予約したい

番組表から録画予約したい（一発予約）

1 番組表（10ページ）を表示する。

《番組表》ボタンを押します。

《地デジ》ボタン／《BS》ボタン／《CS》ボタンのどれかを押します。

ご注意

- 番組表の一部が表示されない場合は、表示したい放送局をしばらく視聴するか、オプションメニューから番組表取得すると表示されます。これは、初めてご使用になるときや、数日間本機の電源コードを抜いていた場合に起こります。

2 録画したい番組を選ぶ。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

一発予約するには

《決定》ボタンの代わりに●《録画》ボタンを押します。これで番組の録画予約ができ、以下の手順3、4の操作は不要です。

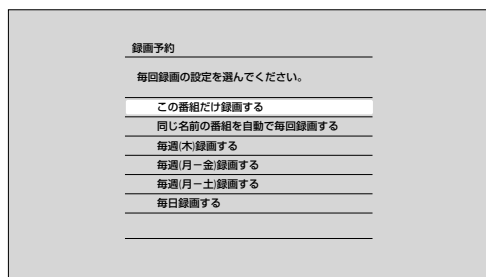
録画モード（15ページ）は前回の録画予約と同じ設定になります。

3 録画予約方法を選ぶ。

［予約する］を選び、《決定》ボタンを押します。

4 毎回録画の条件を設定し、録画予約する。

条件を選び、《決定》ボタンを押します。

番組表に ⏲ が表示されます。

毎回録画の条件

［毎週（月-金）録画する］などの毎回録画の条件を選ぶと

毎日／毎週同じ曜日の同じ時間に録画します。

［同じ名前の番組を自動で毎回録画する］を選ぶと

同一チャンネル内を番組名で検索して自動録画します。

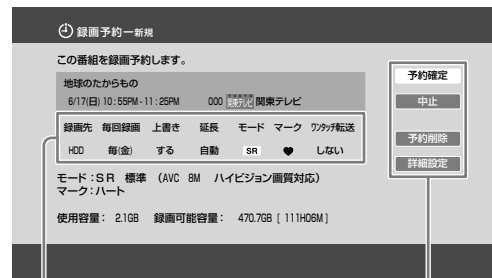
「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい（詳細設定）」（16ページ）の手順3で、［毎回録画］を選び、［番組名］で設定もできます。

番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい（詳細設定）

1 「番組表から録画予約したい（一発予約）」（16ページ）の手順1、2を行う。

2 録画予約方法を選ぶ。

［予約設定へ］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画の条件を設定する。

録画の条件を変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
録画先	［HDD］本機のハードディスク／［USB］外付けハードディスク／［BD］ブルーレイディスクを選べます。
毎回録画	定期的に録画する条件を設定できます。［番組名］を設定すると、番組名を検索して自動で録画予約します。
上書き（［録画先］を［HDD］に設定した場合のみ）	［毎回録画］を設定したとき、前回録画した番組（タイトル）を削除したうえで新しい回を録画できます。
延長	［自動］に設定すると、放送局から送られてくる番組の延長情報により、自動的に録画を延長します。 または、録画の終了時間を最長60分まで指定して延長することもできます。 スポーツ延長対応（103ページ）の設定と組み合わせると最長180分まで延長できます。
モード	録画モードについては「録画モードと録画／ダビング可能時間について」（141ページ）をご覧ください。

項目	できること
マーク（[録画先]を[HDD]／[USB]に設定した場合のみ）	分類用のマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、録画したタイトルをマークごとに分類できて便利です（31ページ）。
ワンタッチ転送*[1]*[2]（[録画先]を[HDD]に設定した場合のみ）	すばやくおでかけ転送できます（74ページ）。録画後に編集すると、ワンタッチ転送できなくなるのでご注意ください。

*[1] 「おでかけ転送設定」（105ページ）で[おでかけ転送機器]を[スマートフォン／タブレットPC]に設定してある場合は、[自動転送]になります。
*[2] 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

録画する音声を変更するには

「二か国語放送／字幕付きの番組を録画したい」（18ページ）をご覧ください。

録画する映像を変更するには

BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000をお使いのときは

操作ボタンエリアの[詳細設定]から設定してください。

録画モードが[DR]のときは、映像は映像1となり、詳細設定はできません。

BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500をお使いのときは

録画モードによらず、映像は映像1のみとなります。

4 録画予約する。

操作ボタンエリアで[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

番組表に ⏻ が表示されます。

12時間以上の番組を録画したい

12時間を超える番組は連続して録画できません。

1 番組を12時間以内に区切って録画する。

「日時を指定して録画予約したい（日時指定予約）」（24ページ）の手順1 ～ 3を行い、12時間以内になるように[開始時刻]と[終了時刻]を設定してください。

毎週／毎日ある番組を全部録画したい

毎週／毎日ある番組を全部録画したい

「番組表から録画予約したい（一発予約）」（16ページ）の手順4で、毎回録画の条件を選びます。

番組を自動で録画したい

次の録画予約方法は、異なる曜日や時間で放送される場合でも、本機が条件に合った番組を録画します。

- 毎回録画（16ページ）の条件で、[同じ名前の番組を自動で毎回録画する]、または[番組名]を選ぶ。
- x-おまかせ･まる録（22ページ）。

自動で録画するときの二度録り回避について

連続ドラマやアニメなど話数のある番組では、一度録画した話は再放送があっても録画を回避します。同じタイトル名で、「第2話」や「＃2」など、話数が付いている番組が対象です。

ちょっと一言

- 本機から削除された番組でも、再放送は録画しません。録画したいときは、毎回録画の設定を、「同じ名前の番組を自動で毎回録画する」と「番組名」以外にして録画予約してください。
- 一度録画した番組が再放送されたときに、本機が録画を回避するのは録画から約半年の間です。
- 録画した番組の学習情報は、ホームメニュー＞[設定]＞[設定初期化]＞[学習情報の初期化]＞[おまかせ･まる録の学習情報]で、初期化できます。
- 同じ番組でも、番組情報や放送局が異なる場合は再び録画されることがあります。

初回や最終回だけ放送延長されても最後まで録画したい（番組追跡録画）

連続ドラマの番組を毎回予約したときに最終回だけ放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃さず録画できます。追跡できる範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後までです。

お買い上げ時は[番組追跡録画]（103ページ）は[入]に設定されています。

イベントリレーに対応するには

録画予約設定画面（16ページ）で［延長］を［自動］に設定してください。
放送時間内に終わらなかったときや、延長部分の放送が他のチャンネルで継続されるとき（イベントリレー）でも、本機が自動的に録画して対応します。

ご注意

- 次の場合は、番組の追跡ができず録画されないことがあります。
  - 放送される番組の番組名が変更された場合。
  - 番組名が短い場合。
  - 放送時間が大幅に短くなった場合。

二か国語放送／字幕付きの番組を録画したい

二か国語放送の番組を再生時に音声切換できるように録画したい

BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000をお使いのときは
番組を「DRモード」で録画してください。
「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい（詳細設定）」（16ページ）の手順3で、［モード］＞［DR］に設定します。

BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500をお使いのときは
録画モードにかかわらず、再生時に音声を切り換えられます。

記録する音声を選びたい

BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500をお使いのときは
設定や録画モードにかかわらず、二か国語はすべて記録されます。

BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000をお使いのときは
番組に記録されている音声により、操作が異なります。「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい（詳細設定）」（16ページ）の手順1で番組を選んだ後、番組説明の音声情報を確認してください。

- **［二重音声］が表示されるときは**
  ［二重音声記録］（104ページ）で［主音声］や［副音声］のどちらかを選び、DRモード以外で録画します（16ページ）。
- **［音声1］／［音声2］が表示されるときは**
  「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい（詳細設定）」（16ページ）の手順3でDRモード以外の録画モードを選んでください。［詳細設定］で第1音声や第2音声のどちらかを選び、録画します。

字幕付きの番組を再生時に字幕切換できるように録画したい

番組を「DRモード」で録画してください。

複数の番組を同時に録画したい

☞次のページも参考にしてください。
- 録画中の操作制限（14ページ）。
- 録画中のランプについて（132ページ）。

ご注意

- 本機のハードディスクは、複数番組の録画先として選べます。外付けのハードディスクとBDは、同じ時間に1番組しか録画先として選べません。
本機のハードディスクとあわせてお使いください。

2つの番組を同時に録画したい（2番組同時録画）

対象機種：BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500

次の組み合わせで2番組同時録画できます。
- デジタル放送2番組。
- デジタル放送＆外部入力録画。
- デジタル放送＆LAN経由の録画* ／ムーブ。
- LAN経由の録画* ／ムーブ＆外部入力録画。

* CATV録画／「スカパー！ HD録画」。

2つ以上の番組を同時に録画したい（2番組／ 3番組同時録画）

対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000

次の組み合わせで3番組同時録画できます。
- デジタル放送3番組。
- デジタル放送2番組＆外部入力録画。
- デジタル放送2番組＆LAN経由の録画* ／ムーブ。
- デジタル放送＆LAN経由の録画* ／ムーブ＆外部入力録画。

* CATV録画／「スカパー！ HD録画」

録画先の空き容量を確認したい

本機のハードディスクの空き容量を確認したい

1 空き容量を確認する。
《録画リスト》ボタンを押します。
映像（タイトル）を選び、《オプション》ボタンを押します。
［HDD情報］を選び、《決定》ボタンを押します。

BDの空き容量を確認したい

1 ディスクを入れる。

2 ディスクアイコンを選ぶ。
《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

3 空き容量を確認する。
［情報表示］を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクの空き容量を確認したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 外付けハードディスクを本機につなぐ（96ページ）。

1 外付けハードディスクを選ぶ。
《録画リスト》ボタンを押します。
外付けハードディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。

2 空き容量を確認する。
［情報表示］を選び、《決定》ボタンを押します。

録画予約状況を確認／修正／取り消したい

予約リストを使って重複の確認、優先順位の変更などもできます。

1 予約リストを表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

[予約確認]＞[予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 予約を修正する。

優先順の表示にするには

優先順位を変更した後、《緑》ボタンを押して表示を[優先順]に変更すると、予約リストに表示されます。

予約を取り消すには

予約リストから番組を選び、《決定》ボタンを押します。[予約削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

修正するには

予約リストから番組を選び、《決定》ボタンを押します。修正したい項目を選んで修正し、[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

録画中の番組の予約を取り消すには

《オプション》ボタンを押します。

[予約削除]＞[1件削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- ソニー製「スカパー！ HD」対応チューナーから録画予約した、視聴年齢制限のある番組は「＊＊＊＊」で表示されます。
- 「スカパー！ HD」対応チューナーで録画予約した番組は、手順2で番組名が表示されないことがあります。録画が完了すると、番組名が表示されるようになります。

ご注意

- 毎回録画の条件を設定している場合、予約リストには1件しか表示されませんが、番組表で実際の予約状況が確認できます。
- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります（番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合）。
- 他の予約と重なる場合、LAN録画／ LANムーブは、予約の優先順位を最優先にしないとまったく録画されないことがあります。

「スカパー！ HD」やCATVの番組を録画したい

CATVを録画する場合の接続方法については、ご利用のCATV局にお問い合わせください。

「スカパー！ HD」やCATVを録画したい（LAN録画）

「「スカパー！ HD」やCATVを録画したい（LAN録画）」（45ページ）をご覧ください。

CATVを本機の番組表から録画したい

CATVチューナーからの映像をパススルー方式（91ページ）で受信している場合、本機の番組表から録画できます。番組表からの予約方法は、「番組表から録画予約したい」（16ページ）をご覧ください。

外部入力から録画したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 本機と外部チューナーをつなぐ（95ページ）。
- [外部入力録画横縦比]で映像サイズを設定する（104ページ）。

デジタルCS放送や、CATV局のBS/110度CSデジタル放送、有料チャンネルなどの番組を録画する場合、本機と外部チューナーをつなぎ、日時指定予約を使って録画予約します。

1 外部チューナーの映像を表示する。

本機のリモコンの《入力切換》ボタンをくり返し押して外部チューナーの映像を表示します。

2 外部チューナーの録画予約を設定する。

外部チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画したい日時、チャンネルで録画予約を設定してください。

3 本機で日時指定予約の条件を設定する。

「日時を指定して録画予約したい（日時指定予約）」（24ページ）の手順2で、[CH]を[入力]にしてください。

4 録画予約する。

[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- AVマウスでの録画には対応していません。

番組を検索して録画予約したい

見ている番組の出演者や話題に関連する番組がほかにもないか検索したい(気になる検索)

1 検索する。
番組を視聴中に《オプション》ボタンを押します。
[気になる人名]や[気になるワード]>キーワードを選び、《決定》ボタンを押します。
[番組表]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画したい番組を選ぶ。
最大200件まで表示します。
番組を選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは
《緑》ボタンを押します。
日付順と番組名順が切り換わります。

x- おまかせ･まる録、My !番組表へ登録するには
《オプション》ボタンを押します。
[おまかせへ登録]または[My !番組表へ登録]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約方法を選ぶ。

そのまま/毎回録画予約する場合
[予約する]を選んでください(16ページ)。

録画モードなども設定する場合
[予約設定へ]を選んでください(16ページ)。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

いろいろな条件を組み合わせて番組検索したい(ジャンル検索、キーワード検索、詳細条件検索)

1 放送の種類を選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
[地デジ]/[BS]/[CS]のどれかを選びます。

2 検索方法を選ぶ。
[番組検索]を選び、《決定》ボタンを押します。
[ジャンル検索]/[キーワード検索]/[詳細条件検索]のどれかを選び、《決定》ボタンを押します。

3 検索するための条件を設定する。

4 検索する。
[検索開始]を選び、《決定》ボタンを押します。

5 録画したい番組を選ぶ。
最大200件まで表示します。
番組を選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは
《緑》ボタンを押します。
日付順と番組名順が切り換わります。

x- おまかせ･まる録、My !番組表へ登録するには
《オプション》ボタンを押します。
[おまかせへ登録]または[My !番組表へ登録]を選び、《決定》ボタンを押します。

6 録画予約方法を選ぶ。

そのまま/毎回録画予約する場合
[予約する]を選んでください(16ページ)。

録画モードなども設定する場合
[予約設定へ]を選んでください(16ページ)。

ちょっと一言

- 手順3で[ジャンル]、[キーワード]、[除外ワード]を設定して検索する条件を変更できます。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

日時やチャンネルなどから番組検索したい(日時指定検索)

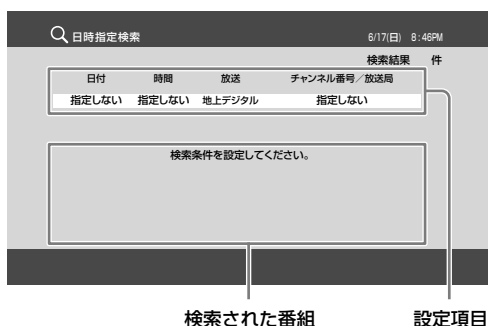
1 放送の種類を選ぶ。
《ホーム》ボタンを押します。
[地デジ]/[BS]/[CS]のどれかを選びます。

2 検索方法を選ぶ。

[番組検索]＞[日時指定検索]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 検索するための条件を設定する。

《決定》ボタンを押してから、条件を設定します。日付、時間、チャンネルのどれかを設定すると、検索が行われます。

条件を組み合わせることで、候補の番組を絞り込めます。

4 録画したい番組を選ぶ。

《黄》ボタンを押します。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

5 録画予約設定画面を表示し、録画予約する。

そのまま／毎回録画予約する場合

[予約する]を選んでください(16ページ)。

録画モードなども設定する場合

[予約設定へ]を選んでください(16ページ)。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

好みの番組を自動で探して録画してほしい(x-おまかせ･まる録)

ジャンルやキーワードを指定して自動録画したい

ジャンルやキーワードなどの条件を設定すると、番組表データの中から本機が自動でその条件に合った番組を探し、1日最大で20件まで録画します。

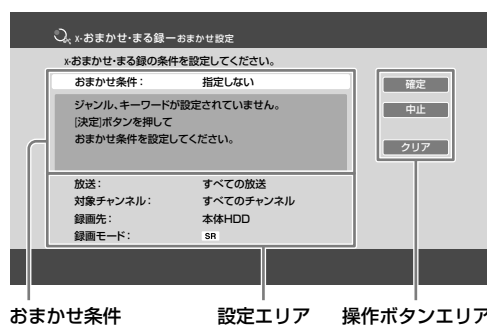
1 おまかせ設定の新規登録をする。

《録画リスト》ボタンを押します。

[x-おまかせ･まる録]＞[新規登録]を選び、《決定》ボタンを押します。

10件まで登録できます。

2 自動録画のための条件を設定する。

設定エリアで[おまかせ条件]と設定項目を設定します。キーワードは複数登録できます。

3 条件を確定する。

操作ボタンエリアで[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

x-おまかせ･まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。

ジャンルやキーワードを取り消すには

操作ボタンエリアで[クリア]を選び、《決定》ボタンを押して[確定]してください。

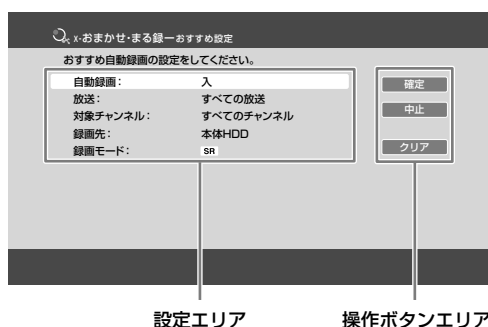
おすすめ番組を自動録画したい

お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組を自動で1日最大4件まで録画します。

1 おすすめ設定の登録をする。

《録画リスト》ボタンを押します。

[x-おまかせ･まる録]＞[おすすめ]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 自動録画のための条件を設定する。

3 条件を確定する。

操作ボタンエリアで[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

おすすめ番組の自動録画をやめるには

「おすすめ番組を自動録画したい」(23ページ)の手順2で[自動録画]＞[切]を選び、《決定》ボタンを押します。

自動で録画される番組を確認するには

自動録画の録画条件で抽出された番組や、本機が探し出したおすすめ度の高い番組など、自動で録画される予定の番組を60件まで確認できます(おまかせ予約リスト)。

1 おまかせ予約リストを表示する。

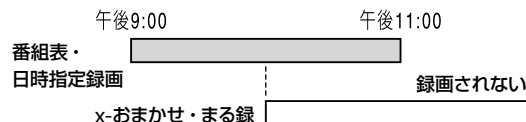
《録画リスト》ボタンを押します。

[予約確認]＞[おまかせ予約リスト]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 確実に録画したいときは、《オプション》ボタンを押して、[予約へ変更]を選び、録画予約をしてください。
- 番組表からは確認できません。

x-おまかせ･まる録と他の録画予約が重なったら

x-おまかせ･まる録以外の録画予約(BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500では、x-おまかせ･まる録以外の複数番組同時録画の録画予約)が優先されるため、x-おまかせ･まる録による録画予約は行われません。

x-おまかせ･まる録同士の録画予約が重なったら

おすすめ度の高い番組を優先して録画します。同じおすすめ度では、録画開始時刻が先のものが優先されます。

BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500では、x-おまかせ･まる録で複数番組同時録画ができます。

外付けハードディスクに録画するには

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けハードディスクを本機につなぐ(96ページ)。

1 [録画先]で[USB HDD]を選ぶ。

「ジャンルやキーワードを指定して自動録画したい」(22ページ)または「おすすめ番組を自動録画したい」(23ページ)の手順2で設定してください。

外付けハードディスクへは、1度に1番組しか録画できないため、他の録画が行われていると、x-おまかせ･まる録は行われません。

ちょっと一言

- 本機／外付けのハードディスク残量が少なくなると、x-おまかせ･まる録で録画したタイトルは自動で削除されます。自動削除対象のタイトルにはゴミ箱のアイコンが付きます(157ページ)。削除されないようにプロテクトもできます(55ページ)。
- 本機が学習した情報は、[お買い上げ時の状態に設定]で初期化できます(111ページ)。

ご注意

- x-おまかせ･まる録では、契約をしていないチャンネルの有料番組は録画されません。
- x-おまかせ･まる録設定の内容を変更／削除しても、変更直後は、変更前の設定で録画されることがあります。変更直後に確実に録画したい番組があるときは、番組表を使って録画予約してください。

自分好みの番組表を作って録画予約したい（My !番組表）

My ！番組表を使うと、テレビ雑誌を見るように、さまざまな切り口から番組を探して録画予約できます。

1 My ！番組表から、利用したい番組表を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

［地デジ］／［BS］／［CS］＞［My ！番組表］を選び、《決定》ボタンを押します。

利用したい番組表を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
みどころ特集	今"旬"と思われるテーマやキーワードを抽出し、日替わりでみどころ番組を表示します。
おすすめ番組	録画の履歴から本機が好みを学習し、おすすめ番組を表示します。
ジャンル／キーワード	［新規登録］で登録した条件に合った番組（お気に入り番組表）を最大200件まで表示します。
新規登録	ジャンルやキーワードを登録します。

2 録画したい番組を選ぶ。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約方法を選ぶ。

そのまま／毎回録画予約する場合

［予約する］を選んでください（16ページ）。

録画モードなども設定する場合

［予約設定へ］を選んでください（16ページ）。

ご注意

- みどころ特集は、お買い上げ後すぐには表示されません。表示されるまで1日程度お待ちください。
- みどころ特集の画面の背景色は、自動で変化します。

いろいろな方法で録画予約したい

いま見ている番組を録画したい

放送中の番組や外部入力の映像などを見ながら録画できます。

1 録画する。

番組視聴中に●《録画》ボタンを1回押します。

録画が開始されると、本機前面の録画ランプが点灯します。

デジタル放送は番組終了まで録画します。外部入力は30分間録画します。

録画を停止するには、■《停止》ボタンを押します。

録画時間を設定するには（クイックタイマー）

録画中に●《録画》ボタンをくり返し押して設定します。
録画を終了させたい時刻を30分単位で最長6時間まで設定できます。

ちょっと一言

- 録画中に電源を切っても、指定した終了時間まで録画されます。

日時を指定して録画予約したい（日時指定予約）

日時やチャンネルを指定して1か月先までの番組を録画予約できます。

1 録画予約設定画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

［録画予約］＞［日時指定予約］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画の条件を設定する。

録画の条件を変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
録画先	[HDD]本機のハードディスク／[USB]外付けハードディスク／[BD]ブルーレイディスクを選べます。
上書き（[録画先]を[HDD]に設定した場合のみ）	[日付]で定期的に録画する設定にした場合に、前回録画した番組（タイトル）を削除したうえで新しい回を録画します。
日付	録画の日付を選びます。
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
CH	チャンネルを選びます。
モード	録画モードについては「録画モードと録画／ダビング可能時間について」（141ページ）をご覧ください。
マーク（[録画先]を[HDD]／[USB]に設定した場合のみ）	分類用のマークを設定します。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、録画したタイトルをマークごとに分類できて便利です（31ページ）。

視聴年齢制限付きの番組を録画するには（BS/110度CSデジタル放送のみ）

操作ボタンエリアで[詳細設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

予約名を変更するには

操作ボタンエリアで[予約名変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約する。

操作ボタンエリアで[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- スポーツ中継の放送延長のため、予約した番組の放送時刻が変わる可能性を本機が検知すると[ビデオ設定]＞[スポーツ延長対応]で設定した時間分長く録画します（103ページ）。
  確実に録画したい場合は、終了時間を長めに設定してください。

ブラビアの番組表から録画予約したい（ネットワーク録画予約）

「ブラビアの番組表から録画予約したい（ネットワーク録画予約）」（48ページ）をご覧ください。

外出先から録画予約や録画した番組を整理したい（リモート録画予約）

「外出先から録画予約や録画した番組を整理したい（リモート録画予約）」（51ページ）をご覧ください。

再生する

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/bd/manual/

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも紹介しています。

ハードディスクに録画した番組や映像を再生したい

本機／外付けのハードディスクに録画した番組や映像を再生できます。

録画した番組や映像を再生したい

1 映像（タイトル）を再生する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

タイトル一覧（タイトルリスト）画面

●録画中でも再生できます（追いかけ再生）。

再生したことがあるタイトルは、前回再生を止めた位置から再生が始まります（つづき再生）。

ご注意

- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、視聴期限や有効期限が指定されていることがあります。有効期限を確認するには、オプションメニューから［情報表示］を選び、タイトル情報画面を表示してください。また、再生中に有効期限が切れた場合は、再生を停止します。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルを再生するときは、あらかじめ本機をネットワークにつないでください(41ページ)。

再生を止めるには

■《停止》ボタンを押します。

視聴年齢制限で表示されない番組や映像を再生するには

18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると表示されません。オプションメニューの［視聴制限一時解除］（160ページ）で制限を解除してください。

ちょっと一言

- 本機の電源を切ると、自動的に制限が再設定されます。設定の変更については、［HDDタイトル視聴年齢制限］（108ページ）をご覧ください。

外付けハードディスクから再生するには

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けハードディスクを本機につなぐ（96ページ）。

1 タイトルを表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

外付けハードディスクアイコンを選び、《決定》ボタンを押します。

2 再生する。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

写真を見るには

《ホーム》ボタンを押し、［フォト］を選びます（84ページ）。

録画した3D番組を再生したい

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- 3Dメガネを人数分用意する（メガネやその他3D視聴に必要な機器は、お使いの3D対応テレビの取扱説明書をご確認ください）。

放送局側で3D信号が付けられた番組（タイトル）は、再生時に自動的に3D表示に切り換わり、画面上に3Dアイコンが表示されます。

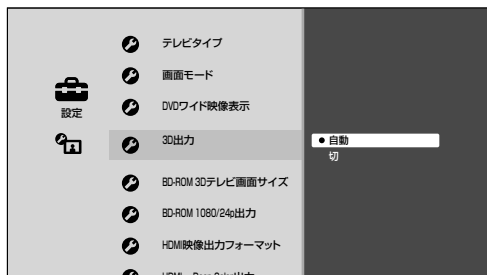
1 3D対応テレビとハイスピードHDMIケーブルでつなぐ。

ご注意

- 本機と3D対応テレビの間に他機器をつないでいる場合、それらの機器も3D対応している必要があります。対応していない場合は、本機と3D対応テレビをHDMIケーブルでつなぎ、テレビの光デジタル出力からホームシアターやAVアンプなどの他機器をつなぐこともできます。

2 本機の設定を確認する。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]＞[映像設定]＞[3D出力]＞[自動]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 3Dメガネの電源を入れ、再生する。

《録画リスト》ボタンを押します。

3Dアイコンの付いたタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

自動的に3D表示に切り換わらないときは

＜ブラビア＞の場合

＜ブラビア＞付属のリモコンの《3D》ボタンを3D表示に切り換わるまでくり返し押します。
詳しくは、お使いの＜ブラビア＞の取扱説明書などをご覧ください。

＜ブラビア＞以外の場合

お使いの3D対応テレビの取扱説明書などをご覧ください。

録画した番組をはじめから再生したい

《録画リスト》ボタンを押します。
タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。
[はじめから再生]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクに録画した番組や映像を再生したい

BDやDVDを再生したい

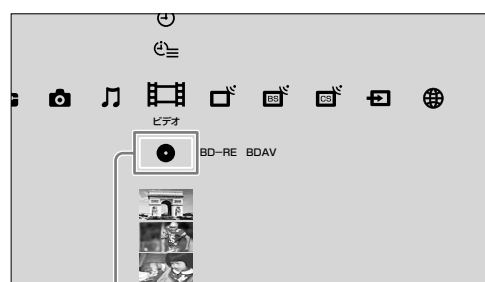
1 ディスクを入れる。

2 再生する。

《録画リスト》ボタンを押します。

ディスクアイコンを選び、《決定》ボタンを押します。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクによっては選んだ後サムネイルが表示されます。

ディスクアイコン

市販のディスクを入れると自動で再生が始まります。操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- 24p映像で記録されたBDを本機で再生し、24p映像対応のテレビやプロジェクターで映すと、映画本来の映像が楽しめます（100ページ）。
- 24p映像のBDを再生したときに、テレビやプロジェクターが4K/24p映像に対応していると、画像変換処理を施し、高精細に再現します（対象機種：BDZ-EX3000）。

ご注意

- 他機器で記録したDVDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDは再生できません。
- AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDは再生できません。

3Dの映像やBlu-ray 3Dディスクを再生したい

3Dの映像(タイトル)やBlu-ray 3Dロゴ*が記載されたBlu-ray 3Dディスクを再生できます。

* Blu-ray 3D™

1 「録画した3D番組を再生したい」(27ページ)の手順1、2を行い、接続と設定をする。

2 ディスクを入れる。

3Dのタイトルを再生するには

手順4に進んでください。

Blu-ray 3Dディスクを再生するには

手順3で[BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ]を設定してください。

3 「BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ」を設定する。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]>[映像設定]>[BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ]>お使いのテレビのインチサイズを選び、《決定》ボタンを押します(100ページ)。

お使いのテレビのインチサイズについて詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書などをご覧ください。

4 3Dメガネの電源を入れ、再生する。

自動的に3D表示に切り換わらないときは

テレビ側の設定を確認してください(28ページ)。

CDを再生したい

1 CD(CD-R/CD-RWを含む)を入れる。

2 再生する。

音楽CDを再生するには

ディスクを入れると、自動的に次の画面が表示されます。

►《再生》ボタンを押してください。

写真を見るには

《ホーム》ボタンを押します。

[フォト]>ディスクアイコン>アルバム>写真を選びます(84ページ)。

動画(タイトル)を再生するには

CDに保存したタイトルは本機では再生できません。

録画した番組を検索して再生したい

本機／外付けのハードディスクに録画した番組や映像を、キーワードなどの条件で検索できます。

出演者や話題に関連する映像がほかにもないか検索したい（気になる検索）

1 検索方法を選ぶ。

タイトルを再生中に、《オプション》ボタンを押します。

[気になる人名]や[気になるワード] ＞ キーワードを選び、《決定》ボタンを押します。

[タイトル（本体HDD）]または[タイトル（USB HDD）]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 再生したいタイトルを選ぶ。

最大200件まで表示します。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。日付順（新しい順／古い順）、未視聴順、タイトル名順に切り換わります。

ご注意

- 電源を入れたり、外付けのハードディスクを接続してから数分間は、タイトルの検索に時間がかかることがあります。

条件を組み合わせてタイトル検索したい（ジャンル検索、キーワード検索、詳細条件検索）

1 検索方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

[タイトル検索]を選び、《決定》ボタンを押します。

[ジャンル検索]／[キーワード検索]／[詳細条件検索]のどれかを選び、《決定》ボタンを押します。

2 検索するための条件を設定する。

3 検索する。

[検索開始]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 再生したいタイトルを選ぶ。

最大200件まで表示します。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。日付順（新しい順／古い順）、未視聴順、タイトル名順に切り換わります。

ちょっと一言

- 手順2で[ジャンル]、[キーワード]、[除外ワード]を設定して検索する条件を変更できます。

ご注意

- 電源を入れたり、外付けのハードディスクを接続してから数分間は、タイトルの検索に時間がかかることがあります。

録画した番組を分類／整理したい

ハードディスクに録画した映像をグループ分けしたい（オートグルーピング）

☞次のページも参考にしてください。
- 録画した映像にマークを付けてグループ設定したい（59ページ）。
- 画面別アイコン一覧（154ページ）。

本機／外付けのハードディスクに保存した映像（タイトル）を、再生時間別、マーク別などによってグループ分けできます。

1 タイトル一覧を表示する。
《録画リスト》ボタンを押します。

2 グループごとの表示にする。
《黄／早見/整理》ボタンを押します。
タイトル一覧に戻すには、もう一度《黄／早見/整理》ボタンを押します。
グループの種類については156ページをご覧ください。

ご注意
- ジャンル分けは放送局から送られてくる信号により分類しているため、変更できません。

BD/DVDに保存した映像をグループ分けしたい

グループ分けできるのは本機／外付けのハードディスクに録画した映像（タイトル）だけです。

録画した映像を並べ替えたい

本機／外付けのハードディスク、BD、DVDに保存した映像（タイトル）を並べ替えます。

1 タイトル一覧を表示する。
《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクの場合は、ディスクアイコンを選びます。

2 並べ替える。
《緑》ボタンを押します。
並び順を変更するには、くり返し《緑》ボタンを押します。

再生中の基本的な操作一覧

再生中にリモコンでいろいろな操作ができます。

ボタン	できること
《決定》	• 一時停止または再生を再開します。 • 早戻し／早送り、スロー、コマ戻し／コマ送り再生中に押すと通常の再生に戻ります。
⏮ ／ ⏭《前／次》	前または次のチャプター／トラック／ファイルの先頭に進みます。1つ前のチャプターの先頭に戻るには、⏮《前》ボタンを続けて2回押してください。
←● ／ ●→《10秒戻し／15秒送り》	少し前に戻る、または先に進みます。
◀◀ ／ ▶▶（早戻し／早送り、スロー、コマ戻し／コマ送り）	• 再生中に押すと、早送り再生や早戻し再生します。 ビデオ再生中は押すたびに速さが切り換わります。 • 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生します。 • 一時停止中に押すと、コマ送り再生します。
⇔	◀◀ ／ ▶▶ボタンと同じ操作ができます。
❚❚《一時停止》	一時停止または再生を再開します。
《ポップアップ／メニュー》	BD-ROMのポップアップメニューやDVDのメニューを表示または閉じます。

ちょっと一言
- BD-ROM再生時にカラーボタン（《青》ボタン、《赤》ボタン、《緑》ボタン、《黄》ボタン）や数字ボタン、↑↓←→を使うことがあります。
- 再生するディスクやタイトルによって、利用できる機能が異なります。

再生する

録画中の番組を追いかけ再生したい

本機／外付けのハードディスクに録画中の映像（タイトル）を再生できます。
詳しくは、「ハードディスクに録画した番組や映像を再生したい」（27ページ）の手順1をご覧ください。

ご注意

- BDに録画中のタイトルは追いかけ再生できません。録画が終了してから再生してください。
- 3D番組は、タイトル名の横に3Dアイコンが表示されていることを確認してから、追いかけ再生してください。

早見再生したい（音声付き早見）

本機／外付けのハードディスクの映像（タイトル）は早見再生できます。

1 タイトルを再生し、音声付きで早見再生する。

《黄／早見/整理》ボタンを押します。

通常再生にするには、《黄／早見/整理》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 早見再生中に《青》ボタンを押すと、ダイジェスト早見再生します。

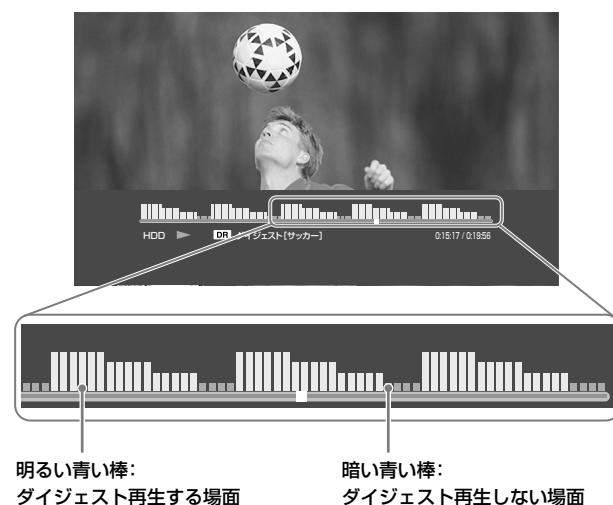
ご注意

- 次のタイトルは早見再生できません。
  - BD/DVDのタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像。
  - 他機器で撮影した1080/60p映像。

見どころ場面をダイジェストで再生したい

 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000

ハードディスクの映像をダイジェストで再生したい

本機／外付けのハードディスクに10分以上録画した映像（タイトル）の音声の盛り上がりや映像の切り換わりなどを検出し、タイトルの中で見どころと思われる場面を中心に自動再生します。

1 タイトルを再生し、ダイジェスト再生する。

《青》ボタンを押します。

ダイジェスト再生時間の画面を表示するには、《画面表示》ボタンを押します。

通常再生にするには、《青》ボタンを押します。

ご注意

- 受信状態が悪いときに記録されたタイトルや、番組内容によっては、ダイジェスト再生できないことがあります。

ちょっと一言

- ダイジェスト再生中に《黄／早見/整理》ボタンを押すと、ダイジェスト早見再生します。
- ［設定］＞［ビデオ設定］＞［ダイジェスト設定］（103ページ）で、ダイジェスト再生時間の長さを3段階から選べます。

見たい場面を再生するには

ダイジェスト再生中に⏮ ／ ⏭《前／次》ボタンを押すと、再生中の見どころ場面の先頭や、次の見どころ場面の先頭に移動します。1つ前の見どころ場面に移動するには、⏮《前》ボタンを続けて2回押してください。←● ／ ●→《10秒戻し／ 15秒送り》ボタンを押すと、少し前や先に移動します。

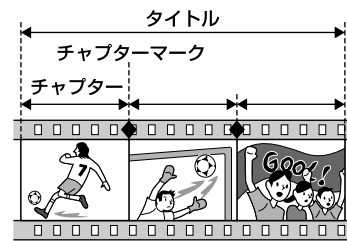
以下のことはできません

- 次のタイトルをダイジェスト再生すること。
  - プレイリスト。
  - 追いかけ再生中のタイトル。
  - 再生時間が約10分未満のタイトル。
  - HDVダビングしたタイトル（対象機種：BDZ-EX3000）。
  - AVCHDダビングしたタイトル。
  - x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。
  - BDから本機／外付けのハードディスクにダビングしたタイトル。
  - インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。
  - LAN録画／ LANムーブしたタイトル。

BD/DVDの映像をダイジェストで再生したい

ダイジェスト再生できるのはハードディスクに録画した映像（タイトル）だけです。

映像の区切りで頭出ししたい

映像（タイトル）内にチャプターマークがある場合に頭出しできます。本機で録画した映像には、自動的にチャプターマークが付きます（103ページ）。

1 タイトル再生中に、チャプターを頭出しする。

リモコンの⏮ ／ ⏭《前／次》ボタンを押します。

前または次のチャプターの先頭に移動します。

チャプター番号で頭出しするには（チャプターサーチ）

1 タイトルを再生する。

2 再生したい場面を探す。

《オプション》ボタンを押します。

［チャプターサーチ］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 再生する。

数字ボタンでチャプター番号を入力し、《決定》ボタンを押します。

チャプター番号（総チャプター数）

ちょっと一言

- 市販のディスクの場合は、タイトルを選んで頭出しします。
  手順2で［タイトルサーチ］を選び、タイトル番号を入力して《決定》ボタンを押します。

好みの場面にチャプターマークを付けるには

録画中や、再生／再生一時停止中に《チャプター書込み》ボタンを押すとチャプターマークが付けられます。

本機／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REに録画したタイトルが対象です。

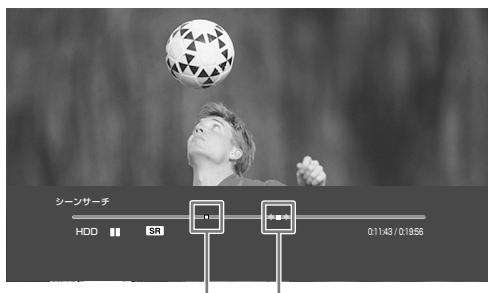
見たい場面をすばやく探したい(シーンサーチ)

映像(タイトル)の見たい場面にすばやく移動できます。

1 タイトルを再生し、見たい場面を探す。

《緑》ボタンを押します。

⇔で見たい場面の位置まで移動します。

見たい場面の位置まで移動したら、ボタン操作を停止します。

現在位置　シーンインジケーター

2 再生する。

《緑》ボタンを押します。

押した場面から再生が始まります。

以下のことはできません

- 100秒未満、または100時間以上のタイトルでシーンサーチすること。
- 市販のBD-ROMや「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクをシーンサーチすること。

音声／字幕／アングルを切り換えたい

音声を切り換えたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- DRモードで録画する(18ページ)(BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000をお使いの場合のみ)。

1 映像(タイトル)を再生し、音声を切り換える。

《音声切換》ボタンを押します。

視聴中のタイトルにセリフが複数の言語で記録されているときや、音声トラックに主音声／副音声が記録されている場合、押すたびに切り換わります。

字幕を切り換えたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- DRモードで録画する(15ページ)。

1 映像(タイトル)を再生し、字幕を表示する。

《字幕切換》ボタンを押します。

視聴中のタイトルに字幕が複数の言語で記録されている場合、押すたびに字幕の言語が切り換わります。

アングルを切り換えたい

違うアングルなど、複数の映像があるときに切り換えることができます。

1 映像(タイトル)を再生し、アングルを切り換える。

《オプション》ボタンを押し、[映像切換]を選びます。

視聴中のタイトルに複数の映像が記録されている場合、[映像切換]が表示され、選ぶたびに映像が切り換わります。

好みの画音質で再生したい

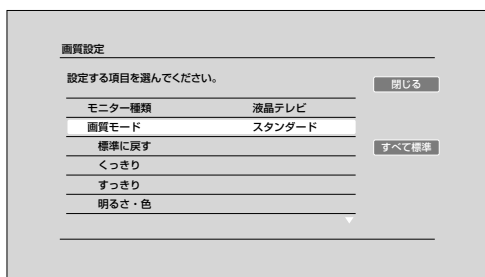
好みの画質に設定したい（画質設定）

お使いのテレビなどに合わせてきれいな画質に設定できます。

1 映像（タイトル）を再生する。

2 画質を調整する。

《オプション》ボタンを押します。

[画質設定]＞設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

画質設定

項目	説明
モニター種類	• 液晶テレビ：液晶テレビに適した設定にします。 • プロジェクター：プロジェクターに適した設定にします。 • 有機ELテレビ：有機ELテレビに適した設定にします。 • プラズマテレビ：プラズマテレビに適した設定にします。 • 該当なし。
画質モード	• スタンダード：標準的な設定です。通常は[スタンダード]がおすすめです。 • ナチュラル：自然さを重視した設定です。映画を観賞するのに適した映像になります。 • パワフル：めりはりを効かせた設定です。鮮やかな映像になります。 • カスタム1 ／カスタム2：お好みに合わせて設定ができます。
標準に戻す	[カスタム1 ／カスタム2]選択時の設定値を、お買い上げ時の設定に戻します。
おすすめ設定	
画質のおすすめ設定です。[画質モード]＞[カスタム1 ／カスタム2]を選択すると選べます。好みに合わせて調整してください。	
	対象機種：BDZ-EX3000 • シネマPJノーマル：プロジェクターで映画を見る設定です。 • シネマPJハイレゾ：プロジェクターで4K撮像等の高解像の映画を見る設定です。 • シネマPJ4K：4K対応プロジェクターで映画を見る設定です。 • シネマFLノーマル：フラットパネルディスプレイで映画を見る設定です。 • シネマFLハイレゾ：フラットパネルディスプレイで4K撮像等の高解像の映画を見る設定です。 • シネマFL4K：4K対応フラットパネルディスプレイで映画を見る設定です。 • シネマHMD：ヘッドマウントディスプレイで映画を見る設定です。 • アニメ：アニメを見る設定です。 **対象機種：BDZ-ET2000 / ET1000** • BDシネマ3D：3DでBDの映画を見る設定です。 • BDシネマPJ：プロジェクターでBDの映画を見る設定です。 • BDシネマFL：フラットパネルディスプレイでBDの映画を見る設定です。 • 放送シネマ：録画した映画を見る設定です。 • 放送アニメ：録画したアニメを見る設定です。

項目		説明
くっきり		
	▶対象機種:BDZ-EX3000	
	モード	輪郭(高域)、精細感(高域)、輪郭(中域)、精細感(中域)のフィルター特性を切り換えます。 • ノーマル:通常はこの設定にします。 • ハイレゾ:4K撮像等の高解像度カメラで作成された映像素材向けです。
	輪郭(高域)	細めの輪郭やエッジの先鋭度を調整します(−6:ソフト、6:くっきり)。
	精細感(高域)	つぶが小さめのディテールの精細感を調整します(−6:ソフト、6:くっきり)。
	輪郭(中域)	太めの輪郭やエッジの先鋭度を調整します(−6:ソフト、6:くっきり)。
	精細感(中域)	つぶが大きめのディテールの精細感を調整します(−6:ソフト、6:くっきり)。
	超解像	解像感を向上させます(0:切、3:強)。
	▶対象機種:BDZ-ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500 / E500	
	輪郭	輪郭やエッジの先鋭度を調整します(−6:ソフト、6:くっきり)。
	精細感	ディテールの精細感を調整します(−6:ソフト、6:くっきり)。
	超解像	解像感を向上させます(0:切、3:強)。
すっきり		
	▶対象機種:BDZ-EX3000	
	フレームノイズ除去	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します。
	デジタルノイズ除去	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズ等のデジタルノイズを低減します(0:切、3:強)。
	リンギングノイズ除去	映像の輪郭周辺に現れる擬似輪郭(リンギング)や輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減します(0:切、3:強)。
	スムージング	平坦部の階調(表現)をなめらかにすることによって、画面上の擬似輪郭を低減します(0:切、3:強)。
	フィルムグレイン	画面上に現れる細かい粒子状のノイズを軽減または、付加して質感を向上させます(−6:低減、6:細粒感増)。
	アニメ・CGリマスター	放送波に含まれるノイズを取り除き、市販の映像ソフトの品質に近づけます(0:切、4:強)。
	▶対象機種:BDZ-ET2000 / ET1000	
	フレームノイズ除去	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します。
	ブロックノイズ除去	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します。
	モスキートノイズ除去	映像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減します。
	スムージング	平坦部の階調(表現)をなめらかにすることによって、画面上の擬似輪郭を低減します(0:切、3:強)。
	フィルムグレイン	画面上に現れる細かい粒子状のノイズを軽減します(−3:低減、0:切)。
	▶対象機種:BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500	
	フレームノイズ除去	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します。
	ブロックノイズ除去	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します。
	モスキートノイズ除去	映像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減します。
明るさ・色		
	▶対象機種:BDZ-EX3000	
	コントラストリマスター	黒レベル、白レベルを自動的に整え、黒浮きしない、めりはりのある画像にします(0:切、4:強)。
	クリアブラック	映像の黒い部分の表現を好みの状態に調整します。全体の陰影を損なうことなく、艶やかな黒を演出できます(−6:明るい黒、6:沈んだ黒)。
	色の濃さ	色の濃さを調整します(−3:薄、3:濃)。
	色合い	全体の色のバランスを調整します(−3:赤、3:緑)。
	▶対象機種:BDZ-ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500 / E500	
	クリアブラック	映像の黒い部分の表現を好みの状態に調整します。全体の陰影を損なうことなく、艶やかな黒を演出できます(−6:明るい黒、6:沈んだ黒)。
	色の濃さ	色の濃さを調整します(−3:薄、3:濃)。
	色合い	全体の色のバランスを調整します(−3:赤、3:緑)。
すべて標準		画質設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

ちょっと一言

- BDZ-EX3000をお使いのときは、HDMI出力1/2端子それぞれに画質の設定ができますが、[画質モード]>[カスタム1 /カスタム2]の設定は、HDMI出力1/2端子で共通です。

ご注意

- 映像や写真によっては画質設定の一部が効かない場合があります。

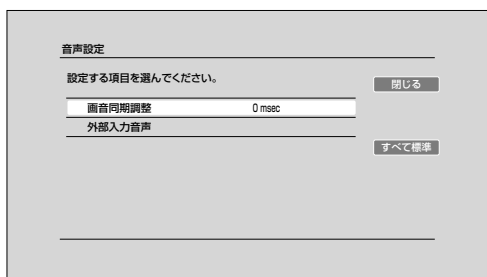
好みの音質に設定したい（音声設定）

映像と音声のずれを調整したり（画音同期調整）、出力する音声を設定したりできます。

1 映像（タイトル）を再生する。

2 音質を調整する。

《オプション》ボタンを押します。

［音声設定］＞設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

音声設定

項目	説明
画音同期調整	映像と音声とのずれを補正します。音声出力を映像出力より遅らせます（0 ～ 120ミリ秒）。
バーチャルサラウンド（対象機種：BDZ-EX3000）（38ページ）	• 切：本機のバーチャルサラウンドを適用しません。 • AVルーム：本格的なAV視聴室で聴くような、原音に忠実な再生音を楽しめます。 • シアター：音響に優れた映画館のような、適度な広がりのあるサラウンド音場を楽しめます。 • リビング：登場人物とリビングで会話しているような距離感を再現し、セリフや歌声を聞きやすくします。
ハーモニクスイコライザー（対象機種：BDZ-EX3000）	圧縮音源（AAC/Dolby Digital/DTS）で失われがちな消え際の微小な音を再現。広がりのある自然な音質を実現します。
外部入力音声	外部入力（音声入力端子）からの音声を［ステレオ］や［二重音声］に設定します。
DV入力音声（対象機種：BDZ-EX3000）	HDV1080i/DV入力端子からの音声を設定します。 • ステレオ1：デジタルカメラで録画したときの音声。 • ミックス：ステレオ1とステレオ2の混合。 • ステレオ2：デジタルカメラでアフレコしたときの音声。
すべて標準	音声設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

ご注意

- 他機器でバーチャルサラウンドに類似した機能を楽しむときは、本機の［バーチャルサラウンド］を［切］に設定してください。

バーチャルサラウンドを楽しみたい

対象機種：BDZ-EX3000

バーチャルサラウンドは7.1ch/5.1chのサラウンド音声を仮想的に2ch音声上で再現します。

ご注意

- 44.1/32kHz音声（CDや一部の放送など）は、バーチャルサラウンド効果がありません。
- 2ch音声を7.1chや5.1chに変換できません。

ヘッドホンで楽しむ準備をする

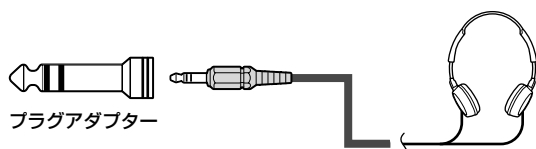
☞あらかじめ、次のことをしてください。

- ［音声出力設定］＞［HDMI ／ヘッドホン］に設定する（100ページ）。
- ［ヘッドホンタイプ］＞お使いのヘッドホンのタイプに設定する（102ページ）。

☞次のページも参考にしてください。

- ヘッドホンの音量を調節する（135ページ）。

1 ヘッドホンをヘッドホン端子（132ページ）につなぐ。

ヘッドホンのプラグがステレオミニプラグの場合は、付属のプラグアダプターをお使いください。

ご注意

- プラグアダプターは、幼児などが誤って飲み込まないよう、手の届かない場所に保管してください。

テレビのスピーカーで楽しむ準備をする

1 音声出力を設定する。

《ホーム》ボタンを押します。

［設定］＞［音声設定］＞［音声出力設定］＞［HDMI ／ヘッドホン］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- ［設定］＞［音声設定］＞［バーチャルサラウンド音声位置補正］＞［入］にすると、音声の聞こえてくる位置を仮想的に上方へ補正できます（102ページ）。
- バーチャルサラウンドは、HDMI出力1/2端子ごとに設定できます。

バーチャルサラウンドを選びたい

「好みの音質に設定したい（音声設定）」（37ページ）の手順を行う。

バーチャルサラウンド出力されているときに、本機前面のバーチャルサラウンドランプが点灯します。

番組を別の部屋で見たい（ルームリンク）

「番組を別の部屋で見たい（ルームリンク）」（46ページ）をご覧ください。

コーナー目次から再生したい／コーナー情報を見たい

「コーナー目次から再生したい／コーナー情報を見たい」（49ページ）をご覧ください。

インターネットで映画やドラマを見たい（アクトビラ／ TSUTAYA TV ／ T's TV）

「インターネットで映画やドラマを見たい（アクトビラ／ TSUTAYA TV ／ T's TV）」（50ページ）をご覧ください。

BDの特典映像を楽しみたい

「BDの特典映像を楽しみたい」（52ページ）をご覧ください。

ネットワークで楽しむ

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/bd/manual/

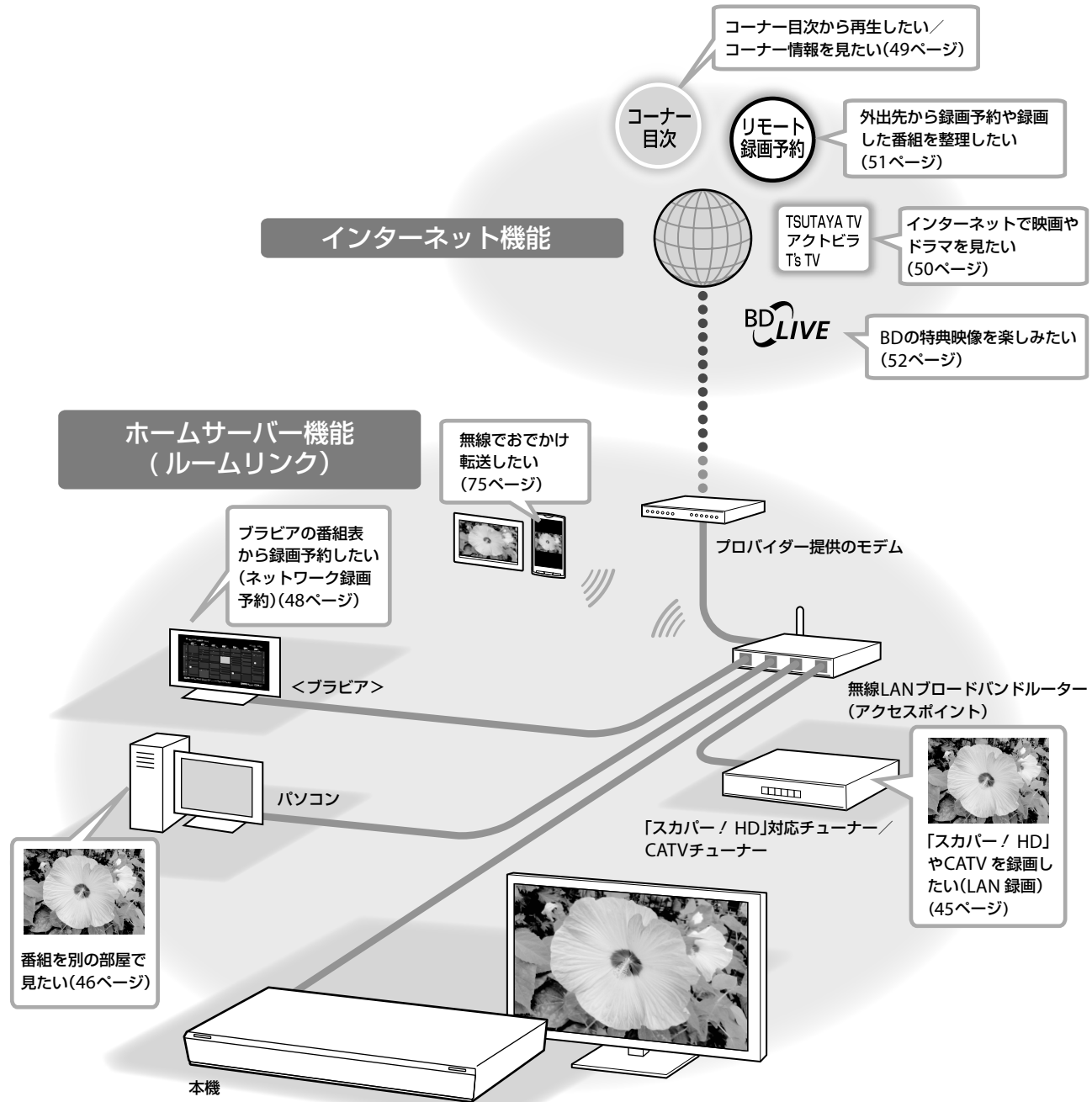
準備1:ネットワークにつなぐ

本機をネットワークにつなぐと、ホームサーバー機能やインターネット機能でさらに使いかたが広がります。

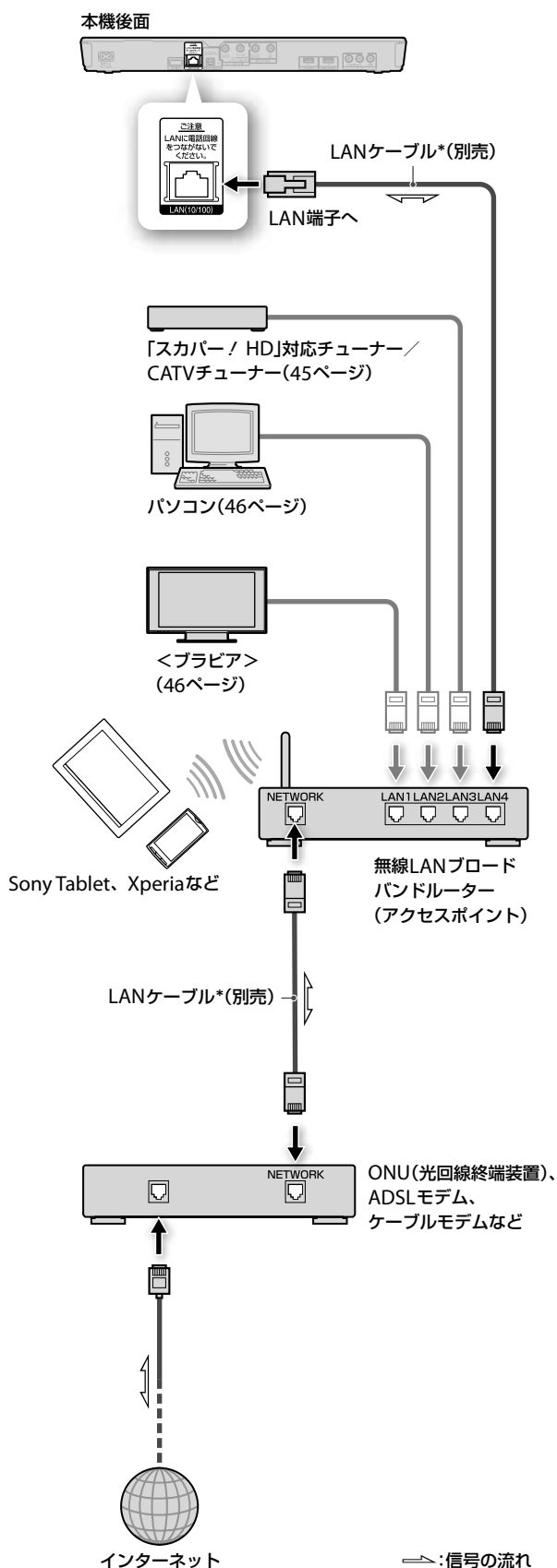
お客様の環境によって、ネットワーク接続の方法は異なります

本書では、基本的な説明になっています。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

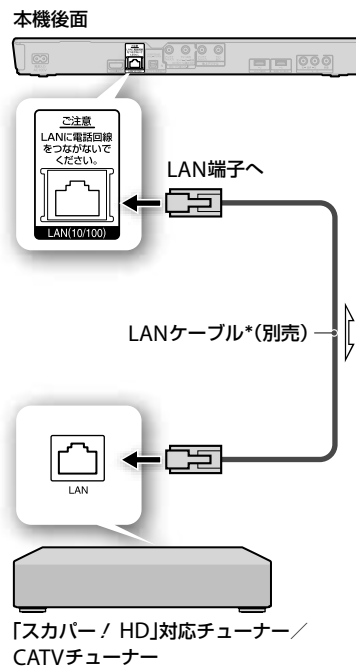
無線でつなぐと:
LANケーブルが不要で手軽に接続できますが、環境や他の無線通信の影響を受けます。LAN録画(45ページ)/LANムーブ(46ページ)は有線でつなぐことをおすすめします。

有線でつなぐと:
通信速度は安定しますが、LANケーブルの配線が必要となります。

ちょっと一言
- お客様の環境について詳しくは、ご家庭でネットワークを設置された方にご確認ください。接続や設定でわからない用語は、「ネットワークに関する用語解説」(44ページ)をご覧ください。

ご注意
- 本機は、有線と無線を同時に利用できません。
- 推奨する無線環境はIEEE 802.11n規格です。
- 無線の電波状況によっては通信が途切れたり、正常に通信できなかったりするおそれがあります。

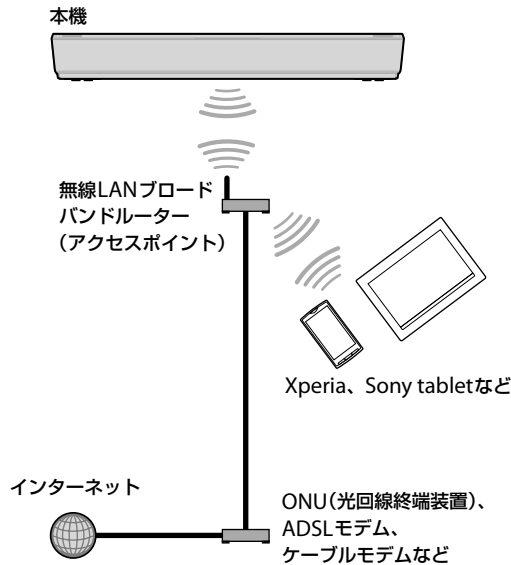
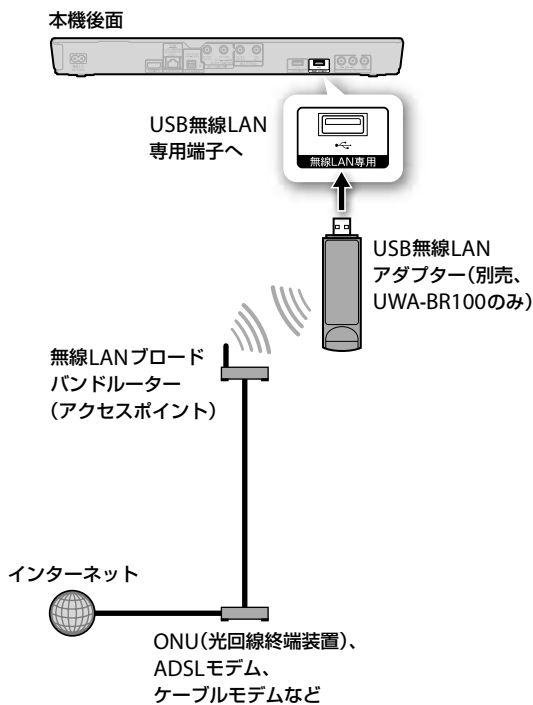
有線（LANケーブル）でつなぐ

* LANケーブルは、カテゴリー5の100BASE-TX対応以上をお使いください。

直接LANケーブルでつなぐには

LAN録画（45ページ）/LANムーブ（46ページ）など、インターネット（50ページ）を使わない場合、直接LANケーブルをつないで利用できます。

* LANケーブルは、カテゴリー5の100BASE-TX対応以上をお使いください。

無線でつなぐ

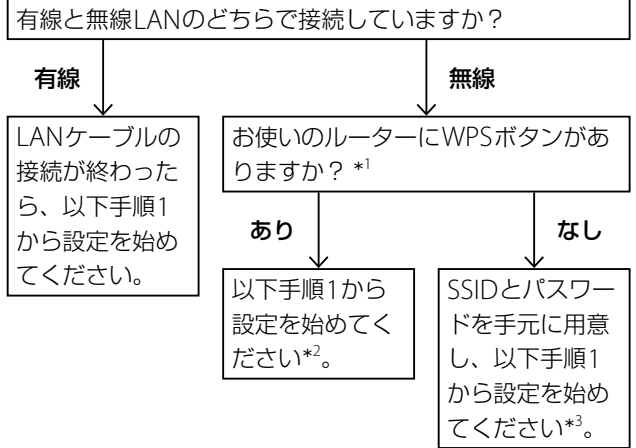
無線LANは、すべてのご利用環境で動作を保証するものではありません。距離や障害物により充分な通信速度が出なかったり、接続できなかったりする場合があります。本機は、有線と無線を同時に使えません。
設置、接続や使用環境について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000をお使いの場合

BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500をお使いの場合（USB無線LANアダプター使用）

ご注意

- USB無線LANアダプターが熱を持つ場合がありますが、故障ではありません。
- USB無線LANアダプターを本機前面のUSB端子や本機後面のUSB HDD専用端子に取り付けてネットワークにつなぐことはできません。

準備2:かんたんネットワーク設定をする

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- ネットワークにつなぐ（41ページ）。

画面の指示に従って、簡単にネットワーク設定ができます。

*1 WPSボタンの有無は、ルーターの取扱説明書でご確認ください。AOSS（バッファロー）や、らくらく無線スタート（NEC）搭載のルーターの場合、WPS対応しているかご確認ください。

*2 設定の途中でWPSボタンを押す必要があります。あらかじめボタンの位置を確認しておいてください。

*3 SSIDとパスワードがわからない場合は、ルーターのメーカーにお問い合わせください。ルーター本体に記載されている場合もあります。

1 かんたんネットワーク設定をする。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]＞[かんたん設定]＞[かんたんネットワーク設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

画面の指示に従い、最後まで設定操作を行ってください。途中で中断した場合、設定は反映されません。

[はい]を選ぶと

すべてのネットワーク機能(45 ～ 52ページ)が使えるようになります。

[いいえ]を選ぶと

ネットワーク機能(45 ～ 52ページ)のうち、インターネット接続のみ行う、以下機能が使えるようになります。次の「インターネット機能を使用するための設定」の画面で[はい]を選んでください。

- コーナー目次から再生したい／コーナー情報を見たい
- インターネットで映画やドラマを見たい(アクトビラ／TSUTAYA TV ／ T's TV)
- 外出先から録画予約や録画した番組を整理したい(リモート録画予約)
- BDの特典映像を楽しみたい

ホームサーバーの設定内容について

「ホームサーバー機能を使用するための設定」画面で[はい]を選んだ場合、以下のとおり自動で設定されます。

– サーバー機能:[入]
– クライアント機器登録方法:[自動]

クライアント機器登録を手動で設定したり、登録されている機器一覧を見たりしたい場合は、「クライアント機器を手動で登録するには」(110ページ)をご覧ください。

ネットワークの設定内容について

かんたんネットワーク設定では、以下のとおり自動で設定されます。

– IPアドレス:[自動]
– DNS:[自動]
– プロキシサーバー:[使用しない]

無線LANの場合は加えて、以下を設定する必要があります。

- アクセスポイントを次のいずれかの方法で登録
  – WPS(プッシュボタン方式)
  – 検索して登録(セキュリティ設定を含む)
  – 登録内容を直接入力(セキュリティ設定を含む)

  セキュリティは高い設定をおすすめします。詳しくは「無線LANのセキュリティについて」(44ページ)をご覧ください。

ご注意

- 「WPS」で登録する場合、セキュリティが「WEP」に設定されているアクセスポイントは登録できません。
- セキュリティが「なし」に設定されているアクセスポイントは、本機で検索して登録しようとしても検索対象になりません。[WPS]または[登録内容を直接入力]で登録してください。
- 無線LANのセキュリティ設定を[セキュリティなし]にすると、本機のホームサーバー機能は使えません。

ネットワークに関する用語解説

LAN(Local Area Network):ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピューターや通信機器などを接続し、データをやり取りするネットワーク。

ブロードバンドルーター:ご家庭から、ADSLや光ファイバーなどを使ってインターネットに接続する際に使います。ハブ機能が内蔵された機器があります。

ハブ:有線LANで、家庭内にある複数のパソコンやデジタル家電を、相互に接続したりできます。

無線LANアクセスポイント:無線LANでパソコンやデジタル家電からインターネット接続したり、複数機器がネットワーク上で相互接続したりする際に必要となる、中継機器。一般的には、無線LANルーターに内蔵されています。

WPS:無線LAN機器の接続やセキュリティ設定を簡単に行える機能。本機はWPSに対応しています。

DHCP:IPアドレスなど必要な情報を自動で割り当てる機能。本機はDHCPに対応しています。ネットワーク設定を手動で行わなくても、適切な設定ですぐに接続できます。

無線LANのセキュリティについて

無線LANによる通信は、電波を使って行われるため、通信内容を傍受されるおそれがあります。無線通信を保護するために、本機はさまざまなセキュリティ機能に対応しています。接続環境に応じて正しくセキュリティ対策をしてください。

高い	WPA2-PSK(AES)	WPS対応
↕	WPA-PSK(AES)	WPS対応
	WPA2-PSK(TKIP)	WPS対応
	WPA-PSK(TKIP)	WPS対応
	WEP	WPS非対応
低い	セキュリティなし	WPS対応

◆WPA2-PSK(AES)、WPA-PSK(AES)

WEPやTKIPより高度なセキュリティです。

◆WPA2-PSK(TKIP)、WPA-PSK(TKIP)

WEPより高度なセキュリティです。

◆WEP(おすすめしません)

本機はOpen認証方式のみ対応しています。
解読法の知られている古いセキュリティ技術のため、WPA2/WPA非対応のアクセスポイントを利用する場合にお使いください。

◆セキュリティなし（おすすめしません）
セキュリティなしでは、ホームサーバー機能は利用できません。
誰でも無線電波を利用できるため、ネットワークに侵入され、不正アクセスや通信内容を傍受されるおそれがあります。

インターネット接続を伴うサービスに関する免責事項

- ソニーは、理由の如何を問わず、以下について、一切の責任を負わないものとします。
  - 各サービスを提供する事業者によるサービス内容。
  - 各サービスが予告なく変更･中止されること。
  - 各サービスの提供の遅延または中断等。
  - 各サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等を原因とするサービスの全部または一部の機能不能。
  - ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情を原因とするサービスの全部または一部の機能不能。
  - 上記によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害。

「スカパー! HD」やCATVを録画したい（LAN録画）

☞次のページも参考にしてください。
- 本機への録画可能時間について（142ページ）。
- 録画が重なったときに優先順位を変更したい（14ページ）。

「スカパー！ HD」やCATVチューナー（STB）の番組表から、本機に有線LAN経由で録画予約したり、対応チューナー（STB）で録画した番組を本機にムーブしたりできます。

ご注意
- 「スカパー！ HD」を視聴するには、対応のアンテナとチューナーが必要です。110度CSのスカパー！ e２とは別のCS放送です。
- 有線LANで使用してください。本機は有線と無線LANは同時に使用できません。
- 本機能は通信速度が落ちるなどの通信品質低下により、映像の乱れや、番組が録画／ムーブされない場合があります。ムーブ元チューナーの仕様によっては、本機へのムーブが完了しない場合でもムーブ元チューナーから番組が削除される場合があります。詳しくはチューナーの取扱説明書をご覧ください。

準備：ネットワーク接続／設定を行う

1 ネットワークにつなぐ（41ページ）。

2 かんたんネットワーク設定をする（43ページ）。

3 チューナーの設定をする。
チューナーで本機が録画先になるようにネットワーク設定をします。詳しくはチューナーの取扱説明書やご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ、次のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/cs-tuner

録画したい

1 録画予約する。
チューナーおよび本機の電源を入れ、テレビの入力をチューナーに切り換えて、チューナー側で録画予約します。
チューナー側で録画予約すると、チューナーから本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。

録画が開始されると本機のタイトルリストに録画中の番組が表示されます。
「スカパー！ HD録画」に対応する「スカパー！ HD」対応チューナーについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

予約状況を確認するには
チューナーおよび本機の電源を入れ、本機側で予約状況を確認します（20ページ）。

予約を削除するには
チューナーおよび本機の電源を入れ、テレビの入力をチューナーに切り換えて、チューナー側で予約を削除します。

録画途中の番組を追いかけ再生するには

《録画リスト》ボタンを押します。
録画中のサムネイル（●のアイコンが付いている）を選び、《決定》ボタンを押します。

ハードディスク内蔵チューナーに録画した番組を本機にコピーするには（LANムーブ）

操作方法については、チューナー側の取扱説明書をご覧ください。
チューナー側が「スカパー！ダビング」や、LAN経由のダビング／ムーブ機能に対応している必要があります。
番組の長さと同程度の時間がかかります。
対応チューナーは、下記ホームページでご確認ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ご注意

- 録画モードはDRモードとなり、チューナーからの入力をそのまま記録します。画質はチューナー側の入力によります。
- ［自動チャプターマーク］（103ページ）を［入］にしても、約6分間ごとのチャプターに区切られます。
- おでかけ転送のワンタッチ転送／自動転送はできません。タイトルごとに転送してください（74ページ）。
- 12時間を超えるタイトルのLAN録画やLANムーブはできません。時間指定予約などで12時間ごとに分けてください。
- LAN録画／ムーブしているときは、チューナーの電源を切らないでください。録画が中断されます（本機のみ電源を切っていても、録画は行います）。
- 視聴年齢制限のある番組は、必ずチューナーの番組表から録画予約してください。日時指定で録画予約した場合、録画中に視聴年齢制限の設定が異なる番組に切り換わると、録画が中断されることがあります。
- LAN録画／ムーブは、番組の最初と最後が記録されないことがあります。

以下のことはできません

- LAN録画／ムーブしているときに、BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクなどを再生すること。
- ラジオ番組を録画すること。

番組を別の部屋で見たい（ルームリンク）

ネットワークを経由して、次の本機コンテンツをテレビやパソコン、Sony Tablet*などで再生できます。
– 録画タイトル
– 写真
– 受信したテレビ番組*
ソニールームリンクに対応した機器やアプリが必要です。
動作推奨機器、ネットワーク接続方法、よくあるご質問など、詳しい情報は下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/dlna/
* 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000。

デジタル放送の番組を見るときのご注意

- 著作権保護されたデジタル放送の番組を見るには、DTCP-IP*[1]規格に対応した、再生機器／アプリが必要です。
- DRモードの録画（MPEG2形式）は、多くの機器／アプリで再生できます。他機器からLAN経由で見たい番組は、DRモードの録画をおすすめします。DRモード以外（MPEG4 AVC形式）は機器／アプリが対応しているか確認してください。
  また、DRモードで録画されていても、LAN録画／ LANムーブした番組はMPEG2以外の形式になっている場合があります。
- Windows® 7標準のWindows Media Playerは、DTCP-IP非対応のためデジタル放送の番組は再生できません。

ちょっと一言

- ネットワーク機器やアプリがWake on LAN*[2]機能に対応している場合、本機が電源「切」状態でWake on LAN信号を受けると内部的に電源が入り、配信可能状態になります。

*[1] DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。
*[2] Wake on LAN（WOL、ウェイク オン ラン）は電源が入っていない状態で、ネットワークからの信号を受け取ると自動的に起動する機能のことです。お使いの機器やアプリが Wake on LANの送信に対応しているかは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

準備：ネットワーク接続／設定を行う

1 ネットワークにつなぐ（41ページ）。

2 かんたんネットワーク設定をする（43ページ）。

3 テレビやパソコンなどの設定をする（お使いの機器の取扱説明書をご覧ください）。

本機を操作できる機器を確認／登録するには

[クライアント機器登録方法]を[自動]にしている場合
[通信設定]＞[ホームサーバー設定]＞[登録機器一覧]で本機に登録されている機器を確認できます（110ページ）。

[クライアント機器登録方法]を[手動]にしている場合
[通信設定]＞[ホームサーバー設定]＞[未登録機器一覧]でホームネットワーク上のクライアント機器を選び、登録します（110ページ）。

再生したい／番組を見たい

操作は、他機器から行います。
他機器での操作方法については他機器の取扱説明書をご覧ください。

他機器で操作できるコンテンツか確認するには

[マーク]が表示されているタイトルは他機器で再生できます。オプションメニューの[情報表示]（160ページ）で確認できます。

高速でダビング／ムーブバックしたタイトルを他機器で再生するには

BDまたはDVD（AVCHD方式）から本機に高速でダビングしたタイトルは、他機器から再生操作できない場合があります。おでかけ転送ファイルに変換できるか試すことで、他機器で操作できるか確認できます。次の操作を行ってください。なお、確認には番組の長さと同程度の時間がかかります。

1 タイトルを選び、オプションから[おでかけ転送]を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。
タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。
[おでかけ転送]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 変換する。

[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 他機器で再生したいタイトルを選んで、[実行]する。

タイトル情報に[マーク]が表示されれば、他機器からも操作できます。

ご注意

- 編集したタイトルを他機器で再生すると、映像が乱れたり、再生できなかったりすることがあります。
- 機器によっては、タイトルの名前が正しく表示されないことがあります。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や音声が途切れることがあります。
- 無線LAN使用時に映像や音声が途切れる場合、本機、USB無線LANアダプター*、アクセスポイント（無線LANルーター）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか確認してください。それでも改善できないときは、有線でつないでください。
- 本機から出力される動画／写真を他機器で再生するときと、本機で再生するときでは、見えかたが若干異なることがあります。
- 機器によっては、本機に録画した視聴年齢制限付きのタイトルは、再生できないことがあります。
- 放送中の番組を見るときは、実際の放送より少し遅れます。
- 二か国語放送で、二重音声の場合、ホームメニュー＞[設定]＞[ビデオ設定]＞[二重音声記録]で選んだ音声になります。
  また、[音声1]／[音声2]がある場合は、[音声1]になります。
- 字幕放送の場合、字幕は切り換えられません。

* 対象機種：BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500。

以下のことはできません

- 次の動画や写真を他機器で再生すること。
  – プレイリスト。
  – 録画モードなどの異なるタイトルを結合したタイトル。
  – インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。
  – 他機器で撮影した3D映像や1080/60p映像。
  – BD（BD-R、BD-RE）より移動（ムーブバック）したタイトル。
  – DVD（AVCHD方式）から本機ハードディスクに取り込んだタイトル。
- 次のような場合に、本機の動画や写真を他機器で再生すること。
  – 本機の設定を変更しているとき。
  – BD-ROMや思い出ディスクダビングで作成したBD-Jメニュー付きディスクを再生中。
  – タイトルの編集中。
  – タイトルダビング中*またはまるごとDVDコピー中。
  – x-ScrapBook作成中やx-ScrapBook書き出し中。
  – x-Pict Story HD作成中。
  – おでかけ／おかえり転送中。
  – 写真の取り込み中。
  – インターネットサービスのビデオタイトルを視聴中。
  – LAN録画／ LANムーブ中。
- 次の場合に放送中の番組を見ること。
  – 3番組録画中、または2番組録画中＆電源「入」（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000）。

* HDV/DVダビングを利用しているときは、他機器で再生できます（対象機種：BDZ-EX3000）。

ブラビアの番組表から録画予約したい(ネットワーク録画予約)

ネットワーク録画予約対応の<ブラビア>をお使いの場合、<ブラビア>の番組表から本機に録画予約できます。

準備:ネットワーク接続/設定を行う

1 ネットワークにつなぐ(41ページ)。

2 かんたんネットワーク設定をする(43ページ)。

録画したい

1 <ブラビア>の番組表で録画予約する。

本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。

ネットワーク録画予約に対応する<ブラビア>について詳しくは、次のホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/support/bd/

ちょっと一言

- 「ブラビアリンク」に対応した一部の<ブラビア>では、「ネットワーク録画予約」に対応していなくても、<ブラビア>の番組表から録画予約できます。
  詳しくは、「ブラビアリンクを設定したい」(112ページ)をご覧ください。
  <ブラビア>の設定については<ブラビア>の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- <ブラビア>の番組表からの録画予約は、番組放送日時が変更になっても、変更に追従せず指定された日時で録画します。必要に応じて、本機の番組表からの録画予約をしてください。

無線でおでかけ転送したい

「無線でおでかけ転送したい」(75ページ)をご覧ください。

コーナー目次から再生したい／コーナー情報を見たい

番組の再生中や録画番組一覧で、地上デジタル放送番組の各コーナーを目次表示できます。見たいコーナーを選んで再生したり、各コーナーの概要、番組内で紹介されたお店や商品、CMの情報を見たりすることもできます。コーナーに関する情報はインターネット経由で取得します。
早ければ録画開始の1 ～ 2時間後から利用できます。

準備：ネットワーク接続／設定を行う

1 ネットワークにつなぐ（41ページ）。

2 かんたんネットワーク設定をする（43ページ）。

コーナー目次から再生したい

1 番組を選び、コーナー目次を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《コーナー目次》ボタンを押します。

2 コーナーを選び、再生する。

コーナーを選び、《決定》ボタンを押します。

コーナーの詳細やお店、商品、CMなどの情報を確認したい

1 コーナー目次を表示する。

再生中に《コーナー目次》ボタンを押します。

画面の右半分にコーナー目次などの情報が表示されます。

2 コーナーを選び、情報を見る。

コーナーを選び、⇔ボタンでコーナー詳細情報や、紹介されたお店、商品などの情報を確認します。

コーナー情報の提供について

- コーナー情報は、株式会社エム･データのスタッフが番組を視聴／作成／提供されています。ソニーでは内容に対し、一切の責任を負いません。
- 情報提供される放送局、提供開始時間など最新情報について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/
- コーナー情報は、下記地区／放送局の番組に提供されます。
  – 関東地区：NHK総合1･東京、NHK Eテレ1東京、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京
  – 東海地区（静岡県を除く）：NHK総合1･名古屋、NHK Eテレ1名古屋、東海テレビ、CBC、メ～テレ、中京テレビ、テレビ愛知
  – 関西地区：NHK総合1･大阪、NHK Eテレ1大阪、MBS毎日放送、ABCテレビ、関西テレビ、読売テレビ、テレビ大阪

  また、関東地区と同一時間帯、同一内容で放映される「全国ネットの番組」にも提供されます。
- 番組終了後、コーナー情報やお店／商品情報がひと通り提供される時間の目安はそれぞれ、「関東地区」が2 ～ 5時間、「東海地区（静岡県を除く）」／「関西地区」が2 ～ 7時間、「全国ネットの番組」が3 ～ 6時間です。
- CM情報は「関東地区」のみ、放送の翌々日から順次提供されます。

ご注意

- 地域ごとに番組内容が異なった場合など、実際の放送と異なる情報が提供される場合があります。
- 更新情報はコーナー目次を表示した際に取得します。最後に取得してから1時間経っていない場合は再取得しません。
- コーナーの情報が、本機で表示可能な文字数を超えて提供された場合、表示が途中で途切れることがあります。
- 情報を取得できない場合、すでに取得した情報があれば表示します。

以下のことはできません

- 下記タイトルのコーナー情報を取得すること。
  – ムーブバック／ダビング／ BDに録画したタイトル。
  – 編集したタイトル（チャプター編集、部分削除、タイトル分割、タイトル結合）。編集前に取得したコーナー情報は表示できます。
  – 録画直後などで、コーナー情報の提供がまだ開始されていないタイトル。
  – 情報提供事業者サーバーの保存期間が過ぎ、コーナー情報の提供が終了したタイトル。
  – コーナー情報が提供されていないタイトル。
- ルームリンクから、コーナー目次を利用すること。
- ダビング／おでかけ転送でコーナー情報を持ち出すこと。

接続先およびその目的について

《コーナー目次》ボタンを押すと、下記へ接続します。
- 接続先：データベースサーバー
- 情報提供元：株式会社エム･データ
- 目的：地上デジタル放送のコーナー情報を取得するため

インターネットで映画やドラマを見たい（アクトビラ／TSUTAYA TV／T's TV）

アクトビラ／TSUTAYA TV／T's TVで、映画やドラマなどを見たいときにビデオオンデマンドで楽しめます。
ストリーミングやダウンロードして視聴できます。

準備：ネットワーク接続／設定を行う

1 ネットワークにつなぐ（41ページ）。

2 かんたんネットワーク設定をする（43ページ）。

ちょっと一言
- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款により、ご利用いただけないことがあります。
- サービスの内容や画面は、予告なく変更することがあります。
- 3Dコンテンツは、本機でご利用いただけません。

ビデオオンデマンドを楽しみたい

1 インターネットサービスを起動し、映像を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ネットワーク]＞[インターネットサービス]を選び、《決定》ボタンを押します。
ダウンロードできるタイトルについては、各インターネットサービスによって異なります。

ちょっと一言
- [インターネットサービス利用制限]で暗証番号による制限を設定できます（108ページ）。

2 購入手続きをする。

画面に従って手続きをしてください。

ダウンロードの場合

購入手続きが完了すると、ダウンロードが開始されます。ダウンロードしたタイトルは本機のハードディスクから再生します。

ストリーミングの場合

購入手続きを行い、インターネットサービスから視聴します。

ちょっと一言
- ダウンロード中に、本機の電源を切ってもダウンロードは継続されます。
- ホームサーバー機能の利用中やBD-LIVEの再生中などは、ダウンロードを一時停止することがあります。

ご注意
- ダウンロード登録数が50件を超えている場合、新規の登録（購入）ができなくなります。

以下のことはできません
- 本機のハードディスクの残量が足りない場合やタイトルがいっぱいの場合にダウンロードすること。

ダウンロード中の本体表示について

ランプの状態については「各部のなまえ」（132ページ）をご覧ください。

ダウンロードした映像について

録画したタイトルと同様に再生できます（27ページ）。
タイトルによっては、BDにダビング（63ページ）したり、おでかけ転送（73ページ）したりできます。

ダウンロード進捗などを確認するには

《ホーム》ボタンを押します。
[ネットワーク]＞[ダウンロード管理]＞確認したいタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

外出先から録画予約や録画した番組を整理したい(リモート録画予約)

本機をネットワークにつないでおくと、外出先からでもパソコンやスマートフォンなどのリモート機器を使って、本機に録画予約したり、本機に録画した番組を整理したりできます。

準備1:ネットワーク接続/設定を行う

1 ネットワークにつなぐ(41ページ)。

2 かんたんネットワーク設定をする(43ページ)。

準備2:本機にリモート機器を登録する

1 リモート機器の登録パスワード16桁を取得する。

So-netが提供するインターネットサービス「Gガイド.テレビ王国」のメンバーサービスへ登録し、16桁の登録パスワードを取得します。

詳しくは、下記で確認してください。

ホームページ

パソコン: http://www.so-net.ne.jp/tv/dvr/

Gガイド.テレビ王国サポートのホームページ

パソコン: http://www.so-net.ne.jp/tv/support/

2 リモート機器の登録パスワードを本機に登録する。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]>[通信設定]>[リモート機器設定]>[リモート機器登録](109ページ)を選び、《決定》ボタンを押します。

リモート機器側で取得した登録パスワードを本機に登録します。

[登録リモート機器一覧]で登録できたか確認します。

録画予約や録画した番組を整理したい

リモート機器から操作します。
機能や操作方法、登録方法などについて詳しくは、「準備2:本機にリモート機器を登録する」(51ページ)に記載されている各ホームページをご覧ください。

リモート録画予約に関する免責事項

- ソニーは、理由の如何を問わず、以下について、一切の責任を負わないものとします。
  - リモート録画予約サービス事業者によるサービス内容が予告なく変更・中止されること。
  - 発生したリモート録画予約サービスの提供の遅延または中断等によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害。
  - リモート録画予約サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能。
  - ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情を原因とするリモート録画予約サービスの全部または一部の機能不能。
- 本機の修理・交換等によりリモート録画予約サービスの再登録が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- リモート録画予約をしても、本機の状態や、ネットワーク回線が混雑しているときなどは、録画予約の情報が本機に届くまで時間がかかることがあります。
- 録画予約の際に、インターネット接続プロバイダーへの、接続料金などの費用が発生します。
- リモート録画予約を利用するときは、常時接続となるようルーターを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。

以下のことはできません

- リモート機器を6台以上本機に登録すること。
- 次の場合にリモート録画予約すること。
  - ディスクの容量が不足している場合。
  - 重複する予約を後から、本機や他の機器から行った場合。
  - 録画予約に影響する操作を本機で行った場合。
  - B-CASカードが挿入されてない場合(地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の場合)。

接続先およびその目的について

本機能では下記のサーバーへ接続しています。
- 接続先:
  リモートからの録画予約機能などを提供するサーバー
- 運営元:ソネットエンタテインメント株式会社
- 目的:リモート機器の登録や録画予約などのため

BDの特典映像を楽しみたい

BD-LIVEロゴ*が記載されたBD-ROMには、スペシャルコンテンツ(BONUSVIEW)や、ネットワークから外部メモリー(ローカルストレージ"local storage")にダウンロードして楽しむコンテンツ(BD-LIVE)などが用意されているものがあります。

* BD LIVE

準備:ネットワーク接続/設定を行う

1 ネットワークにつなぐ(41ページ)。

2 かんたんネットワーク設定をする(43ページ)。

映像を見たい

1 BDのインターネット接続を許可する。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]>[BD/DVD視聴設定]>[BDインターネット接続]>[許可する](104ページ)を選び、《決定》ボタンを押します。

2 BONUSVIEW(ボーナスビュー)やBD-LIVE(BDライブ)対応のディスクを入れる。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- BD-ROM再生時に本機のローカルストレージが不足していることを知らせるメッセージが表示されたときは、ホームメニュー>[ビデオ]>[BDデータ]からデータを削除してください。

削除／編集する

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも紹介しています。

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/bd/manual/

見終わった番組や映像を削除したい（タイトル削除）

ご注意

- 一度削除したタイトルは元に戻せませんのでご注意ください。

ハードディスクの映像を削除したい

本機／外付けのハードディスクに記録した映像を削除できます。
写真やアルバムは、本機のハードディスクに記録した場合のみ削除できます。

ひとつだけ削除するときは

《ホーム》ボタンを押します。
［ビデオ］／［フォト］＞削除したいタイトルを選び、《削除》ボタンを押します。
［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

複数削除するときは

1 削除方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［ビデオ］／［フォト］＞タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

［削除］＞［選択削除］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- ［すべて削除］を選ぶと、すべてのタイトルが削除対象となります。手順3へ進んでください。

2 削除したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 削除する。

［確定］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

グループごと削除するときは

1 グループごとの表示にする（31ページ）。

2 グループごと削除する。

グループを選び、《削除》ボタンを押します。

［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 視聴年齢制限でタイトルリストに表示されないタイトルは、表示されている他のタイトルを選び、オプションメニューの［視聴制限一時解除］（160ページ）で視聴年齢制限を解除してから削除してください。

BDの映像を削除したい

番組／映像の場合

削除できます。「ハードディスクの映像を削除したい」（54ページ）をご覧ください。

ご注意

- BD-Rはタイトルを削除しても空き容量は増えません。
- BDからグループごと削除することはできません。

写真／アルバムの場合

削除できません。
BD-REを初期化すると、ディスクの内容をすべて削除できます（72ページ）。

DVDの映像を削除したい

映像（タイトル）を選んで削除できません。
DVD-RWを初期化すると、ディスクのタイトルをすべて削除できます。DVDの初期化はダビングの手順の中で行います（64ページ）。

プレイリストを作成したオリジナルタイトルを削除したい

オリジナルタイトルのみを削除することはできません。先にプレイリスト（57ページ）を削除してからオリジナルタイトルを削除してください。

削除できないように保護をかけたい（プロテクト）

本機／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REの映像（タイトル）を削除できないようにプロテクト（保護）設定できます。

1 タイトルを選び、プロテクトする。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[プロテクト]を選び、《決定》ボタンを押します。

解除するには、[プロテクト解除]を選びます。

NEW マークを付けたい

本機／外付けのハードディスクの再生済みのタイトルに、再度 NEW マークをつけられます。まだ見終わっていないタイトルを探しやすくしたり、誤って消去したりしないようにするなど、NEW マークを目印代わりに使えます。

1 タイトルを選び、NEW マークを付ける。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[設定／編集]＞[NEW設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

映像が編集できるか確認したい

映像の種類と記録先

映像の種類	本機／外付けのハードディスク	BD	DVD
デジタル放送の映像	○	○	×
インターネットサービスからダウンロードした映像	×	×	×
他機器から取り込んだ映像	○	○	×

編集でできること

編集方法（ページ）	本機／外付けのハードディスク	BD
チャプターを分割／削除／結合（56）	○	○
映像の一部分をカット（部分削除）（57）	○	○
映像のプレイリストを作成（57）	○	○
ひとつの映像を分割（タイトル分割）（58）	○	○
複数の映像をひとつに（タイトル結合）（59）	○	○
録画した映像にマークを付けてグループ設定（59）	○	×
映像につけたタイトル名を変更（60）	○	○
サムネイル画像を変更（60）	○	○

ご注意

- 「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクは編集できません。
- DVDの映像（タイトル）は編集できません。
- 編集中にディスクを取り出したり、録画予約で設定した録画が始まったりすると、編集内容が取り消されることがあります。
- 視聴年齢制限でタイトルリストに表示されないタイトルは、表示されている他のタイトルを選び、オプションメニューの[視聴制限一時解除]（160ページ）で視聴年齢制限を解除してから編集してください。

チャプターを分割／削除／結合したい

映像にチャプターマークを付けたい

《チャプター書込み》ボタンで、好みの場面にチャプターマーク（33ページ）を付けられます。

チャプターを分割／削除／結合したい（チャプター編集）

映像（タイトル）のチャプターを好みに合わせて編集できます。また、不要な場面をまとめて削除することもできます。チャプターを削除すると、元に戻せないのでご注意ください。プレイリスト（57ページ）を利用すると便利です。

1 タイトルを選び、編集画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

［設定／編集］＞［チャプター編集］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 チャプターを選び、編集する。

操作ボタンエリア　チャプターエリア

分割するときは

1　チャプターエリアで分割したいチャプターを←→で選ぶ。
　►《再生》ボタンを押して、再生する。
　分割したい場面で❚❚《一次停止》ボタンを押す。

2　↓で操作ボタンエリアに移動して［分割］を選び、《決定》ボタンを押す。

前のチャプターと結合するときは

1　チャプターエリアで結合したいチャプターを←→で選ぶ。

2　↓で操作ボタンエリアに移動して［前と結合］を選び、《決定》ボタンを押す。

削除するときは

1　チャプターエリアで削除したいチャプターを←→で選び、《決定》ボタンを押す。
　複数のチャプターを一度に削除するときは、削除するチャプターをすべて選んでおきます。

2　↓で操作ボタンエリアに移動して［削除実行］を選び、《決定》ボタンを押す。

3 終了する。

［終了］を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- チャプターの時間が短いと、削除できないことがあります。
- チャプターを削除した場所の映像や音声が途切れることがあります。

映像の一部分をカットしたい（部分削除）

オリジナルタイトルの場面を削除すると元に戻せないのでご注意ください。プレイリスト（57ページ）を利用すると便利です。

1 映像（タイトル）を選び、削除方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

［設定／編集］＞［部分削除］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 削除する部分を選ぶ。

削除を開始する場面が表示されたら、［開始点設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

削除を終了する場面が表示されたら、［終了点設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

開始点設定　終了点設定　操作ボタンエリア

3 確定する。

操作ボタンエリアで［確定］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

続けて他の場面を削除するときは、手順2、3をくり返します。

4 画面を終了する。

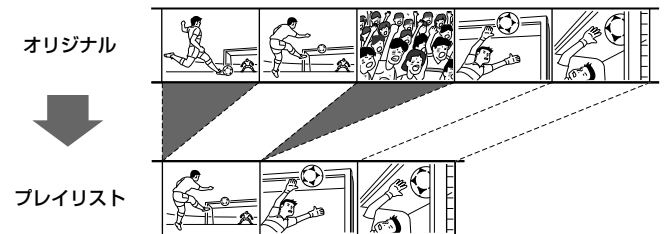
操作ボタンエリアで［終了］を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- ［部分削除］で場面を削除した場所にはチャプターマークが入り、前後の場面はそれぞれ別のチャプターになります。
- 削除設定した場面が少しずれて削除されることがあります。
- 削除した場所の映像や音声が途切れることがあります。

映像のプレイリストを作成したい

プレイリストを作成したい

プレイリストを使うと、映像（タイトル）から、お好みの場面をお好みの順序で再生できるようになります。

実際に録画した「オリジナルのタイトル」を元に作成した仮想タイトルです。オリジナルの内容に手を加えないため、プレイリストをどのように編集し直しても、オリジナルに影響はありません。

1 映像（タイトル）を選び、プレイリスト作成方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

［設定／編集］＞［プレイリスト作成］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 プレイリストを作成したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 プレイリストに入れるシーンを選ぶ。

プレイリストに入れるシーンの開始場面が表示されたら、［開始点設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

プレイリストに入れるシーンの終了場面が表示されたら、［終了点設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

開始点設定　終了点設定　操作ボタンエリア

4 確定する。

操作ボタンエリアで［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

続けて同じタイトルからシーンを追加する場合は、手順3、4をくり返します。

5 シーン選びを終了する。

操作ボタンエリアで[終了]を選び、《決定》ボタンを押します。

6 選んだシーンを確認する。

[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。
シーンリストで選ばれたシーンでプレイリストを作成します。

[確定]を選ぶ前に[シーン追加]を選ぶと、タイトル選択画面に戻り、他のタイトルを選んでシーンを切り出せます。

7 プレイリスト名を入力する。

文字入力画面（136ページ）でプレイリスト名を入力します。

ご注意

- プレイリストを作成すると、編集した場面を再生するとき、映像が一時停止することがあります。
- プレイリストを作成できるのは、同じ保存先にあるタイトル同士のみです。

以下のことはできません。

- 次の組み合わせでプレイリストを作成すること。
  - 録画した3D映像を含むタイトルと2Dのタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像と、それ以外の3Dタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像同士で、解像度やフレームレートが異なる場合。
  - 他機器で撮影した1080/60p映像と、それ以外のタイトル。

プレイリストを作成したオリジナルタイトルを編集したい

プレイリストを作成したオリジナルタイトルは編集できません。プレイリストを削除すると、オリジナルタイトルを編集できるようになります。

ひとつの映像を分割したい（タイトル分割）

高画質で長時間の容量が大きい映像（タイトル）を、画質を落とさずにディスクへダビングしたいときに便利です。

1 タイトルを選び、分割方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。
タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。
[設定／編集]＞[タイトル分割]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを分割する。

分割する場面が表示されたら[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

画面の指示に従って操作してください。
分割した後にタイトル名を変更するには、[はい]を選び、文字入力画面（136ページ）で入力します。

複数の映像をひとつにしたい（タイトル結合）

次の映像（タイトル）を結合できます。
- プレイリストタイトル同士。
- オリジナルタイトル同士。

1 タイトルを選び、結合方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

［設定／編集］＞［タイトル結合］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 結合するタイトルを選ぶ。

タイトルは複数選べます。

タイトル　操作ボタンエリア

3 確定する。

操作ボタンエリアで［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

4 結合する。

タイトル名を選び、《決定》ボタンを押します。

［名前入力］を選ぶと新しくタイトル名を入力できます（136ページ）。

ご注意

- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。
- コピー制限のないタイトルを、ダビング10に対応したタイトルと結合すると、ダビング10対応タイトルに付いていた回数制限が付きます。
- 結合できるのは、同じ保存先にあるタイトル同士のみです。
- タイトルを結合した場所の映像や音声が途切れることがあります。

以下のことはできません。

- 次の組み合わせでタイトルを結合すること。
  - 録画した3D映像を含むタイトルと2Dのタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像と、それ以外の3Dタイトル。
  - 他機器で撮影した3D映像同士で、解像度やフレームレートが異なる場合。
  - 他機器で撮影した1080/60p映像と、それ以外のタイトル。

録画した映像にマークを付けてグループ設定したい

ハードディスクに録画した映像にマークを付けたい

☞次のページも参考にしてください。
- グループごとの表示にする（31ページ）。

「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい（詳細設定）」（16ページ）で、録画予約時にできます。
本機／外付けのハードディスクの映像（タイトル）にマークを付けて、同じマークのグループに分類して表示できます。

1 タイトルを選び、マークを設定する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

［設定／編集］＞［マーク設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

マークの名前を変更したい

本機／外付けのハードディスクの映像（タイトル）のマーク名を変更できます。

1 グループごとの表示にする（31ページ）。

2 マークを選び、変更方法を選ぶ。

［マーク］＞グループを選び、《オプション》ボタンを押します。

［名前変更］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 マーク名を入力する。

文字入力画面（136ページ）でマーク名を入力します。

ちょっと一言

- ［マーク名設定］（104ページ）でも、マーク名を変更できます。

BD/DVDの映像にマークを付けたり、名前を変更したりしたい

マークを付けることができるのはハードディスクの映像（タイトル）だけです。

タイトル名を変更したい

本機／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像（タイトル）のタイトル名を変更できます。

1 タイトルを選び、名前を変更する。

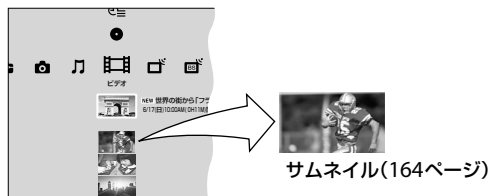
《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

［設定／編集］＞［名前変更］を選び、《決定》ボタンを押します。

新しくタイトル名を入力できます（136ページ）。

サムネイル画像を変更したい

本機／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像（タイトル）のサムネイルを変更できます。

1 タイトルを選び、設定画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

タイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

［設定／編集］＞［サムネイル設定］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 サムネイルを変更する。

サムネイルにしたい場面が表示されたら［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

コピー／ダビングする

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも紹介しています。

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/bd/manual/

コピーできるディスク／映像の種類

BD

デジタル放送の番組やインターネットからダウンロードした映像をハイビジョン画質でダビングしたいときや、長時間の映像をダビングしたいときに最適なディスクです。

	BD-RE	BD-R
くり返し利用*	○	×
高速ダビング	○	○
録画した番組のダビング	○	○
インターネットからダウンロードした映像のダビング	○	○
他機器から取り込んだ映像のダビング	○	○

* BD-R/REは追記が可能です。BD-Rはクローズすると追記できません(71ページ)。

外部入力につないだ他機器の映像をディスクにコピーするには

本機のハードディスクにダビングしてから(80ページ)、ディスクにダビングしてください(63ページ)。

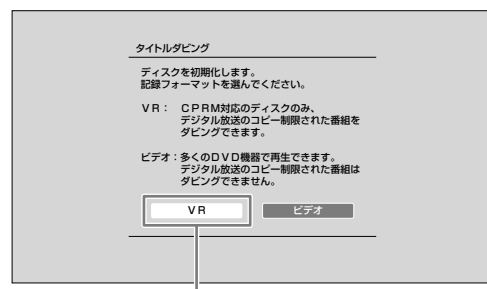
3D映像をディスクにコピーするには

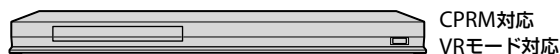
BD-REやBD-Rに高速ダビングしてください(63ページ)。高速以外のダビングモードでダビングした場合、再生時に自動で3D表示に切り換わらなくなります。

DVD

標準画質でダビングします。ダビングには、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。

	DVD-RW (12cm)	DVD-R (12cm)
くり返し利用	○	×
高速ダビング	×	×
録画した番組のダビング	○ (CPRM対応ビデオ用／録画用)	○ (CPRM対応ビデオ用／録画用)
インターネットからダウンロードした映像のダビング	×	×
他機器から取り込んだ映像のダビング	○	○

- 録画した番組をダビングできる記録フォーマット

ダビング時に[VR]を選んでください(64ページ)。

- 他機器での再生互換(DVD-RW/DVD-R)。
  他機器で再生するためにはファイナライズが必要です。
  DVD-RWはダビング終了後、自動的にファイナライズされます。
  DVD-Rへのダビング時に[ファイナライズする]を選ばなかったときは、オプションメニューからファイナライズしてください(71ページ)。
  ダビングしたDVDはCPRMとVRに対応した機器でのみ再生できます(139ページ)。

コピーできないディスク

- 8cmのDVD
- DVD-R DL(2層)
- DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL(2層)
- DVD-RAM

外部入力につないだ他機器の映像をディスクにコピーするには

本機のハードディスクにダビングしてから(80ページ)、ディスクにダビングしてください(64ページ)。

コピー中の操作制限

高速ダビング中

ホームメニューからテレビ番組を見たり、本機／外付けのハードディスクに録画した映像（タイトル）を再生したりできます。ただし、次の操作はできません。

– ブラビアリンクの「見て録」。
– BDへの録画（BDとのダビング／ムーブバック中）。
– 外付けハードディスクへの録画（外付けハードディスクとのダビング中）。
– BDやDVDの再生（本機のハードディスク⇔外付けハードディスクのダビング中以外）。
– ルームリンクから見ること。
– フォト切り出し／フォト取り込み。
– ダビング元とダビング先に記録されているタイトルの編集（サムネイル設定／チャプター編集／部分削除／タイトル分割／プレイリスト作成）。
– ダビング（タイトルダビング／思い出ディスクダビング／ VHSダビング／ AVCHDダビング／ HDV/DVダビング（対象機種：BDZ-EX3000）／まるごとDVDコピー）。
– おでかけ転送／おかえり転送（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500）。
– 無線でおでかけ転送（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500）。
– x-ScrapBook/x-Pict Story HD。
– インターネットサービスの利用。

高速以外のダビングモードでダビング中

他の操作はできません。

ダビング先の空き容量を確認したい

ディスクの空き容量を確認するには

ディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
［情報表示］を選び、《決定》ボタンを押します。

本機／外付けのハードディスクの空き容量を確認するには

詳しくは、「録画先の空き容量を確認したい」（19ページ）をご覧ください。

ディスクにコピーしたい（タイトルダビング）

BDにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
• BDを用意する。

☞次のページも参考にしてください。
• ディスクの空き容量を確認したい（63ページ）。

本機／外付けのハードディスクにたまった映像（タイトル）をBDにダビングして保存できます。

1 ディスクを入れ、ダビング方法を選ぶ。

本機のハードディスクからダビングするには

《録画リスト》ボタンを押します。
［ディスクダビング］＞［HDD→BD/DVDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けのハードディスクからダビングするには

《録画リスト》ボタンを押します。
［USB HDDダビング］＞［USB HDD→BD/DVDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言

• ダビングモードを変更できます（71ページ）。
• 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。31個以上のタイトルをダビングしたいときは、くり返し行ってください。

操作ボタンエリアで［全選択］を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

操作ボタンエリアで［自動調整］を選んだときは

ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。ディスクの空き容量が不足しているときに選べます。

3 ダビングを開始する。

操作ボタンエリアで［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできることがあります。
- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- 本機のハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- デジタル放送の 1⇒ が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動（ムーブ）してよいか確認する画面が表示されます。［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、本機のハードディスクからは削除されます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- 編集したタイトルを高速ダビングすると、削除した映像が残ることがあります。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング終了後に開始するBDへの録画予約が実行されないことがあります。
- ディスクに入りきらない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。ダビングモードを変えるとダビングできる場合は、自動調整の画面が表示され、再生時間とほぼ同じ時間がかかりますが開始します。
- 他機器で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字はタイトルリストで表示されません。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルは、高速ダビングのみできます。ダビングモードは変更できません。
- 視聴年齢制限でタイトルリストに表示されないタイトルは、表示されている他のタイトルを選び、オプションメニューの［視聴制限一時解除］（160ページ）で視聴年齢制限を解除してからダビングしてください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルには、ダビング期限や有効期限が指定されているものがあります。ダビング期限などを確認するには、オプションメニューから［情報表示］を選んでください。
- LAN録画／ LANムーブしたタイトルはBDにダビングしても他機器で再生できないことがあります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/

DVDにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。

- 録画した放送をダビングするときはCPRM対応のDVDを用意する。

☞次のページも参考にしてください。

- コピーできるディスクの種類（62ページ）。
- ディスクの空き容量を確認したい（63ページ）。

本機／外付けのハードディスクにたまった映像（タイトル）をDVDにダビングして保存できます。

1 ディスクを入れ、ダビング方法を選ぶ。

本機のハードディスクからダビングするには

《録画リスト》ボタンを押します。

［ディスクダビング］＞［HDD→BD/DVDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けのハードディスクからダビングするには

《録画リスト》ボタンを押します。

［USB HDDダビング］＞［USB HDD→BD/DVDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

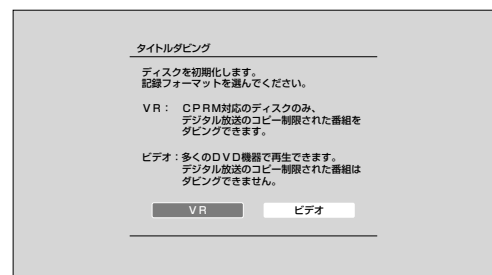
データを追記または初期化を選ぶ画面が表示されたときは

［追記］

DVDにタイトルを残し、タイトルを追加するときに選びます。

［初期化］

DVDからタイトルを削除し、新しく記録するときに選びます。すでにDVDに記録されているタイトル、写真、データなどはすべて削除されます。

記録フォーマットを選ぶ画面が表示されたときは

［VR］

デジタル放送をダビングするときに選びます。

［ビデオ］

ビデオカメラ映像などのコピー制御信号を含まないタイトルを、より多くのDVD機器で再生できるようにダビングします。デジタル放送はダビングできません。

2 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言

- 画質に合わせて、本機が自動的にダビングモードを設定します。詳しくは、「本機のハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間」(142ページ)をご覧ください。
- ダビングモードを変更できます(71ページ)。
- 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。

操作ボタンエリアで［全選択］を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

操作ボタンエリアで［自動調整］を選んだときは

ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。ディスクの空き容量が不足しているときに選べます。

3 ダビングを開始する。

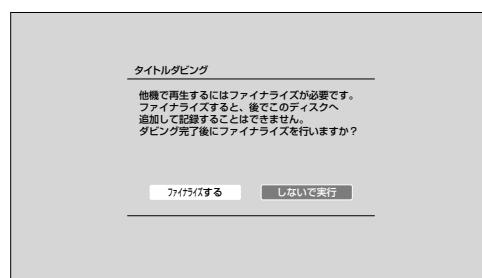
操作ボタンエリアで［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。

ご注意

- ディスクに入りきらない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。ダビングモードを変えるとダビングできる場合は、自動調整の画面が表示され、ダビングできます。

ファイナライズを選ぶ画面が表示されたときは

［ファイナライズする］

ダビング終了後、自動的にファイナライズします。タイトルの記録時間が短いと、ファイナライズにかかる時間が長くなることがあります。一度ファイナライズすると、DVD-Rには追記できなくなります。

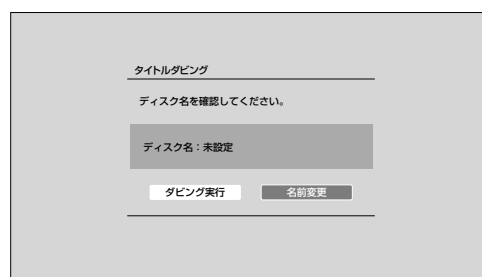
［しないで実行］

ダビングが始まります。ダビング終了後、必要に応じてファイナライズしてください(71ページ)。

DVDメニューを選ぶ画面が表示されたときは

24種類のDVDメニューの中から選びます。

《黄》ボタンを押すと、背景画面が拡大表示されます。

名前変更を選ぶ画面が表示されたときは

［ダビング実行］

ダビングが始まります。ダビング終了後、自動的にファイナライズします。

［名前変更］

ディスクの名前を変更できます(136ページ)。

ちょっと一言
- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできることがあります。
- DVDにダビングしたタイトルは、チャプター編集などの編集はできません。あらかじめ本機のハードディスクで編集してから、ダビングしてください。
- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- 本機のハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- デジタル放送の 1回 が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動（ムーブ）してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、本機のハードディスクからは削除されます。

ご注意
- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- 次の文字を使ったタイトルをDVDにダビングすると、ダビング時にこれらの文字は削除されます。
「①」「②」「③」「④」「⑤」「⑥」「⑦」「⑧」「⑨」「⑩」
「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」「Ⅶ」「Ⅷ」「Ⅸ」「Ⅹ」
その他特殊文字は削除されることがあります。
- 記録フォーマットを[ビデオ]にした場合（64ページ）、LPモードでダビングすると、4:3のサイズでダビングされ、画面の上下に黒帯が付くことがあります。

以下のことはできません
- DVD-R/-RW（VR）でDVDメニューを作成すること。
- 全角32文字、半角64文字を超えた文字数を、DVDのディスク名として入力すること。
他機器で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字はタイトルリストで表示されません。
- 5.1chの音声が含まれているデジタル放送のタイトルを、5.1chの音声のままDVDにダビングすること。
DVDにダビングしたタイトルは2chの音声になります。

ディスクに保存した映像を本機にコピーしたい

BDからコピーしたい（ムーブバック）

BD-RE/BD-Rに保存したデジタル放送の映像（タイトル）を、本機／外付けのハードディスクに移動できます。
ムーブバックしたデジタル放送のタイトルは、BDから削除されます。

1 BDを入れ、ダビング方法を選ぶ。

本機のハードディスクにダビングするときは

《録画リスト》ボタンを押します。
[ディスクダビング]＞[BD/DVD→HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクにダビングするときは

《録画リスト》ボタンを押します。
[USB HDDダビング]＞[BD/DVD→USB HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 1回 が付いているタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言
- 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。

3 ムーブバックを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意
- BD-Rの場合、ムーブバックしても空き容量は増えません。
- ムーブバックしたタイトルは、1回だけ移動できるタイトル（1回）になります。
- ムーブバックはタイトルごとに行われます。途中で中止すると、ムーブバックが終了したタイトルは本機／外付けのハードディスクに移動し、途中で中止したタイトル以降はBDに残ります。
- 他機器から取り込んだタイトルやアナログ放送を記録したタイトルなどダビング禁止の表示がないタイトルは、本機能に関係なくダビングでき、BDにも残ります。
- 読み込み中に表示される時間は目安であり、ディスクの状態によってはムーブバックに時間がかかることがあります。

以下のことはできません
- 次の場合にムーブバックすること。
  – 本機／外付けのハードディスクにムーブバックするタイトル以上の空き容量がない場合。
  – BDクローズされたディスクなど、追記できない状態の場合。

DVDからコピーしたい

DVDに保存したデジタル放送の映像(タイトル)は、ムーブバックできません。
デジタル放送以外の映像は、「ディスクから取り込みたい」(81ページ)でコピーできます。

本機と外付けハードディスクの間でコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 外付けハードディスクを本機につなぐ(96ページ)。

☞次のページも参考にしてください。
- ダビング先の空き容量を確認したい(19ページ)。

本機から外付けハードディスクにコピーしたい(HDD→USB HDDダビング)

本機のハードディスクに保存した映像(タイトル)を外付けハードディスクに移動(ムーブ)やダビングできます。

1 ダビング画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。
[USB HDDダビング]＞[HDD→USB HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング方法を選ぶ。

[ダビング元を消してムーブ]や[ダビング元を残してコピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

[ダビング元を消してムーブ]を選んだときは

タイトルは本機のハードディスクから削除され、外付けハードディスクにムーブします。ダビング可能回数の数字は外付けハードディスクのタイトルに引き継がれます。

[ダビング元を残してコピー]を選んだときは

本機のタイトルを外付けハードディスクにダビングします。本機のタイトルからダビング可能回数の数字が減ります。外付けハードディスクのタイトルには 1⇒ が付きます。

ちょっと一言
- おでかけ転送するには、[ダビング元を残してコピー]を選び、本機のハードディスクにタイトルを残してください。外付けハードディスクからはおでかけ転送できません。

3 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言
- 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。

4 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクから本機にコピーしたい(USB HDD→HDDダビング)

外付けハードディスクに保存した映像(タイトル)を本機に移動(ムーブ)やダビングできます。

1 ダビング画面を表示する。

《録画リスト》ボタンを押します。

[USB HDDダビング]＞[USB HDD→HDDダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング方法を選ぶ。

[ダビング元を消してムーブ]や[ダビング元を残してコピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

[ダビング元を消してムーブ]を選んだときは

タイトルは外付けハードディスクから削除され、本機にムーブします。ダビング可能回数の数字は本機のタイトルに引き継がれます。

[ダビング元を残してコピー]を選んだときは

外付けハードディスクのタイトルを本機にダビングします。外付けハードディスクのタイトルからダビング可能回数の数字が減ります。本機のタイトルには 1⇒ が付き、ディスクへのダビング(ムーブ)やおでかけ転送は1回行えます。

3 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言

- 1度のダビングで選べるタイトルは30個までです。

4 ダビングを開始する。

[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- プレイリストと、プレイリストを作成したオリジナルタイトルをダビングする場合は、[ダビング元を残してコピー]を選んでください。プレイリストは、ダビング時にオリジナルタイトルとしてダビングされます。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- ダビング中に次の状態になった場合は、本機と外付けハードディスクの両方からタイトルが削除される可能性があります。
  - 外付けハードディスクの電源を切ったとき。
  - USBケーブルを抜いたとき。
  - 停電になったとき。
- 視聴年齢制限のあるタイトルは、画面の指示に従って[暗証番号設定](107ページ)で設定した暗証番号を入力してください。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング終了後に開始する外付けハードディスクへの録画予約が実行されないことがあります。
- 3D映像は高速以外のダビングモードでダビングした場合、2D映像に変換され、再生時に自動で3D表示に切り換わらなくなります。

以下のことはできません

- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルを外付けハードディスクにダビングすること。
- 写真を外付けハードディスクにダビングすること。

高画質/高速でディスクにコピーしたい

BDにコピーしたい（高速ダビング）

☞次のページも参考にしてください。
• コピー中の操作制限（63ページ）。

BDには、録画した画質のまま高速ダビングできます。

1 録画時のモードのままBDにダビングする（63ページ）。

ダビングモードを変更してダビングすると、ダビングする映像の長さ（または再生時間）と同じくらいの時間がかかり、画質は落ちます。

高速ダビング中に他の操作をするには

ダビング進捗画面で［閉じる］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

ダビング所要時間が長くなりますのでご注意ください。
ダビング進捗画面に戻るには《録画リスト》ボタンを押します。
映像（タイトル）を選び、《オプション》ボタンを押します。
［ダビング進行状況］を選び、《決定》ボタンを押してください。
高画質で長時間の容量が大きい映像（タイトル）をディスクにおさめたいときは、「ディスクにおさまるようにコピーしたい」（69ページ）をご確認ください。

DVDにコピーしたい

DVDには、録画した画質のまま高速ダビングできません。必ず、ダビングモードの変更が必要となります。ダビングにはダビングする映像の長さ（または再生時間）と同じくらいの時間がかかりますので、ご注意ください。

ディスクにおさまるようにコピーしたい

長時間番組の画質を落とさずにコピーするには

1 BDにおさまる時間を調べる（141ページ）。

2 映像（タイトル）を分割する（58ページ）。

3 録画時のモードのままBDにダビングする（63ページ）。

画質を落としてコピーするには

タイトルを分割せず、1枚のディスクにおさめたい場合は、画質を落として、ダビングする映像の長さ（または再生時間）と同じくらいの時間をかけてダビングします。
タイトルダビング画面（156ページ）で［自動調整］を選ぶと、ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。
タイトルごとに調整する場合は、「ダビングモードを変更したい」（71ページ）で変更します。

グループ内の映像をまとめてコピーするには（連ドラ一括ダビング）

1 ディスクを入れ、グループごとの表示にする（31ページ）。

2 ダビングしたいグループを選ぶ。

グループ＞グループ（フォルダ）を選び、《オプション》ボタンを押します。
［ディスクへダビング］＞［グループ内すべて］を選び、《決定》ボタンを押します。
タイトルダビング画面が表示され、グループ内で録画日などの古い順にタイトルが並びます。上から順に30個まで選ばれます。

ちょっと一言
• ［グループ内選択］を選ぶと、タイトルを選んでダビングできます。

3 ダビングを開始する。

［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

二か国語放送／字幕付きの番組をディスクにコピーしたい

二か国語放送の番組を再生時に音声切換できるようにコピーしたい

☞次のページも参考にしてください。
- 二か国語放送／字幕付きの番組を録画したい（18ページ）。

BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000をお使いのときは
BDにDRモードのままダビングしてください（63ページ）。
BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500をお使いのときは
録画したモードのままBDにダビングしてください（63ページ）。

切り換えできなくても片方の音声だけをコピーするには

映像（タイトル）に記録されている音声により操作が異なります。
再生中に《音声切換》ボタンを押し、表示された音声を確認してください（34ページ）。
ダビングには、ダビングする映像の長さ（または再生時間）と同じくらいの時間がかかります。

[主]／[副]／[主／副]が表示されるときは
[二重音声記録]で[主音声]や[副音声]のどちらかを選び（104ページ）、BDやDVDにダビングモードを変更してダビングします（71ページ）。

[音声1]／[音声2]が表示されるときは
タイトルダビング画面（63、64ページ）でタイトルを選んだ後、次の操作をしてください。

1 高速以外のダビングモードを選ぶ。
《オプション》ボタンを押します。
[ダビングモード設定]＞高速以外のダビングモード＞[設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 音声を選び、ダビングを開始する。
《オプション》ボタンを押します。
[信号選択]＞ダビングしたい音声＞[確定]＞[実行]を選び、《決定》ボタンを押し、ダビングを開始します。

字幕付きの映像を再生時に字幕切換できるようにコピーしたい

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- DRモードで録画する（15ページ）。

BDにDRモードのままダビングしてください（63ページ）。

切り換えできなくても字幕表示できるようにコピーするには

[字幕焼きこみ]を[入]に設定し（104ページ）、BDやDVDにダビングモードを変更してダビングします（71ページ）。
ダビングには、ダビングする映像の長さ（または再生時間）と同じくらいの時間がかかります。
[字幕焼きこみ]で焼きこんだ字幕は削除できませんのでご注意ください。

ダビングモードを変更したい

☞次のページも参考にしてください。
- 録画モードと録画／ダビング可能時間（141ページ）。

本機はダビング時の録画モードを「ダビングモード」と表示します。ダビングモードを変更して画質を落とせば、少ない容量でたくさん保存できます。
ダビングには、ダビングする映像の長さ（または再生時間）と同じくらいの時間がかかります。

ダビングモードを変更するには、タイトルダビング画面（63、65、156ページ）で映像（タイトル）を選び、《オプション》ボタンを押します。
[ダビングモード設定]＞変更したいダビングモード＞[設定]＞[実行]を選び、《決定》ボタンを押し、ダビングを開始します。

ちょっと一言
- 編集したタイトルのダビングモードを変更すると、ダビング後のタイトル間での継ぎ目がなめらかになります。

ご注意
- 16:9と4:3の映像が混在しているタイトルを、ダビングモードを変えてダビングする場合、タイトルの情報がもつ固定の映像サイズでダビングされますので混在できません。BDや外付けハードディスクに高速ダビングした場合、元の映像サイズのままダビングされます。
- ダビングモードを変えてダビングする場合、複数のタイトルを選んで合計12時間を超える場合はダビングできません。何回かに分けてダビングしてください。

コピーを途中で止めたい

1 ダビングを止める。

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- DVDの場合、ファイナライズされずにダビングは中止します。必要に応じてファイナライズしてください（71ページ）。

ご注意
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのダビングを中断した場合は、必ず同じディスクで再開してください。

ディスクをファイナライズしたい

BDをファイナライズしたい

BDは、DVDとは異なる規格のため、ファイナライズが不要です。ダビング後のBDは、そのままの状態で他のBD機器で再生できます。

編集／追記できないようにするには（BDクローズ）

BD-Rを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[BDクローズ]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意
- 一度BD-Rをクローズすると解除できません。
- BDクローズすると、本機のハードディスクにタイトルを移動（ムーブバック）できなくなります。

DVDをファイナライズしたい

本機でダビングしたDVDを他のDVD機器で再生できるようにします。ダビング時にファイナライズしなかったDVDは次の手順でファイナライズしてください。

ディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[ファイナライズ]を選び、《決定》ボタンを押します。

映像（タイトル）の記録時間が短いほど、DVDのファイナライズにかかる時間が長くなることがあります。

ご注意
- 一度ファイナライズすると、DVD-Rには追記できなくなります。

以下のことはできません
- 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすること。

本機で作成したDVDを他機器で再生したい

1 ファイナライズする。

ダビング時にファイナライズしなかった場合は、手動でファイナライズしてください（71ページ）。

2 再生機器がVRモードとCPRMの再生などに対応しているか確認する。

機器によっては、DVD-RWのVRモードに対応していても、DVD-RのVRモードに対応していないことがあります。詳しくは再生機器の取扱説明書をご覧ください。

ディスクに名前を付けたい

BDに名前を付けるには

ディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

DVDに名前を付けるには

ダビングの手順の中で行います（65ページ）。

ディスクを買ってきた状態に戻したい（初期化）

BD（BD-RE）を初期化するには

ディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。
ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[初期化]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

DVDを初期化するには

ダビングの手順の中で行います（64ページ）。

ご注意

- BD-REの自動初期化以外の方法で初期化したディスクは、この手順で初期化できないことがあります。
- BD-R、DVD-Rは初期化できません。

BDに暗証番号をかけて再生できないようにしたい

1 BDを入れ、暗証番号設定画面を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[ビデオ]または[フォト]＞ディスクアイコンを選び、《オプション》ボタンを押します。
[ロック]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 暗証番号を設定する。

数字ボタンで暗証番号を入力し、[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。
ディスクを取り出し、次に入れた時に暗証番号入力をしないと再生できなくなります。

ロックを解除するには

手順1で[ロック解除]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

PSP®や“ウォークマン”・携帯電話などに持ち出す

おでかけ転送とは

録画した番組をモバイル機器などに持ち出して再生する機能です。

USB接続で転送できる機器
携帯電話／“ウォークマン”／“nav-u”／PSP®／PS Vita

無線接続で転送できる機器
スマートフォン／Sony Tabletなどのモバイル機器
なお、無線おでかけ転送には、対応したアプリケーションが必要です。

本書では、おでかけ転送の概要を説明しています。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

http://www.sony.jp/support/bd/manual/

おでかけ転送の説明はWebサイトが充実しています

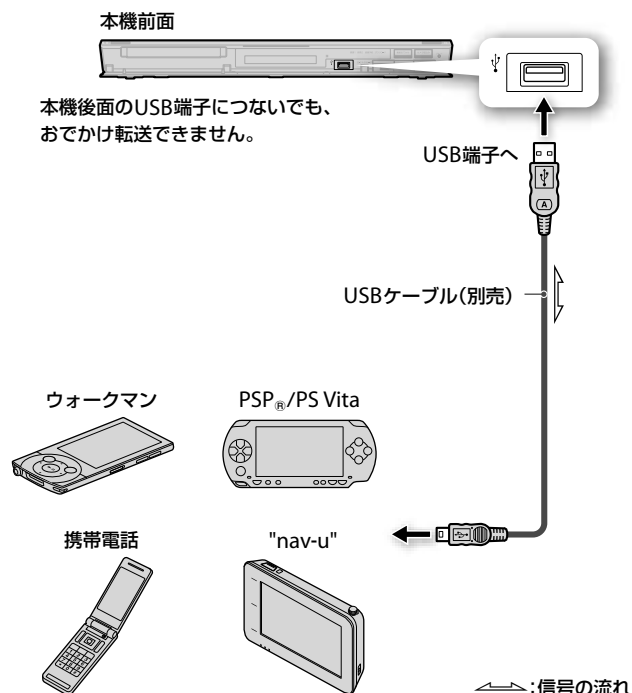
下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

- 対応機種
- よくある質問
- 何ができる？何ができない？転送先機器や機能による制約事項
- もっと便利な使いこなし術
  - まとめて転送
  - 自動で転送（更新転送）
  - 二か国語や字幕付き番組

  など

対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

USB接続しておでかけ転送したい

1 転送機器をつなぎ、電源を入れる。

お使いの機器によってはUSBモードなどに切り換える操作が必要です。

2 映像を選んで転送する。

《録画リスト》ボタンを押します。

［おでかけ・おかえり転送］＞［おでかけ転送］からタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

転送が終わると本体表示窓の「DUB」（134ページ）が消えるので、USB機器を抜いてください。

本体のおでかけボタンで転送するには（ワンタッチ転送）

次の設定を行った後で番組を録画すると、録画終了後、機器をつないで《番組おでかけ》ボタンを押すと転送されます。

- おでかけ転送機器を登録する（105ページ）。
- 録画予約時に、［ワンタッチ転送］を［する］に設定する（17ページ）。

高速転送するには

次の設定を行った後で番組を録画すると、録画と同時におでかけ転送用動画ファイルを作成するため、転送が高速で行えます。

- おでかけ転送機器を登録する（105ページ）。
- ［高速転送録画］を［入］にする（105ページ）。

次の場合は再生と同程度の時間がかかります。

- 登録した転送機器と違う機器に転送するとき。
- おでかけ転送リストに「高速」表示の無いタイトル。

おかえり転送するには

本機前面のUSB端子におでかけ転送機器を接続し、《録画リスト》ボタンを押します。
［おでかけ・おかえり転送］＞［おかえり転送］からタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
おかえり転送できるのは、“ウォークマン”、PSP®、PS Vita、“nav-u”です。携帯電話はおかえり転送できません。

ダビング可能回数について

1➡ ～ 10➡ のついたタイトルは、おでかけ転送するとダビング可能回数が減ります。
おかえり転送でおでかけしたタイトルを本機に戻すと回数は元に戻り、転送先からは削除されます。

無線でおでかけ転送したい

本機に録画した映像(タイトル)など、ネットワークを経由しておでかけ転送できます。

無線おでかけ転送の準備をする

1 ネットワークにつなぐ(41ページ)。

2 かんたんネットワーク設定をする(43ページ)。

3 無線モバイル機器をネットワークにつなぐ(お使いの機器の取扱説明書をご覧ください)。

4 録画時に転送用ファイルが作成される設定にする。
- [おでかけ転送機器]で[スマートフォン／タブレットPC]にする(105ページ)。
- [高速転送録画]を[入]にする(105ページ)。

無線おでかけ転送したい

1 無線モバイル機器のアプリから操作して転送する。

無線モバイル機器に、無線おでかけ転送に対応したアプリケーションをインストールしてください。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/support/bd/

自動転送するには

次の設定を行った後で番組を録画しておくと、無線おでかけのアプリから同期指示することで自動転送できます。
- 録画予約時に、[自動転送]を[する]に設定する(17ページ)。

ご注意

- 無線でおでかけ転送が正常にできないときは、本機を有線でルーターと接続してください。
- 無線でおでかけ転送したタイトルは、おかえり転送はできません。
- 1➡ のタイトルは録画予約時に[自動転送]を[する]にしても自動転送されません。手動で転送してください。
- 視聴年齢制限付きタイトルは転送できない場合があります。

他機器から取り込む

これらの情報はWebでもご覧いただけます

パソコン：
スマートフォン：

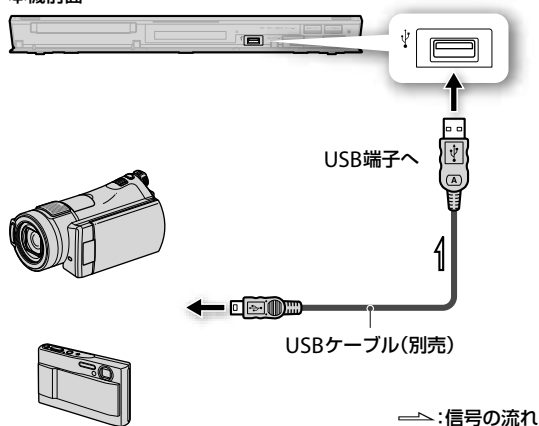
http://www.sony.jp/support/bd/manual/

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも
紹介しています。

動画を取り込みたい

USBケーブルを使って取り込みたい（AVCHDダビング）

ビデオカメラやデジタルカメラなどの他機器を本機前面のUSB端子につなぐと、AVCHD方式・3D・1080/60pの動画を本機のハードディスクに取り込めます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります（USB接続モードなど）。詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ［スタンバイモード］を［瞬間起動］に設定すると（106ページ）、本機の電源が切れている場合でも本機前面のUSB端子から一部の機器の充電ができます。

2 取り込み方法を選ぶ。

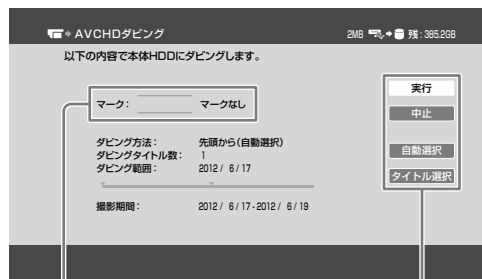
《録画リスト》ボタンを押します。

BDZ-EX3000をお使いのときは

［ビデオカメラダビング］＞［AVCHDダビング（USB）］を選び、《決定》ボタンを押します。

BDZ- ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500 / E500をお使いのときは

［AVCHDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 項目を設定する。

動画（タイトル）にマークを設定するには

設定エリアでマークを選びます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、取り込んだタイトルをマークごとに分類できて便利です。

操作ボタンエリアで［自動選択］を選んだときは

一度に30個まで自動で取り込まれます。

操作ボタンエリアで［タイトル選択］を選んだときは

タイトルを30個まで選べます。

4 取り込みを開始する。

操作ボタンエリアで［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを途中で止めるには

［停止］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- 他機器で記録した動画を本機に取り込んだ場合、表示される録画モードが元の録画モードと異なることがありますが、画質は劣化しません。
- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。他機器で編集されたタイトルは分割されません。

以下のことはできません

- 他機器で記録された、撮影日時などの字幕を取り込むこと（取り込んだタイトルを再生するとき、画面に撮影日時を表示することはできません）。
- 本機前面以外のUSB端子に機器をつないで取り込むこと。
- SD（スタンダード）画質で記録された動画を取り込むこと。
「映像／音声ケーブルを使って取り込みたい」（80ページ）から取り込んでください。

メモリーカードから取り込みたい（AVCHDダビング）

▶対象機種：BDZ-EX3000

☞次のページも参考にしてください。
- 本機で使用できるメモリーカードについては、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

AVCHD方式･3D･1080/60pの動画が記録されているメモリーカードを本機に挿入すると、AVCHD方式･3D･1080/60pの動画を本機のハードディスクに取り込めます。

1 メモリーカードを入れる。

メモリーカードをスロット（挿入口）にしっかりと差し込みます。

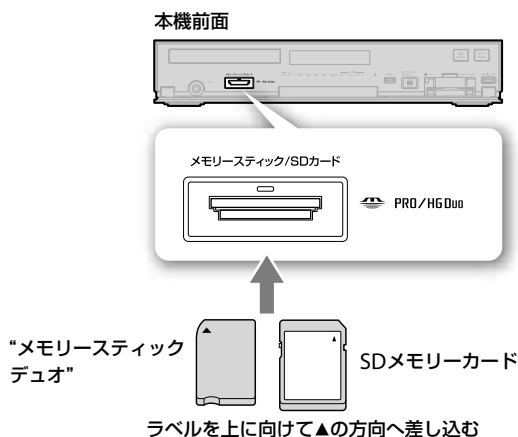
本機前面

メモリースティック/SDカード

PRO/HG Duo

“メモリースティック デュオ”

SDメモリーカード

ラベルを上に向けて▲の方向へ差し込む

“メモリースティック マイクロ”（“M2”）やminiSD/microSDカードを使うときは

別売の“M2”アダプターやSD変換アダプターが必要です。アダプターなしで使うと、取り出せなくなりますのでご注意ください。

ご注意
- マジックゲートで保護されたデータのように暗号化されているものは、本機へ取り込めません。
- 差し込まれているメモリーカードに強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- メモリーカードは、向きを確かめてまっすぐに差し込んでください。無理に押し込むとメモリーカードや本機を破損するおそれがあります。
- 取り込み中にメモリーカードを取り出さないでください。データ破損の原因になります。
- メモリーカードは、幼児などが誤って飲み込まないよう、手の届かない場所に保管してください。

2 取り込み方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

［ビデオカメラダビング］＞［AVCHDダビング（メモリーカードスロット）］を選び、《決定》ボタンを押します。

3 項目を設定し、取り込みを開始する。

「USBケーブルを使って取り込みたい（AVCHDダビング）」（77ページ）の手順3、4をご覧ください。

読み込み中は、メモリーカードランプが点滅します。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを軽く押し、メモリーカードが少し出てきたらつまんで引き出します。

取り込みを途中で止めるには

［停止］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

i.LINKケーブルを使って取り込みたい（HDV/DVダビング）

▶対象機種：BDZ-EX3000

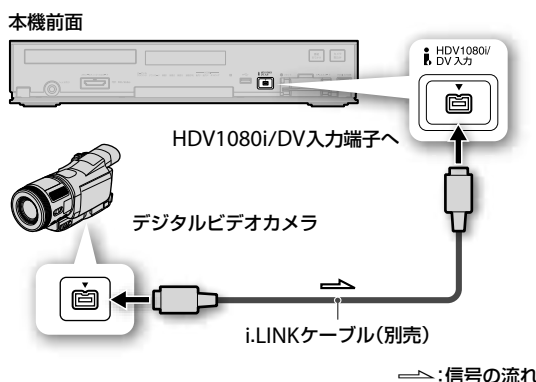
☞次のページも参考にしてください。
- ［DV入力録画横縦比］で映像のサイズを設定する（104ページ）。

ビデオカメラなどの他機器をi.LINKケーブルで本機のHDV1080i/DV入力端子につなぐと、HDV/DV方式の動画を本機のハードディスクに取り込めます。

本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.sony.jp/support/bd/

i.LINKについて詳しくは、143ページをご覧ください。

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

ちょっと一言

- 機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります(ビデオ再生モードなど)。詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

2 取り込み方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

[ビデオカメラダビング]＞[HDV/DVダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 各項目を設定する。

設定エリア　　操作ボタンエリア

録画信号や録画モードなどを変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

[録画信号]

[HDV]を選ぶと、HDV機器からハイビジョン画質で記録されたHDV信号のみ取り込めます。

[DV]を選ぶと、HDV機器から従来方式のDV信号のみ取り込めます。

DV機器につないだときは自動的に[DV]に固定されます。

[録画モード]

[録画信号]で[HDV]を選んだときは、自動的に[DR]に固定され、ハイビジョン画質のまま取り込めます。

録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」(141ページ)をご覧ください。

[マーク]

動画(タイトル)にマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、取り込んだタイトルをマークごとに分類できて便利です。

取り込む音声を選ぶには

操作ボタンエリアで[音声設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

[ステレオ1]

最初から記録されている音声を取り込めます。

[ミックス]

[ステレオ1]と[ステレオ2]の両方を取り込めます。

[ステレオ2]

後から追加された音声を取り込めます。

プレイリストを作成するには

操作ボタンエリアで[プレイリスト設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

録画した日付ごとにプレイリストを作成できます。

[作成する]にしているときは、取り込みが止まるまでに5分以上かかることがあります。

4 取り込みを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを途中で止めるには

■《停止》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 取り込みが中断してしまう場合は、「映像／音声ケーブルを使って取り込みたい」(80ページ)に記載されている方法で録画してください。
- BDに直接ダビングする場合は、i.LINKケーブル接続後、「映像／音声ケーブルを使って取り込みたい」(80ページ)の手順2以降をご覧ください。

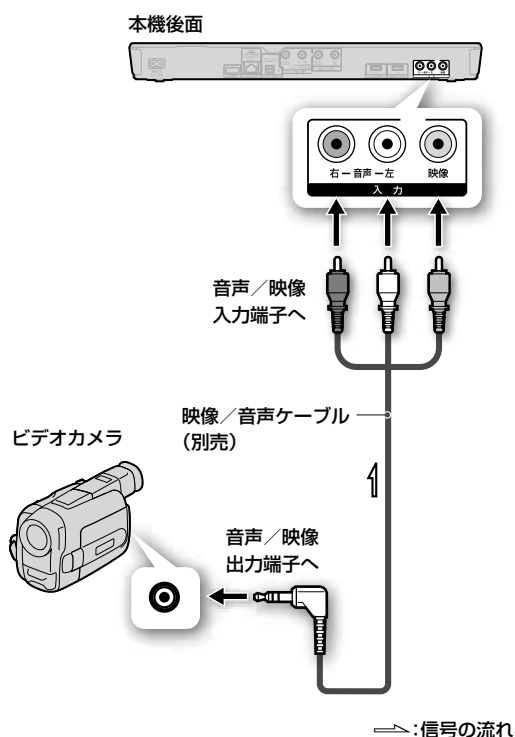
ご注意

- 取り込みの所要時間は、テープの記録された映像の時間と同じくらいです。
- テープに5分以上の無記録部分があると、取り込みは自動的に終了します。HDV機器から取り込む場合、無記録部分は本機に録画されません。DV機器から取り込む場合は録画されます。
- テープの途中に無記録部分があるときや、HDV信号とDV信号が混在しているときは、日付ごとのプレイリスト作成機能が正しく働かないことがあります。
- 次のときは、取り込まれた画像と音声が一瞬途切れることがあります。
  – 複数の録画モードで記録されているとき。
  – 画像サイズが途中で切り換わっているとき。
  – 無記録部分を含むとき。
  – HDV信号とDV信号が混在しているとき。
- 次の場合、HDV1080i/DV入力端子は使えません。
  – 他機器と本機のHDV1080i/DV入力端子に互換性がない場合(MICROMV方式など)。
    本機の音声／映像入力端子につなぎ、「映像／音声ケーブルを使って取り込みたい」(80ページ)の手順に従ってください。
  – テープの記録画像がコピー制御信号を含んでいる場合。
- HDVダビング中は、LAN録画／ LANムーブはできません。

映像／音声ケーブルを使って取り込みたい

☞次のページも参考にしてください。
- [外部入力録画横縦比]で映像サイズを設定する(104ページ)。

ビデオカメラなどの他機器を映像／音声ケーブルで本機につなぐと、動画を取り込めます。

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

2 接続した機器の映像を表示する。

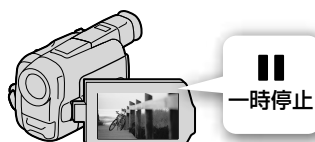
本機のリモコンの《入力切換》ボタンをくり返し押します。

3 録画モードを選ぶ。

《オプション》ボタンを押します。

[録画モード]＞録画モードを選び、《決定》ボタンを押します。

録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」(141ページ)をご覧ください。

4 接続した機器を再生一時停止状態にする。

5 本機の録画を開始する。

●《録画》ボタンを押して、本機に録画する時間を選び、録画を開始します。

BDに直接ダビングするときは

BDのディスクを入れ《オプション》ボタンを押し[BD録画]を選ぶと直接BDへダビングできます。

6 取り込みを開始する。

接続した機器の一時停止や再生ボタンを押して再生を開始します。

ご注意

- ●《録画》ボタンを押して録画時間を選んだ後、本機の表示窓に録画経過時間が表示されるのを確認してから機器の再生を開始してください。

取り込みを途中で止めるには

■《停止》ボタンを押します。

ディスクから取り込みたい

ディスクの映像（タイトル）を本機／外付けのハードディスクに取り込めます。

1 ディスクを入れ、取り込み方法を選ぶ。

本機ハードディスクに取り込むときは

《録画リスト》ボタンを押します。
［ディスクダビング］＞［BD/DVD→HDDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクに取り込むときは

《録画リスト》ボタンを押します。
［USB HDDダビング］＞［BD/DVD→USB HDDダビング］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 取り込みたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。取り込みたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言

- 1度の取り込みで選べるタイトルは30個までです。

操作ボタンエリアで［全選択］を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

3 取り込みを開始する。

操作ボタンエリアで［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを途中で止めるには

［停止］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- DVD（AVCHD方式）から取り込んだ場合は、日付単位でタイトル分割されて取り込まれます。
- BD-RE、BD-R、DVD-RW（VR）、DVD-R（VR）のプレイリストタイトルは、オリジナルタイトルとして取り込まれます。
- BDやDVDから取り込む場合は、映像サイズはそのまま取り込まれます。DVDの音声で第1音声、第2音声があるときは、第1音声のみ取り込まれることがあります。

以下のことはできません

- 市販のBD-ROMやDVDビデオから取り込むこと。
- 他機器で作成したディスクで、本機に挿入したときに「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクから取り込むこと。
- DVD（AVCHD方式）から録画モードを変更して取り込むこと。
- DVD（AVCHD方式以外）から高速ダビングすること。

本体の取り込みボタンで取り込みたい（ワンタッチ取り込み）

本機につないだビデオカメラやデジタルカメラなどの他機器や、挿入したメモリーカード（対象機種：BDZ-EX3000）、8cm DVDから、動画や写真をボタンひとつで簡単に本機のハードディスクに取り込めます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

USBケーブルやi.LINKケーブルを使ってつなぎます（77、78ページ）。

メモリーカードから取り込むときは

メモリーカードを本機に入れます（78ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。

8cm DVDから取り込むときは

ディスクを本機に入れます。

2 取り込みを開始する。

本機前面の《カメラ取込み》ボタンを押します。
《カメラ取込み》ボタン／ランプが赤く点灯して取り込みが始まります。

取り込みを途中で止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。
HDV1080i/DV入力端子につないだときは、■《停止》ボタンを押します（対象機種：BDZ-EX3000）。

ちょっと一言

- 写真を取り込む場合でも、USB機器内にAVCHD方式のビデオファイルが記録されているときには、ビデオファイルも同時に取り込まれます。
- ワンタッチ取り込みできるのは、本機に初めて取り込む映像のみです。
- 《カメラ取り込み》ボタンで一度取り込んだことのある動画をもう一度取り込む場合は、「USBケーブルを使って取り込みたい（AVCHDダビング）」（77ページ）で取り込んでください。

ご注意

- HDV1080i/DV入力端子につないだHDV機器から、HDVとDVの信号が両方出力できる場合、本機はHDV信号で取り込みます。DV信号で取り込みたいときは、「i.LINKケーブルを使って取り込みたい（HDV/DVダビング）」（78ページ）をご覧ください（対象機種：BDZ-EX3000）。
- 取り込まれたタイトルは、日付単位で分割されて本機に保存されます。

動画や写真を取り込む優先順位について

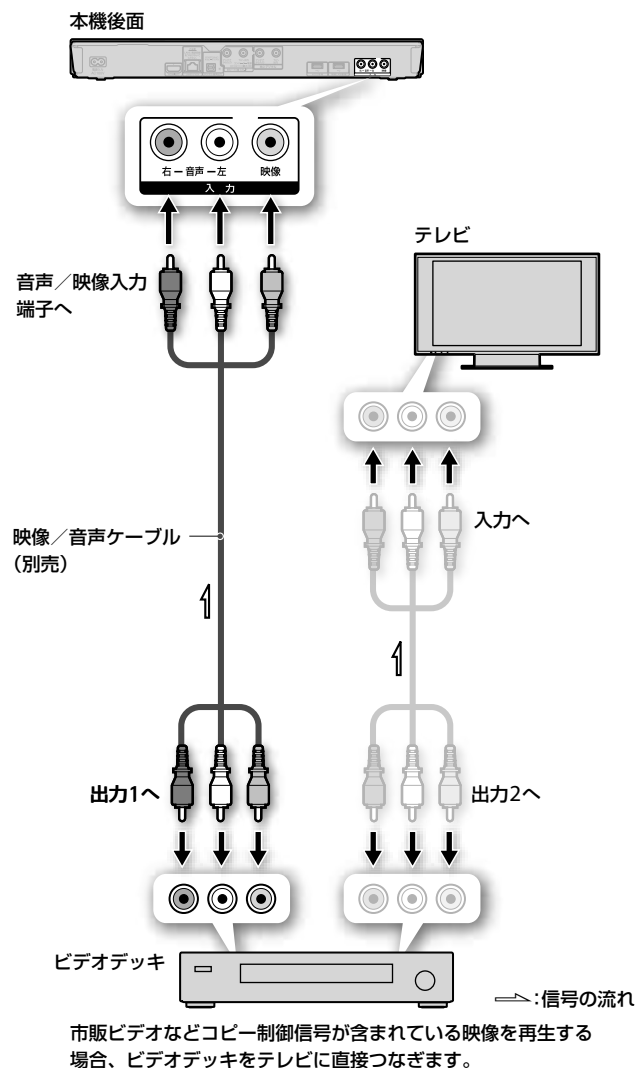
- 次の優先順位で動画（タイトル）や写真を取り込みます。
  ① HDV1080i/DV入力端子につないだ機器（対象機種：BDZ-EX3000）。
  ② USB端子につないだUSB機器（ビデオカメラを含む）。
  ③ メモリーカード（対象機種：BDZ-EX3000）。
  ④ ディスク。
- 8cm DVDで記録するビデオカメラからUSBケーブル経由で直接取り込むことはできません。ディスクを本機に挿入して取り込んでください。

ビデオテープから取り込みたい（VHSダビング）

次のページも参考にしてください。

- [外部入力録画横縦比]で映像サイズを設定する（104ページ）。

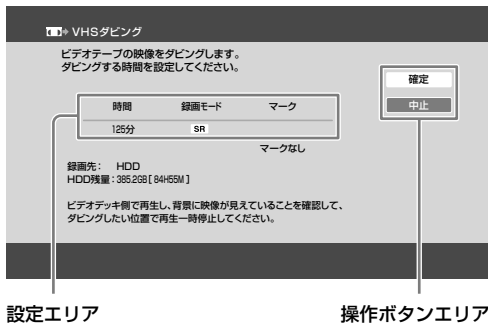
VHS、8ミリ、ベータなどのビデオテープに記録されている映像の時間に合わせて、ビデオデッキを経由して本機のハードディスクに取り込めます。

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

2 接続した機器を再生一時停止状態にする。

3 取り込み方法を選ぶ。

《録画リスト》ボタンを押します。

[VHSダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 各項目を設定する。

時間や録画モードなどを変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

[時間]

録画する時間を選べます。ダビングは設定された時間で停止します。

[録画モード]

録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画／ダビング可能時間について」(141ページ)をご覧ください。

[マーク]

映像(タイトル)にマークを設定できます。家族やジャンルなどでマーク別に設定しておくと、取り込んだタイトルをマークごとに分類できて便利です。

5 実行する。

[確定]＞[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

6 ダビング開始のメッセージが表示されたら、接続した機器で再生を始める。

取り込みを途中で止めるには

■《停止》ボタンを押します。

写真を取り込みたい

☞次のページも参考にしてください。
- 本機で取り込めるアルバムや写真について(143ページ)。

本機につないだデジタルカメラや挿入したメモリーカード(対象機種：BDZ-EX3000)、ディスクから写真(JPEG/MPO* のみ)を本機のハードディスクに取り込めます。
本機では、フォルダのことをアルバム、ファイルのことを写真と呼びます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

* マルチピクチャーフォーマット(Extended MPファイル)。

ご注意

- 本機に取り込んでいるときに、機器をつないでいるUSBケーブルや、メモリーカード(対象機種：BDZ-EX3000)を抜かないでください。

写真を取り込みたい

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

USBケーブルを使ってつなぎます(77ページ)。

メモリーカードから取り込むときは

メモリーカードを本機に入れます(78ページ)(対象機種：BDZ-EX3000)。

ディスクから取り込むときは

ディスクを本機に入れます。

2 機器やディスクなどを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[フォト]→機器やディスクアイコンなどを選び、《決定》ボタンを押します。

3 取り込みたいアルバムを選ぶ。

アルバムを選び、《オプション》ボタンを押します。

4 取り込みを開始する。

[コピー]＞[1アルバムコピー]＞[はい]＞[このままコピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- [次へ]を選ぶと[続きからコピー]や[分類して実行]などを選べます。

必要な写真だけを選んで取り込むには

1 「写真を取り込みたい」（83ページ）の手順1、2を行う。

2 取り込みたい写真を選ぶ。

アルバムを選び、《決定》ボタンを押します。

写真を選び、《オプション》ボタンを押します。

3 コピー方法を選ぶ。

［コピー］＞［1ファイルコピー］＞［確定］を選び、《決定》ボタンを押します。

4 取り込み先のアルバムを選んで取り込みを開始する。

取り込み先のアルバムを選び、《決定》ボタンを押します。

写真をまるごと取り込むには

- 1つのフォルダに写真が500枚以下になるようデジタルカメラなどの他機器で撮影してください。
  本機では501個以上のファイル*やフォルダを1つの階層で表示できません。500個を超えた場合は、一部表示されません。
- 本機には、取り込もうとしているフォルダの中の写真のみ取り込まれます。取り込もうとしているフォルダの中にあるフォルダは、取り込まれません。

* JPEG/MPO以外のファイルも含む。

本体の取り込みボタンで取り込みたい（ワンタッチ取り込み）

詳しくは、「本体の取り込みボタンで取り込みたい（ワンタッチ取り込み）」（81ページ）をご覧ください。

取り込んだ動画や写真を見たい

本機のハードディスクに取り込んだ動画を見たい

本機のハードディスクに取り込んだ動画は《録画リスト》ボタンで表示されるタイトル一覧に表示されます。
再生する手順について詳しくは、「ハードディスクに録画した番組や映像を再生したい」（27ページ）をご覧ください。

他機器や本機のハードディスクの写真を見たい

☞次のページも参考にしてください。
- 本機で再生できるアルバムや写真について（143ページ）。
- 3D再生できる写真を3D表示するには、テレビの接続と本機の設定が必要です。「録画した3D番組を再生したい」（27ページ）をご覧ください。

本機につないだデジタルカメラなどの他機器や挿入したメモリーカード（対象機種：BDZ-EX3000）、ディスクから写真（JPEG/MPO*のみ）を表示できます。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

* マルチピクチャーフォーマット（Extended MPファイル）。3D再生できる写真は3Dアイコンが表示されます。

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

USBケーブルを使ってつなぎます（77ページ）。

メモリーカードの写真を見るときは

メモリーカードを本機に入れます（78ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。

ディスクの写真を見るときは

ディスクを本機に入れます。

本機のハードディスクの写真を見るときは

この手順は不要です。

2 機器やディスクなどを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［フォト］＞機器やディスクアイコンなどを選び、《決定》ボタンを押します。

本機のハードディスクの写真を見るときは

［フォト］＞アルバムを選び、《決定》ボタンを押します。

スライドショーにするには

［フォト］＞アルバムを選び、《オプション》ボタンを押します。

［スライドショー］を選び、《決定》ボタンを押します。

アルバム内のすべての写真の表示が終わると、アルバムの先頭からくり返し再生されます。

スライドショーを停止するには■《停止》ボタンを押します。

3 見たい写真を選ぶ。

写真を選び、《決定》ボタンを押します。

前／次の写真を表示するには

⏮《前》ボタン／ ⏭《次》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 写真の横縦比とテレビの横縦比が異なる場合、上下や左右に黒帯が表示されることがあります。

ご注意

- 写真を表示しているときに、デジタルカメラなどの他機器をつないでいるUSBケーブルや、メモリーカード（対象機種：BDZ-EX3000）を抜かないでください。
- 写真以外のファイルが複数記録されているUSB機器の場合、写真（JPEG/MPO）を表示できないことがあります。
- 写真のサイズや枚数、写真が保存されている場所によって、サムネイルやスライドショーの表示に時間がかかることがありますが、故障ではありません。

写真や動画を別の部屋で見たい（ルームリンク）

ネットワークを経由して、ソニールームリンクに対応したテレビやパソコンなどから、本機に取り込んだ写真や動画を再生できます。詳しくは、「番組を別の部屋で見たい（ルームリンク）」（46ページ）をご覧ください。

写真をビデオクリップのようにしたい（x-Pict Story HD）

x-Pict Story HDを使うと、本機に取り込んだ写真（JPEGのみ）を使って、ビデオクリップのようなビデオ作品を作れます。BGMに好みの音楽を設定するだけで、本機が自動で演出、映像処理した作品に仕上げてくれます。

x-Pict Story HDの作品は、ホームメニュー＞［フォト］＞［x-Pict Story HD］＞［新規作成］から作成します。

x-Pict Story HDのさらに詳しい使いかたは、下記ホームページで紹介しています。
http://www.sony.jp/support/bd/manual/

写真を自動で整理してアルバムにしたい（x-ScrapBook）

x-ScrapBookを使うと、本機が自動で写真（JPEG/MPO*のみ）を切り貼りし、スクラップブックのようなアルバムに仕上げてくれます。好みの壁紙や動画を追加して、アルバムを自由にアレンジできます。

* マルチピクチャーフォーマット（Extended MPファイル）。

x-ScrapBookのアルバムは、ホームメニュー＞［フォト］＞［x-ScrapBook］から見たり、編集したりします。

x-ScrapBookのさらに詳しい使いかたは、Webで紹介しています。
http://www.sony.jp/support/bd/manual/

ご注意

- MPOファイルの場合でも2Dで表示されます。

他機器から取り込む

動画を切り取って写真にしたい

次の動画（タイトル）でできます。
- AVCHDダビングしたタイトル。
- HDV1080i/DV入力端子から取り込んだタイトル（対象機種：BDZ-EX3000）。
- 8cm DVDから取り込んだタイトル。
- x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。

1 タイトルを選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

［フォト］＞［フォト切り出し］＞タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

再生が始まったら、切り取りたい場面で❚❚《一時停止》ボタンを押します。

↓で［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言
- HDV1080i/DV入力端子で取り込んだタイトルから作成した写真は、撮影日時が取り込んだ日付となることがあります（対象機種：BDZ-EX3000）。

いろいろな方法でディスクに残したい

DVDを複製したい（まるごとDVDコピー）

本機で記録したDVDやソニー製DVDデジタルビデオカメラで記録した8cm DVD、12cm DVDを、高速で簡単に12cm DVDにコピーできます。

1 コピーしたい映像が入っているDVDを本機に入れ、読み込みを開始する。

ファイナライズ済みのディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。

［ディスクダビング］＞［まるごとDVDコピー］＞［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

2 DVDを入れ替え、書き込みを開始する。

書き込み先のDVDに入れ替え、［実行］を選び、《決定》ボタンを押します。

DVD-Rの場合は必ず未フォーマットのディスクをお使いください。

2枚目以降のDVDにコピーするには、［継続］を選んでください。

コピーを途中で止めるには

［中止］＞［はい］を選び、《決定》ボタンを押します。

本機でまるごとコピーできるDVDについて

コピー元のディスクのフォーマットにより、読み込み（コピー元）や書き出し（コピー先）できるディスクの種類が異なります。

本機で記録したDVD
読み込めるディスク • DVD-R • DVD-RW
書き出せるディスク • DVD-R • DVD-RW（DVD-RWから読み込んだ場合のみ）

ソニー製DVDデジタルビデオカメラで記録したDVD
読み込めるディスク • DVD-R • DVD-R DL（8cmのみ） • DVD-RW • DVD＋R • DVD＋R DL（8cmのみ） • DVD＋RW
書き出せるディスク • DVD-R • DVD-RW

他機器で記録したDVD

他機器で記録したDVDで、まるごとDVDコピーできない場合、本機のハードディスクに取り込んでから（76ページ）、DVDにダビングしてください（64ページ）。

他機器から取り込む

ご注意

- 市販のDVDビデオやコピー制御信号を含むタイトルを記録しているDVDはコピーできません。
- コピー先のDVDがDVD-Rの場合、書き出しを途中で中止すると、そのディスクは使えなくなります。
- DVD-R DL、DVD+R/+RW、DVD+R DL、DVD-RAMにはコピーできません。
- コピーするDVDのメディアの種類が異なる場合、容量が微妙に異なることがあるため、コピーできないことがあります。
- 読み込み中に表示される時間は目安であり、ディスクの状態によってはコピーに時間がかかることがあります。

動画や写真を整理してディスクにしたい(思い出ディスクダビング)

☞次のページも参考にしてください。
- タイトルダビングについて(63ページ)。

取り込んだ動画(タイトル)や写真、x-ScrapBook、x-Pict Story HDのビデオ作品をまとめて1枚のBDやDVDに書き出せます。

BDにBD-Jメニュー付きで書き出した場合の画面例

1 ディスクを入れ、ダビング方法を選ぶ。

タイトルをダビングするときは

《録画リスト》ボタンを押します。

[ディスクダビング]＞[思い出ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

写真をダビングするときは

《ホーム》ボタンを押します。

[フォト]＞[思い出ディスクダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

メニュー作成やディスク追記などを選ぶ画面が表示されたときは

画面の指示に従って操作してください。

2 ダビングしたいタイトルやアルバムを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルやアルバムを選び、《決定》ボタンを押します。選んだ順に、サムネイルの左横に番号が付きます。タイトルは30個まで選べます。

操作ボタンエリアで[全選択]を選んだときは

リストの上から順に30個まで選ばれます。

操作ボタンエリアで[ビデオ]／[アルバム]／[x-ScrapBook]を選んだときは

タイトルエリアの一覧を切り換えることができます。

3 書き出しを開始する。

操作ボタンエリアで[実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

BD-Jメニュー付きで書き出すときは

BD-Jメニューの背景を選び、《決定》ボタンを押します。x-Pict Story HDのビデオ作品を書き出す場合は、その映像を背景に指定できます。書き出したディスクはBDMVフォーマットになります。

BD-RE XL(3層)／ BD-R XL(3層／ 4層)をお使いの場合、思い出ディスクダビングでは、BD-Jメニュー付きのディスクは作成できません。

名前を変更するには

[名前変更]を選び、《決定》ボタンを押します。ディスクの名前を変更できます(136ページ)。

DVDに書き出すときは

ファイナライズやDVDメニュー作成、ディスクの名前変更などの画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。詳しくは、「DVDにコピーしたい」(64ページ)をご覧ください。

ダビングを途中で止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割すればダビングできることがあります。

ご注意

- 写真やx-ScrapBookをDVDに書き出すときは、新品で未初期化のDVDをお使いください。DVD-RWの場合は初期化により記録済みの内容は削除され、上書きされますのでご注意ください。
- メニュー付きBDに追記する場合は、本機で作成したディスクのみ利用できます。
- 次の場合、タイトルを書き出せません。
  - 1タイトルが12時間以上の場合。
  - 書き出し先がDVDで、選んだタイトルの合計が12時間以上になる場合。

  その他、タイトルの制限事項について詳しくは、64、66ページのご注意をご覧ください。
- BDへ書き出すときは、すでにBDに記録されている写真／x-ScrapBookと、新たに書き出す写真／x-ScrapBookの合計が、6,000個以下の場合に書き出せます。
- 書き出し先のディスクやアルバム内に同じ名前のファイルがある場合は、書き出したファイル名の末尾に(1)、(2)…などの数字が付きます。
- DVDへ写真／x-ScrapBookを含む書き出しが終わると、自動的にディスクがファイナライズされ、追記できなくなります。BD-RE、BD-Rの場合は追記できます。
- x-ScrapBookを書き出すと、x-ScrapBook再生画面をページごとに静止画像として保存します。x-ScrapBookに取り込んだ元の写真や動画は保存されません。その場合は、別途、写真や動画を書き出してください。
- 3D･1080/60pのタイトルはBD-Jメニュー付きで書き出せません。BD-Jメニューを付けずに書き出してください。
- 3DタイトルをDVDに書き出すと2Dタイトルに変換されます。

BD-Jメニュー付きディスクを再生するには

思い出ディスクダビング(87ページ)でBD-Jメニュー付きでBDを作ると、動画(タイトル)や写真、x-ScrapBookなどを便利に再生できます。

1 BD-Jメニュー付きディスクを入れ、再生する。

画面の指示に従って操作してください。

操作ボタンエリア

操作ボタンエリアで[カレンダー表示]を選んだときは

ディスク内のコンテンツを、撮影した年月日で分類して表示できます([フォト作品]のコンテンツを除く)。

操作ボタンエリアで[ビデオ一覧]を選んだときは

タイトルのみを表示できます(x-Pict Story HDのビデオ作品を除く)。

操作ボタンエリアで[フォト一覧]を選んだときは

写真のみを表示できます。

操作ボタンエリアで[フォト作品]を選んだときは

本機のハードディスクから書き出したx-ScrapBookの静止画像とx-Pict Story HDのビデオ作品のみを表示できます。

ちょっと一言

- 再生メニュー画面からx-ScrapBookを再生中に、《ポップアップ／メニュー》ボタンを押して[テーマ変更]を選ぶと、x-ScrapBookのテーマを変更できます。
- 本機で作成したBD-Jメニュー付きディスクの映像を取り込むには、ホームメニューの[ビデオ]からディスクアイコンを選び、オプションメニューから[HDDへダビング]を選びます(163ページ)。また、BD-Jメニュー付きディスクから写真を取り込むには、「写真を取り込みたい」(83ページ)をご覧ください。

ご注意

- 動画や写真に撮影日のデータがない場合は、カレンダー表示画面には表示されません。その場合は、トップメニュー画面から[カレンダー表示]以外を選んで再生してください。
- 本機で作成したBD-Jメニュー付きディスクに書き出した3D写真を3Dで表示する場合は、ホームメニューの[フォト]＞アルバムから、3D写真を選んでください。

他機器のワンタッチ機能を使ってBDにコピーしたい(ワンタッチディスクダビング)

☞あらかじめ、次のことをしてください。
- 機器をつなぎ、電源を入れる(77ページ)。

ワンタッチディスクダビング機能のあるソニー製デジタルハイビジョンビデオカメラの映像を簡単にBDにダビングできます。
ワンタッチディスクダビング機能がないときは、本機のハードディスクに取り込んでから(77ページ)、BDにダビングしてください(63ページ)。
本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

1 書き込みができるBD-RE/BD-Rを入れ、ダビングを開始する。

デジタルハイビジョンビデオカメラでワンタッチディスクダビングを始めます。

ちょっと一言

- ワンタッチディスクダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- ワンタッチディスクダビング後にデジタルハイビジョンビデオカメラで撮影を追加した場合は、再度ワンタッチディスクダビングを行うと、追加した映像だけダビングされます。

ダビングを途中で止めるには

[停止]＞[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。
ダビングが止まるまでに時間がかかることがあります。
ダビングを途中でやめると、ダビングしていた映像（タイトル）はディスクに残りません。また、BD-Rの場合はディスクの空き容量が減ります。

ご注意

- ダビングすると、日付ごとに場面をまとめたタイトルとして記録されます。各撮影場面はチャプターとして引き継がれます。ただし、1日の撮影場面の数が多い場合や3D･1080/60pのタイトルを結合している場合、ダビング時に複数のタイトルに分割されることがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで多数の編集点を追加した場合、ダビング時に編集点の一部が失われることがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した映像をダビングすると、表示される録画モードが元の録画モードと異なることがありますが、画質は劣化しません。
- ダビング直後に開始するBDへの録画予約が実行されないことがあります。
- デジタルハイビジョンビデオカメラで記録した字幕はBDに記録できません。
- デジタルハイビジョンビデオカメラに記録されたAVCHD方式･3D･1080/60p以外の映像はダビングできません。
- SD（スタンダード）画質で記録された映像は取り込めません。「映像／音声ケーブルを使って取り込みたい」（80ページ）で取り込んでください。

接続する

この印のある項目はらくらくスタートガイドでも紹介しています。

アンテナやテレビとの接続

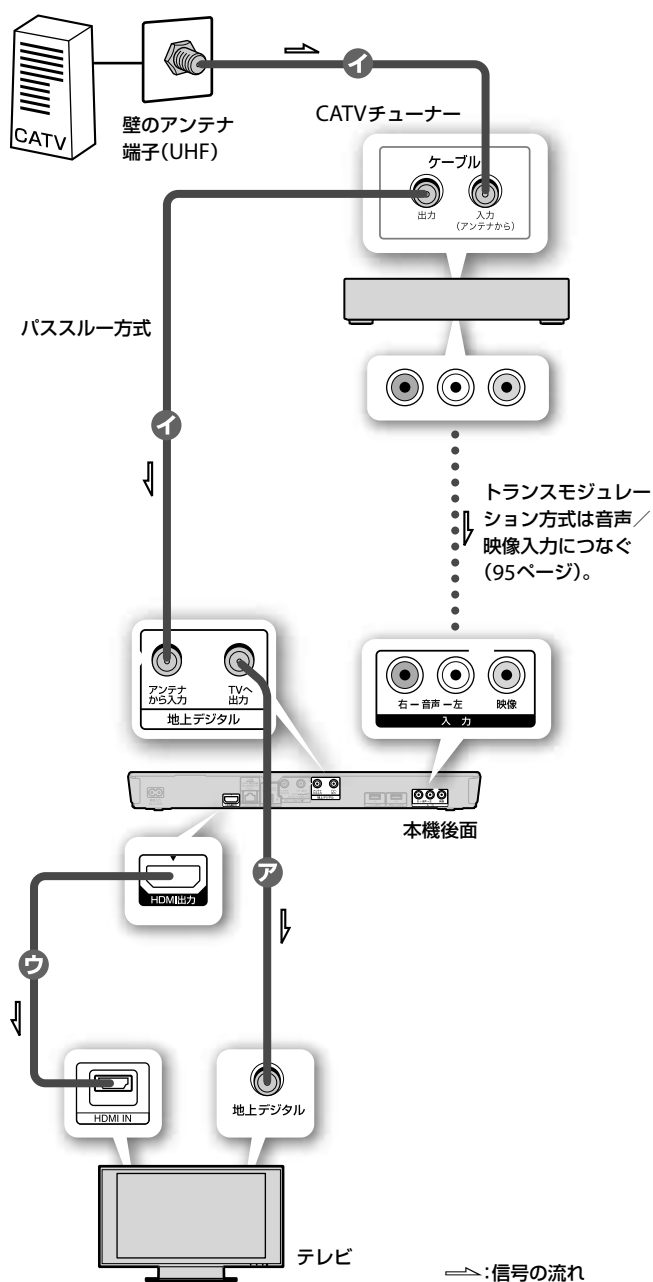
動画で接続方法を紹介しています

- インターネットで下記ホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/

地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送の場合

別冊の「らくらくスタートガイド」をご覧ください。

CATVを利用している場合

地デジはパススルー方式で受信し、BS/CS放送はトランスモジュレーション方式で受信している接続方法です。
詳しくは、ご利用のCATV局にお問い合わせください。

必要なケーブル類

ア アンテナケーブル（付属）

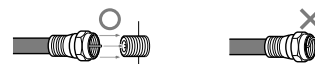
イ アンテナケーブル（別売）

ウ HDMIケーブル（別売り）

ちょっと一言

- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。

映らない／映りが悪いときは

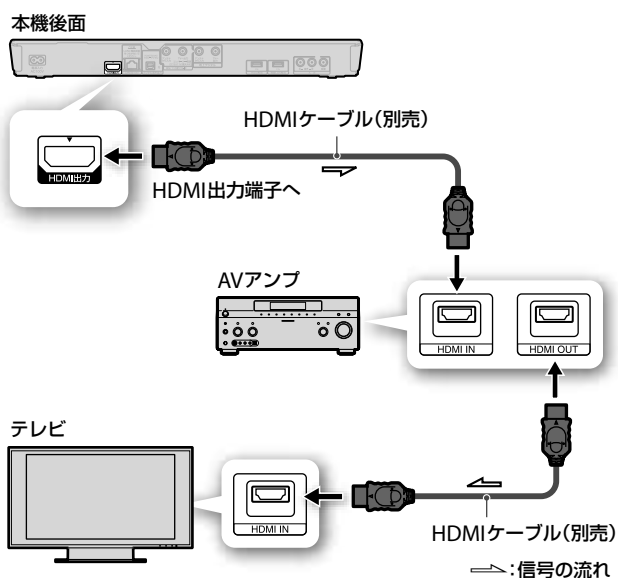
- アンテナケーブルの芯線が曲がると、外周部の金属部分に触れてショートの原因となります。

- 混合アンテナ端子と分配器をつなぐと映像が乱れることがあります。その場合は分波器をお使いください。
- 「テレビの受信」（122ページ）にある解決方法を確認してください。
- 接続は正しくできているのに、テレビ放送や本機の再生映像が表示されないときは、リモコンの■《停止》ボタンを10秒以上押してください。
- CATV局と契約している有料チャンネルなどを視聴／録画したいときは、トランスモジュレーション方式でつないでください。

ちょっと一言

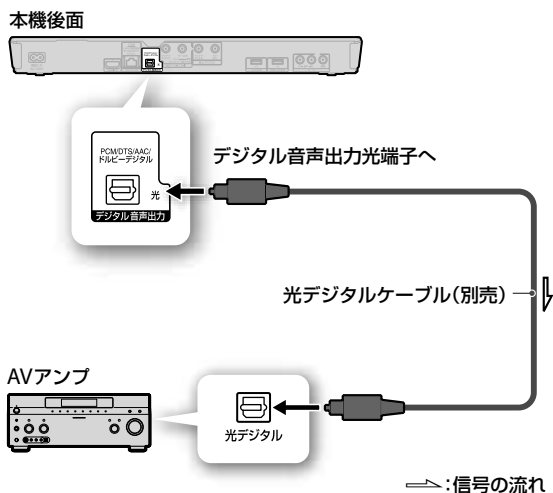
- パススルー方式は、放送信号をそのまま送られるものと、周波数を変換したパススルーがありますが、本機はアンテナケーブルを接続することで受信できます。
  トランスモジュレーション方式は、放送信号をケーブルテレビに適した変調方式に変換して送られてくるため、CATVチューナー（STB）で受信し、映像／音声ケーブルで接続して録画することになります。
  CATV会社によって、地デジはパススルー方式、BS/CS放送はトランスモジュレーション方式の場合や、地デジ／ BS ／ CSすべてトランスモジュレーション方式など、違いがあります。

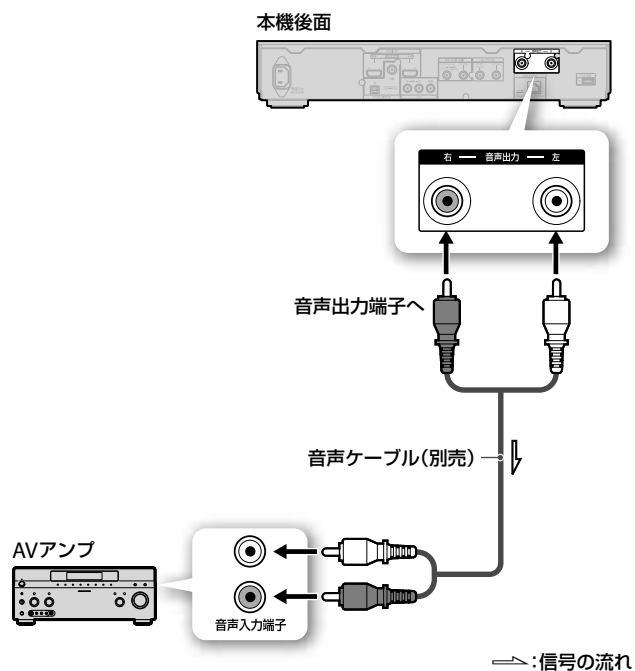
AVアンプやホームシアターシステムとの接続

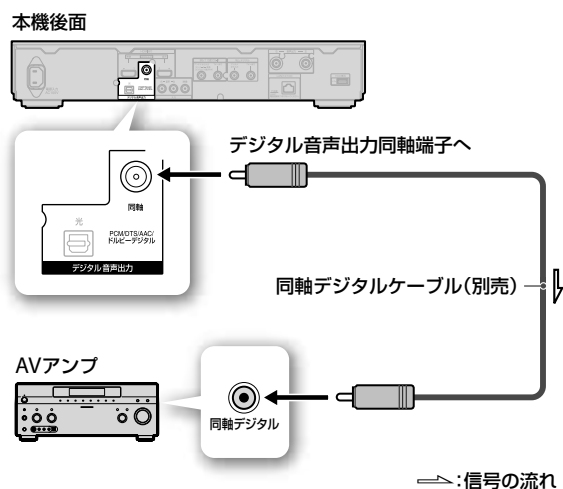
お使いのAVアンプやホームシアターシステムの入力端子をご確認のうえ、つなぎかたを選んでください。お使いの環境に合わせて[音声設定]を正しく設定してください(100ページ)。
HDMIケーブルでつないだ場合、テレビが3D対応のときは次の図のように3D対応のAVアンプやホームシアターシステムとつなぐと3D表示を楽しめます。次の図は、AVアンプを例としています。

HDMIケーブルでつなぐ

ちょっと一言

- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。

光デジタルケーブルでつなぐ

音声ケーブルでつなぐ

対象機種:BDZ-EX3000

同軸ケーブルでつなぐ

対象機種:BDZ-EX3000

音声設定と有効な出力端子について

設定項目ごとに、設定が有効になる出力端子が異なります。お使いになる出力端子の種類を確認してください。

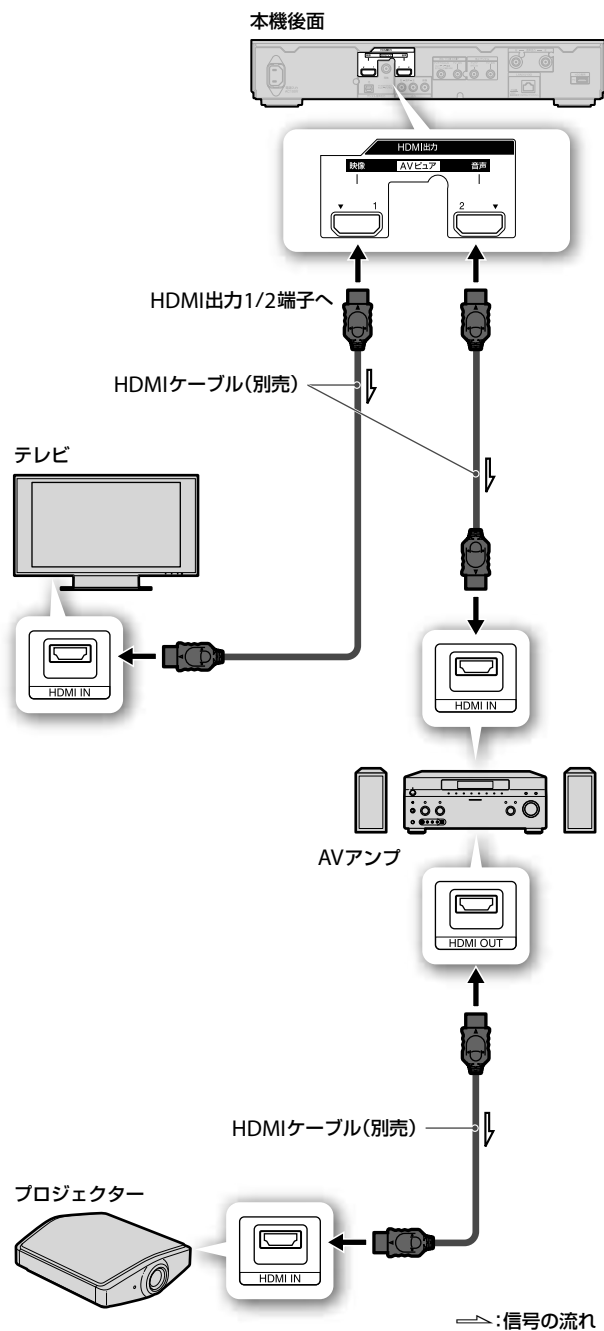
設定項目名	ページ	有効な出力端子			
		HDMI出力端子	デジタル音声出力光／同軸*1端子	音声出力端子*1	ヘッドホン端子*1
音声出力設定	100	○	○	○	○
HDMI音声出力	101	○	–	–	–
ドルビーデジタル	101	–	○	–	–
AAC	101	–	○	–	–
DTS	101	–	○	–	–
48kHz/96kHz PCM	101	–	○	–	–
オーディオDRC	101	○*2	○*2	○	○
ダウンミックス	101	○*2	○*2	○	○
BD音声出力	102	○	○	○	○
バーチャルサラウンド音声位置補正*1	102	○	–	–	–
ヘッドホンタイプ*1	102	–	–	–	○

*1 対象機種：BDZ-EX3000。

*2 PCM出力時のみ有効。

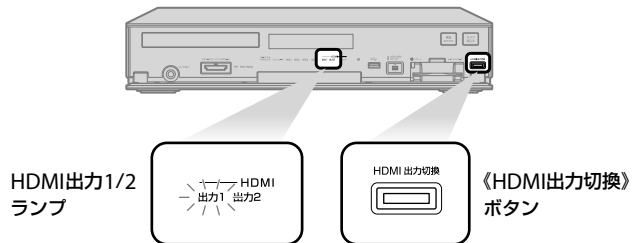
HDMI出力を切り換えて使う

対象機種：BDZ-EX3000

平日はテレビで録画した番組を見る、休日はプロジェクターとAVアンプやホームシアターシステムでBD-ROMの映像を鑑賞するというような使いかたで、便利で快適なAVライフが実現できます。次の図は、AVアンプを例としています。

ちょっと一言

- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。

HDMI出力を切り換えるには

本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、切り換えてください。出力中の端子に対応して、本機前面のHDMI出力1/2ランプが点灯します。

バーチャルサラウンドにするには

詳しくは「テレビのスピーカーで楽しむ準備をする」(38ページ)をご覧ください。

ご注意

- バーチャルサラウンドは、HDMI出力1/2端子ごとに設定できますが、テレビ以外(AVアンプなど)で音声を出力するときは、[バーチャルサラウンド]>[切]にしてください(37ページ)。

各設定について

[画質設定]はHDMI出力1/2端子ごとに設定できます(35ページ)。

次の設定はHDMI出力1/2端子に共通の設定です。

- [映像設定]([BD-ROM 4K/24p出力]は除く)(99ページ)
- [音声設定](100ページ)
- [HDMI機器制御設定](107ページ)

ご注意

- [HDMI機器制御設定]は出力側の端子にのみ有効です。
- 映像/音声を同時に2つのHDMI端子から出力できません。

AVピュア接続で映像と音声を別々につなぐ

対象機種:BDZ-EX3000

高画質/高音質で楽しむ

HDMI AV独立ピュア出力機能を使うと、HDMI出力1端子から高画質の映像を、HDMI出力2端子から高音質の音声を同時に出力できます。映像はHDMI出力1端子、音声はHDMI出力2端子に固定されます。
次の図のようにつなぐと、テレビやプロジェクターが3D対応のときに、AVアンプやホームシアターシステムが3D非対応でも3D表示を楽しめます。次の図は、AVアンプを例としています。

ちょっと一言

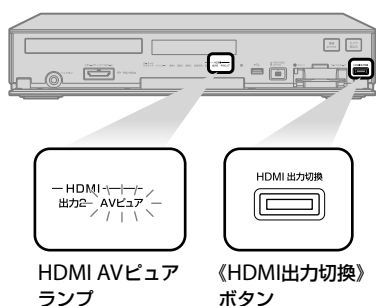
- HDMIケーブルはHDMIロゴの付いているものをお使いください。

HDMI出力を切り換えるには

1 設定する。

[HDMI AV独立ピュア出力]＞[使用する]を選びます(106ページ)。

2 切り換える。

本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、本機前面のHDMI AVピュアランプを点灯させます。

3 HDMI出力2端子の音声を設定する。

必要に応じて設定してください(100ページ)。

HDMI出力1端子は映像設定、HDMI出力2端子は音声設定のみ有効です。

ご注意

- DVI機器への接続は保障いたしません。
- 本機前面のHDMI AVピュアランプが点灯しているときは、HDMI機器制御機能は働きません。
- HDMI出力2端子にテレビやプロジェクターをつなぐと入力が切り換わり、音声のみ固定で出力されるため映像は出力されません。
- テレビ以外(AVアンプなど)で音声を出力するときは、[バーチャルサラウンド]＞[切]にしてください(37ページ)。

以下のことはできません

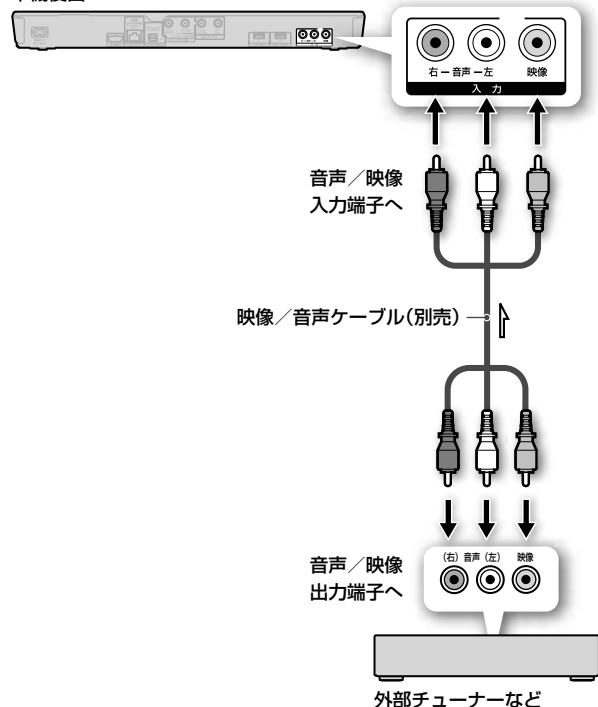
- 映像／音声を同時に2つのHDMI端子に出力すること。
- 音声をHDMI出力1端子から、映像をHDMI出力2端子から出力すること。
- 次の場合にHDMI出力1/2/HDMI AVピュアを切り換えること。
  - 3DタイトルやBlu-ray 3Dディスクを再生しているとき。
  - BD-ROMを24p(24p True Cinema)で再生しているとき。
  - x-Pict Story HD/x-ScrapBookを再生しているとき。
  - 写真を表示／スライドショーを再生しているとき。

  再生を停止してから切り換えてください。

CATVやスカパー!チューナーとの接続

ネットワークにつないで、高画質で録画したい

ネットワークにつなぐと、「スカパー！ HD」対応チューナーやCATVチューナーの番組表から、本機にLAN経由で録画予約できるようになります。詳しくは、「「スカパー！ HD」やCATVを録画したい(LAN録画)」(45ページ)をご覧ください。

外部入力につないで、映像を見たい／録画したい

ご注意

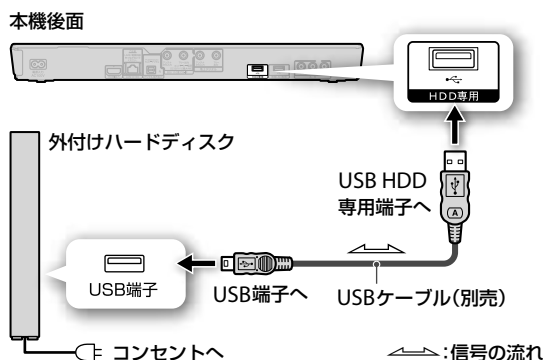
- 著作権者等によって複製を制限する旨の信号が含まれている番組は録画できないことがあります。
- 映像が乱れる場合、外部チューナーを直接テレビにつないで視聴してください。
- 本機には標準画質で映像が入力されるため、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画できません。
- i.LINK端子はHDV1080i/DVの入力専用端子です。ご利用のチューナーにデジタル出力用のi.LINK端子がある場合でも、i.LINK端子とつないでデジタル放送を録画することはできません(対象機種：BDZ-EX3000)。
- ケーブルテレビ事業者がパススルー方式の場合は、アンテナケーブルでつないでください(91ページ)。
- AVマウスでの録画には対応していません。

外付けハードディスクとの接続

☞次のページも参考にしてください。
- 外付けハードディスクに録画する（13ページ）。
- 外付けハードディスクにダビングする（67ページ）。
- 外付けハードディスクから本機のハードディスクにダビングする（68ページ）。

外付けハードディスク（容量32GB ～ 3TB）を本機につないで登録すると、デジタル放送の録画やダビングができるようになります。10台まで本機に登録できます。
動作推奨機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ご注意

- 登録、または解除後に再登録をすると本機専用に初期化され、外付けハードディスクの内容はすべて削除されます。
- 外付けハードディスクは一時的な記録場所としてお使いいただき、大切なタイトルはBDなどにコピーすることをおすすめします。
- 外付けハードディスクをはずすときは、本機の電源を切ってからUSBケーブルを抜いてください。

外付けハードディスクを登録するには

ホームメニュー＞［設定］＞［本体設定］＞［外付けUSB HDD設定］＞［USB HDD登録］を選び、登録してください（107ページ）。

ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、外付けハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 保存できるタイトル数は、最大999です。

以下のことはできません

- 本機に登録した外付けハードディスクを、他機器につないで再生すること。
- ハブを使って外付けハードディスクをつなぐこと。
  本機に直接つないでください。
- 外付けハードディスクを本機前面のUSB端子や本機後面のUSB無線LAN専用端子につないで録画やダビングをすること。
- PSP®や他機器をUSB HDD専用端子につなぎ、外付けハードディスクとして使うこと。
- セクタサイズが512B以外の外付けハードディスクを使うこと。

ネットワークへの接続

「準備1：ネットワークにつなぐ」（41ページ）をご覧ください。

おでかけ転送機器との接続

対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

「USB接続しておでかけ転送したい」（74ページ）の手順1をご覧ください。

ビデオデッキとの接続

「ビデオテープから取り込みたい（VHSダビング）」（82ページ）の手順1をご覧ください。

デジタルカメラとの接続

USBケーブルでつなぐ

「USBケーブルを使って取り込みたい（AVCHDダビング）」（77ページ）の手順1をご覧ください。

i.LINKケーブルでつなぐ

対象機種：BDZ-EX3000

「i.LINKケーブルを使って取り込みたい（HDV/DVダビング）」（78ページ）の手順1をご覧ください。

映像ケーブルでつなぐ

「映像／音声ケーブルを使って取り込みたい」（80ページ）の手順1をご覧ください。

設定を変更する

本機の設定を変更したい

ちょっと一言

- お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

設定画面でチャンネルや画質·音質などのさまざまな設定ができます。

1 ホームメニューから[設定]を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押し、[設定]を選びます。

2 項目を選ぶ。

設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

お問い合わせ

商品のお取り扱い方法などの問い合わせ先が表示されます。

使いかたを知りたい

本機で使える少し便利な機能を紹介します。

お知らせ

お知らせはお客様自身で削除できません。

放送からのお知らせ(地上/ BS / CSデジタル)

放送局からお客様へのお知らせを見ることができます。受信してから14日以上経つと、まだ読んでいなくても(158ページ)自動的に削除されます。

本機からのお知らせ

予約や録画、ダビングの結果、アップデートなど、本機が発行したお知らせを見ることができます。30通を超えると、まだ読んでいなくても(158ページ)古いお知らせから自動的に削除されます。

ボード(CSデジタル)

110度CSデジタル放送から利用者全員への共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。

ルートCA証明書

見たいルートCA証明書を選び、《決定》ボタンを押すと、詳細が表示されます。
選んだルートCA証明書を削除するには、[削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

映像設定

HDMI出力解像度設定

HDMI出力端子から出力される映像の解像度を[480p]、[720p]、[1080i]、[1080p]に変更できます。通常は[自動]のままでお使いください。

テレビタイプ

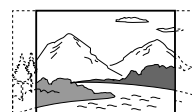
16:9	画面サイズが16:9や4:3のテレビとつなぐときに選びます。
4:3	

画面モード

フル	画面いっぱいに表示したいときに選びます(放送やタイトルによっては、できないことがあります)。
ノーマル	映像の横縦比は維持したまま、映像サイズを変更します。

DVDワイド映像表示

[テレビタイプ](99ページ)が[4:3]、[画面モード](99ページ)が[ノーマル]の場合に、16:9サイズのDVDを再生するときの設定です。

レターボックス	ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。
パンスキャン	ワイド映像の左右を自動的にカットし、テレビ画面全体に表示します。

ご注意

- DVDによっては[レターボックス]や[パンスキャン]に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

3D出力

自動	通常はこの設定にします。HDMI出力端子につないだ機器が3Dに対応している場合に、3D映像の信号を出力します。
切	3D映像の信号を出力しません。2Dと3Dが混在したBD-ROMを2D再生する場合も、この設定にしてください。

BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ

3D映像を効果的に再現するために、お使いのテレビのサイズを選びます。[サイズ指定]を選ぶと、お使いのテレビサイズに合わせてサイズを指定できます。[テレビタイプ]を[16:9]に設定してください。

BD-ROM 1080/24p出力

自動	「自動」を選ぶと、映画フィルムと同じ24p映像で出力します。24p映像で記録されたBDと対応したテレビなどが必要です。
切	

BD-ROM 4K/24p出力

対象機種:BDZ-EX3000

自動	「自動」を選ぶと、映像信号を3840 × 2160/24pで出力します。24p映像で記録されたBDと対応したテレビなどが必要です。
切	

HDMI映像出力フォーマット

自動	通常はこの設定にします。
Y Cb Cr(4:2:2)	Y Cb Crを4:2:2や4:4:4の比率で色変換を行います。
Y Cb Cr(4:4:4)	
RGB(16-235)	出力信号をRGB 16 ～ 235やRGB 0 ～ 255の範囲で色変換を行います。
RGB(0-255)	

HDMI Deep Color出力

自動	HDMI出力端子からの映像信号Deep Color(色深度)を自動的に設定します。
切	映像が乱れたときや色が不自然なときに設定します。

BD-ROM専用画質モード

入	再生時の画質設定(35ページ)で、BD-ROMとそれ以外で別々に画質設定できます。
切	再生時の画質設定は共通になります。

スーパービットマッピング

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000

入	HDMI出力端子から出力される映像信号の階調をなめらかに表現できます。
切	映像が乱れたときや色が不自然なときに設定します。

シネマ変換モード

自動	通常はこの設定にします。ビデオ素材(テレビドラマやアニメーション)とフィルム素材(映画フィルム)の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。
ビデオ	ビデオ素材、フィルム素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

一時停止モード

自動	通常はこの設定にします。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。
フレーム	動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

音声設定

「音声設定と有効な出力端子について」(93ページ)も合わせてご覧ください。

音声出力設定

HDMI／ヘッドホン*[1]	HDMI出力端子から音声を聞く場合や、ヘッドホンで音声を聞く場合に最適な音声信号を出力します。
HDMI*[2]	指定した出力端子から音声を聞く場合に最適な音声信号を出力します。
デジタル音声	
音声端子(赤・白)*[1]	

*[1] 対象機種:BDZ-EX3000。
*[2] 対象機種:BDZ-ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500 / E500。

設定を変更する

ちょっと一言

- 選択した音声端子以外の音声出力端子からは、2チャンネルPCMで音声信号を出力します。

HDMI音声出力

自動	テレビやAVアンプで受けられる最適な音声信号を出力します。
マルチチャンネルPCM	音声信号をマルチチャンネルのPCM信号に変換して出力します。
2チャンネルPCM	音声信号を常に2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。

ちょっと一言

- AVアンプ経由でドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD MA/HRを楽しむには、本設定を[自動]、[BD音声出力](102ページ)を[ダイレクト]に設定してください。

ドルビーデジタル

ダウンミックスPCM	デジタル音声出力端子にドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。
ドルビーデジタル	デジタル音声出力端子にドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないだときに選びます。

AAC

ダウンミックスPCM	デジタル音声出力端子にAACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。
AAC	デジタル音声出力端子にAACデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないだときに選びます。

DTS

ダウンミックスPCM	デジタル音声出力端子にDTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないだときに選びます。2チャンネルのPCM信号にダウンミックスして出力します。
DTS	デジタル音声出力端子にDTSデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないだときに選びます。

48kHz/96kHz PCM

48kHz/16bit	デジタル音声出力端子から96kHzPCMの音声を48kHz16bitで出力します。96kHzに対応していないアンプとつなぐときに選びます。
96kHz/24bit	デジタル音声出力端子から96kHzPCMの音声を96kHz24bitで出力します。ただし、著作権保護のための信号が含まれているときは、48kHz16bitで出力されます。

オーディオDRC(BD/DVDのみ)

自動	通常はこの設定にします。
スタンダード	[テレビ]と[ワイドレンジ]の中間の音になります。
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。
ワイドレンジ	迫力のある音になります。Hi-Fiのスピーカーを使うとさらに効果があります。

ご注意

- オーディオDRC機能のないBDやDVDを再生しているときは効果がありません。
- [ドルビーデジタル](101ページ)が[ドルビーデジタル]に設定されている場合、デジタル音声出力端子から出力される音声には効果ありません。ただし、BDの場合[BD音声出力]を[ミックス]に設定してある場合は除きます(102ページ)。

ダウンミックス

ドルビーサラウンド	ドルビーサラウンド(プロロジック)に対応しているオーディオ機器につないでいるときに選びます。ドルビーサラウンド(プロロジック)効果のかかった音声信号を2チャンネルに処理して出力します。
ノーマル	ドルビーサラウンド(プロロジック)に対応していないオーディオ機器につないでいるときに選びます。ドルビーサラウンド(プロロジック)効果のかかっていない音声信号を出力します。

ご注意

- [ドルビーデジタル](101ページ)が[ドルビーデジタル]に設定されている場合、デジタル音声出力端子から出力される音声には効果はありません。

BD音声出力

ダイレクト	セカンダリーオーディオ（映画の解説など）・インタラクティブオーディオ（効果音など）が含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングせずにプライマリオーディオのみを出力します。
ミックス	セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングして出力します。

ちょっと一言

- HDMI出力端子からドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD MA/HRを楽しむには、本設定を［ダイレクト］、［HDMI音声出力］（101ページ）を［自動］に設定してください。

バーチャルサラウンド音声位置補正

対象機種：BDZ-EX3000

入	［入］を選ぶと、テレビのスピーカーからバーチャルサラウンド音声が聞こえてくる位置を仮想的に上方へ補正します（38ページ）。
切	

ヘッドホンタイプ

対象機種：BDZ-EX3000

バーチャルサラウンド音声を聞くヘッドホンのタイプを設定します。

オーバーヘッド	耳を覆うタイプや耳に当てるタイプのヘッドホンの場合に最適な音声で聞けます。
インナーイヤー	耳に入れるタイプのヘッドホンの場合に最適な音声で聞けます。

放送受信設定

地上デジタルチャンネル登録

＋／－選局	**必ず選局**：《チャンネル＋／－》ボタンで選局できます。［プリセット選局］が選ばれているときに設定されます。 **選局する**：《チャンネル＋／－》ボタンで選局できます。番組を共有しているチャンネルを［選局する］に設定しても、番組表に表示されないことがあります。 **選局しない**：《チャンネル＋／－》ボタンや番組表で選局できません。 ［全選局］を選ぶとすべてのチャンネルが［選局する］または［必ず選局］になり、［プリセット選局］は初期スキャンのときの状態に戻ります。［全選局解除］を選ぶと、［プリセット選局］の設定もすべて解除されます。
プリセット選局	リモコンの数字ボタンに、好みのチャンネルを登録できます。

地上デジタル自動チャンネル設定

初期スキャン	全チャンネルを再設定します。県域が変わった場合は［県域］を設定してから行ってください。
再スキャン	新しく受信できたチャンネルが追加されます。県域を変更した場合は選べません。

地上デジタル自動再スキャン

入	地上デジタル放送のチャンネル変更情報を受信したら、本機がチャンネルを自動的に再設定します。通常はこの設定にします。
切	チャンネルを自動で再設定しません。

地上デジタルアンテナレベル

チャンネルを選んで、地上デジタル放送の受信状態を確認できます。

地上デジタルアッテネーター

入	電波の送信元付近の地域などで、電波が強くて近隣チャンネルなどの干渉を受ける場合に選びます。
切	通常はこの設定にしてください。

BSデジタルチャンネル登録

受信しているBSデジタル放送の選局方法などが設定できます。
「地上デジタルチャンネル登録」をご覧ください（102ページ）。

CSデジタルチャンネル登録

受信している110度CSデジタル放送の選局方法などが設定できます。
「地上デジタルチャンネル登録」をご覧ください（102ページ）。

BS/CSデジタルアンテナレベル

BS/110度CSデジタル放送の映像がテレビに映った状態で、必要に応じて［最大値］の数字がより大きくなるようにBS/110度CSアンテナを動かして固定します。

ちょっと一言

- 《BS》ボタン、《CS》ボタンを押して、BS/CSデジタルアンテナレベルの表示を切り換えることができます。

BS/CSデジタルアンテナ電源

自動	本機の電源を入れたときに、本機がBS/110度CSアンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。
切	電源を供給しません。

BS/CSデジタルアンテナ出力

入	本機の電源の入／切にかかわらず、つないだテレビなどにデジタルアンテナ信号を出力します。
切	本機の電源が切れているときは、デジタルアンテナ信号を出力しません。BS/110度CSアンテナから本機を通してテレビなどにつないでいる場合は、本機の電源「切」時にテレビなどでBS/110度CSデジタル放送を受信できません。

デジタル放送地域設定

郵便番号	数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号7桁を正しく入力します。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の番組情報を誤って受信したりしてしまいます。
県域	お住まいの地域を選びます。

文字スーパー表示

切	文字スーパーを表示しません。放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、［切］に設定しても文字スーパーを消せません。
第1言語	文字スーパー放送が行われているときに、第1言語や第2言語の文字スーパーを表示します。
第2言語	

ビデオ設定

自動チャプターマーク

入	録画時に、画面と音声の変化を捉えて自動的にチャプターを区切ります。ただし、LAN録画／LANムーブしたタイトルは、約6分間隔でチャプターを区切ります。
切	録画時に、自動でチャプターを区切りません。

スポーツ延長対応

30分	本機がスポーツ延長と検知した場合に、日時指定予約や、番組表からの録画予約で、［延長］に時間を設定した予約に対し、録画時間を延長します。
60分	
120分	
切	録画時間を延長しません。

番組追跡録画

入	番組放送の開始時刻や終了時刻が変更になったときに、録画時間を自動的に修正します。
切	録画時間を自動的に修正しません。

ダイジェスト設定

対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000

長め	ダイジェストをじっくり見たいときに設定します。
標準	標準的な長さのダイジェストで再生されます。
短め	短時間でダイジェストを再生したいときに設定します。

マーク名設定

マークを好みの名前に変更できます。

二重音声記録

主音声 副音声	**対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000** 以下の場合、主音声／副音声の含まれるタイトルの音声を選びます。 • DR以外のモードで録画するとき。 • DR以外のモードでダビングするとき。 • おでかけ転送時に転送用動画ファイルを作成したとき。 **対象機種：BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500** 以下の場合、主音声／副音声の含まれるタイトルの音声を選びます。 • 録画したモード以外でダビングをするとき。 • おでかけ転送*時に転送用動画ファイルを作成したとき。 なお、録画時は、主音声／副音声どちらに設定されていても、すべての音声を記録します。

* 対象機種：BDZ- EW2000 / EW1000 / EW500。

外部入力録画横縦比

16：9 4：3	外部入力（映像）から録画やダビングするとき、映像サイズを16：9や4：3の横縦比にします。

DV入力録画横縦比

対象機種：BDZ-EX3000

16：9 4：3	HDV1080i/DV入力端子からの録画時の画面サイズを16：9や4：3の横縦比にします。

字幕焼きこみ

入	次の場合に、DRモードで録画した字幕付きのタイトルに字幕を焼きこみます。焼きこんだ映像からは字幕を削除できません。 • DR以外のモードでダビングするとき。 • ［高速転送録画］（105ページ）を［切］にして、おでかけ転送*時に転送用動画ファイルを作成したとき。
切	字幕を焼きこみません。

* 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

ご注意

• 録画中におでかけ転送用動画ファイルを同時作成する場合、転送用動画ファイルに字幕は焼きこまれません。

予約録画「録画先」初期値

本体HDD USB HDD	録画先の初期値を、本機のハードディスクまたは外付けハードディスクのどちらかに設定します。

BD/DVD視聴設定

BD/ DVDメニュー言語

言語コード指定	言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」（145ページ）を参照して、言語コードを入力します。

音声言語

オリジナル	ディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
言語コード指定	言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」（145ページ）を参照して、言語コードを入力します。

字幕言語

言語コード指定	言語コードを入力する画面が表示されます。「言語コード一覧」（145ページ）を参照して、言語コードを入力します。

BDインターネット接続

許可する	BD-LIVE機能によるインターネット接続を許可します。
許可しない	BDからのインターネット接続を許可しません。

おでかけ転送設定

おでかけ転送機器

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

ウォークマン／nav-u(USB)	選択した機器に合わせた形式で、録画と同時におでかけ転送用動画ファイルを作成します。
PSP/PS Vita(USB)	
携帯電話(USB)	
スマートフォン／タブレットPC	

高速転送録画

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

入	[入]を選ぶと、録画時におでかけ転送用動画ファイルを作成します。 [切]の場合でも、録画予約設定画面の[ワンタッチ転送]または[自動転送](17ページ)で[する]を選ぶと作成します。
切	

録画モード

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

自動	録画時の録画モードに合った画質を自動で調整し、おでかけ転送用動画ファイルを作成します。 **[PSP/PS Vita(USB)]設定の場合は** DR/XR/XSRモード : VGA1.0M。 SR/LSRモード : QVGA768k。 LR/ERモード : QVGA384k。 **[ウォークマン／ nav-u(USB)]／[携帯電話(USB)]設定の場合は** DR/XR/XSR/SR/LSRモード : QVGA768k。 LR/ERモード : QVGA384k。 **[スマートフォン／タブレットPC]設定の場合は** DR/XR/XSRモード:VGA2.0M* SR/LSRモード:VGA1.0M LR/ERモード:QVGA768k
VGA2.0M*	約30万画素の最高画質で作成します。対応機種が限られ、ファイルサイズは大きくなります。
VGA1.0M	約30万画素の高画質で作成します。
QVGA768k	約7.5万画素の高画質で作成します。
QVGA384k	約7.5万画素の画質で作成します。データサイズを抑えた画質ですが、ほとんどの機種が対応します。

* VGA2.0Mの場合、4時間25分位を超えるタイトルはおでかけ転送用動画ファイルは作成できません。

ちょっと一言

- お使いの機器によっては対応していない録画モードがあります。対応していない録画モードを設定して転送した場合は、画面の指示に従ってモードを変更してください。

ワンタッチ転送 更新転送

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

切	更新転送しません。ワンタッチ転送をすると、対象タイトルを録画日の古いものから順番に転送します。
最新3日間分	ワンタッチ転送対象タイトル(ワンタッチ転送リストの内容)は指定した日にち分のみとなり、それに合わせて転送先を更新します。転送先にある古いタイトルは削除またはおかえり転送されます。
最新1週間分	
最新2週間分	

フォト設定

表示モード

ノーマル	写真全体を表示し、余白には黒帯を表示します。
ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は[ノーマル]と同様に表示します。

スライドショーの速さ

速い	[標準]より速い再生速度です。
標準	基本の再生速度です。
遅い	[標準]より遅い再生速度です。

スライドショーの効果

入	効果を付けて次の写真に切り換わります。
切	効果を付けずに、スライドショーを再生します。

x-Pict Story HD日時情報表示

入	ビデオ作品の効果として日時情報を表示します。
切	日時情報を表示しません。

サンプル表示

入	ホームメニューの[フォト]の列にサンプルアルバムを表示します。
切	サンプルアルバムを表示しません。

本体設定

現在時刻／時刻設定

地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を正しく受信している場合は、正しい時刻を自動的に設定し、表示します。時刻を自動で設定できなかった場合に、手動で設定します。

本体表示の明るさ

明	表示窓とランプは明るく点灯します。
暗	表示窓とランプは暗く点灯します。消費電力を軽減できます。
消灯	電源「入」時に表示窓が暗く点灯します。ただし、動画や写真の再生時には表示窓は消灯します。ランプは暗く点灯します。消費電力を軽減できます。

自動画面表示

入	番組を切り換えたときにタイトルを表示したり、映像モードや音声モードが切り換わるときに、画面上で自動的にその情報を表示したりします。
切	画面表示を自動で表示しません。

スタンバイモード

瞬間起動	最大1日6時間の時間帯限定で、すぐに起動できる待機状態にします。起動後は、すばやくチャンネル切り換えや入力切り換えなどができます。 さらに、電源「切」のときでも本機前面のUSB端子からUSB機器を充電できます。 **学習**:よく使う時間帯を本機が自動的に選びます。学習効果が反映されるのに1週間程度かかります。 **時間帯指定**:すぐに起動したい時間帯を2時間ごとに最大6時間まで手動で設定できます。
標準	お買い上げ時に設定されているモードです。
低消費待機	待機状態のときの消費電力を抑えます。リモート録画予約やHDMI機器制御の高速連動はできません。

ちょっと一言

- [スタンバイモード]を[低消費待機]にしている場合、次のときは自動的に[標準]に設定されます。
  - [リモート機器登録]をしたとき(51ページ)。
  - 無線LAN*で[サーバー機能]を[入]に設定したとき(44ページ)。

* 対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

ご注意

- [瞬間起動]で、すぐに起動できる待機状態のときはファンが回ることがあります。また、本機のハードディスクが動作することもありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- [瞬間起動]に設定した場合、[標準]よりも消費電力は増加します。

自動電源オフ

入	操作しない状態が3時間続くと、自動で待機状態になります。
切	自動で待機状態になりません。

HDMI AV独立ピュア出力

対象機種:BDZ-EX3000

使用する	HDMI AV独立ピュア出力機能を使用します。
使用しない	HDMI AV独立ピュア出力機能を使用しません。

リモコンモード

「本機のリモコンで他のソニー製機器が動作してしまうときは」(116ページ)をご覧ください。

ソフトウェアアップデート

自動	デジタル放送を受信できる場合、ソフトウェアのバージョンアップデータを受信し、自動的に本機のソフトウェアを更新します。
切	アップデートデータを自動で更新しません。

バナー広告表示

入	コーナー目次の広告バナーを表示します。
切	広告バナーを非表示にします。

外付けUSB HDD設定

USB HDD登録	USB HDD専用端子につないだ外付けハードディスクを登録します(96ページ)。
USB HDD登録確認／削除	外付けハードディスクの登録を解除します。
USB HDD動作診断	本機につないだ外付けハードディスクが正しく動作するか診断します。

カード情報

カードID番号などを表示します。カードを本機から取り出さなくても、カードID番号を確認できます。

本体情報

本機ソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。

HDMI機器制御設定

HDMI機器制御

入	ブラビアリンクを使うときに選びます。
切	ブラビアリンクを使わないときに選びます。

高速連動

入	本機の電源が「切」のとき、テレビの電源を「入」にすると、本機が起動待機状態になります。テレビの電源を「切」にすると、本機の起動待機状態は解除されます。
切	本機の電源が「切」のとき、テレビの電源を「入」にしても本機は起動待機状態になりません。

ちょっと一言

- [スタンバイモード](106ページ)が[低消費待機]の場合、[高速連動]を[入]にすると、[スタンバイモード]は自動的に[標準]に設定されます。

ご注意

- 起動待機状態では、電源が入っている状態と同等の消費電力になり、同時にファンが回り続けます。

レコーダー→テレビ電源連動

入	本機の電源を入れると、テレビの電源も「入」になり、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。
切	本機の電源を入れると、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。

ちょっと一言

- [HDMI機器制御]を[入]にすると[レコーダー→テレビ電源連動]も自動的に[入]になります。

年齢制限設定

暗証番号設定

視聴年齢制限のための暗証番号を設定または変更できます。以下の制限を利用する際に必要となります。

- BS/CSデジタル視聴年齢制限
- HDDタイトル視聴年齢制限
- BD視聴年齢制限
- DVD視聴年齢制限
- インターネットサービス利用制限

暗証番号を設定／変更するには

暗証番号設定を選んだ際に表示される画面の説明に従って設定してください。
初めての場合、新しい暗証番号を入力します。
変更の場合、現在の暗証番号を入力してから、新しい暗証番号を入力します。

登録した暗証番号を忘れてしまったときは
[設定初期化]＞[お買い上げ時の状態に設定]＞[年齢制限設定]＞[はい]を選ぶと以前の暗証番号が削除されます(111ページ)。

BS/CSデジタル視聴年齢制限

視聴年齢制限付き番組の年齢制限を設定します。制限した放送は、[暗証番号設定](107ページ)で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できません。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

HDDタイトル視聴年齢制限

インターネットサービスからダウンロードしたタイトルや、LAN録画／ LANムーブしたタイトル、BS/110度CSデジタルで録画したタイトルを、見る人の年齢によって、再生などができないように制限できます。
タイトルの制限レベルによって、制限方法が異なります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。
視聴年齢制限を一時的に解除するには、タイトルリストに表示されているタイトルを選び、オプションメニューから[視聴制限一時解除](160ページ)を選びます。

- 20歳未満制限付きタイトルの場合
本機で視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。
- 19歳未満制限付きタイトルの場合
本機で[19歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。
- 18歳未満制限付きタイトルの場合
本機で[19歳]や[18歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、タイトルリストなどに表示されなくなります。
- 上記以外の制限付きタイトルの場合
タイトルリストなどには表示されますが、本機の設定年齢以上の制限付きタイトルは、暗証番号を入力しないと再生、ダビング、おでかけ転送*などができません。
- 制限のないタイトルの場合
本機で視聴年齢制限を設定しても、制限できません。

* 対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

BD視聴年齢制限

BD-ROMには、見る人の年齢によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し換えたりして再生します。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。[年齢指定]を選ぶと、0歳から255歳までの年齢を入力できます。

DVD視聴年齢制限

DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル(見る人の年齢など)によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し換えたりして再生します。レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

インターネットサービス利用制限

入	暗証番号(107ページ)を入力しないと、インターネットサービスのページが表示できなくなります。
切	暗証番号による制限を行いません。

通信設定

データ放送通信設定

セキュリティサイト自動接続	**入**:確認ダイアログを表示しないで、セキュリティサイト接続や、セキュリティサイトから移動します。 **切**:セキュリティサイト接続の確認ダイアログを表示します。
証明書のダウンロード確認	**入**:放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **切**:確認ダイアログを表示しません。
証明書の自動ダウンロード	**入**:[証明書のダウンロード確認]が[切]の場合に、放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **切**:自動ダウンロードしません。

ネットワーク設定

☞次のページも参考にしてください。
- 無線LANのセキュリティについて（44ページ）。

画面の指示に従って操作してください。

項目	内容
有線LAN*[1] 無線LAN*[1]	ネットワークにつなぐ方法を選びます（41ページ）。
アクセスポイント*[1]	**WPS（プッシュボタン方式）**：アクセスポイントがWPSに対応しているときに選びます。アクセスポイントのボタンを押すだけで自動的にアクセスポイントを登録できます。AOSSボタンでWPSに対応しているものもあります。 **検索して登録**：検索結果一覧から、使いたいアクセスポイントを選び、暗号キーを入力するとアクセスポイントが登録できます。 **登録内容を直接入力**：アクセスポイントのSSID ／セキュリティ方式／暗号キーを入力するとアクセスポイントが登録できます。 **WPS（PINコード方式）**：本機に表示されるPINコードをアクセスポイントへ入力することで登録できます。
IPアドレス／プロキシサーバー設定	**自動設定**：ルーターやプロバイダーのDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。通常はこの設定にしてください。 **詳細設定**：IPアドレス設定／ DNS設定を自動や手動で設定するときに選びます。 • IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ。 • プライマリDNS ／セカンダリDNS*[2] *[3]。 • プロキシサーバー／アドレス／ポート。

*[1] 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

*[2] 自動取得は、DHCP利用時のみ有効となります。IPアドレスの値を手動で入力したときはDNSの値も手動で入力する必要があります。

*[3] ［DNS設定］を［手動］にすると、プライマリDNSとセカンダリDNSのアドレスを手動で設定できます。この場合、必ずプライマリDNSは入力してください。入力しない場合ネットワークが正しく設定されません。

ちょっと一言

- SSID、WEP/WPAキーは、アクセスポイント（無線LANルーター）に接続するときに必要なセキュリティ情報の一種です。一般的には、パソコンを使ってアクセスポイントに設定します。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください*[4]。
- WEPキーを使って無線LANに接続する場合、アクセスポイントへの接続が成功しても、通信ができないことがあります。WEPキーが、アクセスポイントの設定と合っているか、確認してください*[4]。

ご注意

- ネットワーク設定を［無線LAN］と［有線LAN］で切り換えた場合、ネットワークにつながらなくなることがありますので、［ネットワークの設定確認と接続診断］を行ってください*[4]。
- 無線LANのセキュリティ設定を［セキュリティなし］にすると、本機のホームサーバー機能は使えません*[4]。

*[4] 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

ネットワークの設定確認と接続診断

項目	内容
詳細確認	現在の設定を表示します。
接続診断	ネットワークが正しく接続されているか診断します。

リモート機器設定

項目	内容
リモート機器登録	リモート録画予約の登録パスワードを本機に設定します。登録パスワードの入力方法は、本機の画面を見ながらリモコンのボタン操作により入力します。 登録パスワードはパソコンやスマートフォンからアクセスしたサービスの画面に表示されます。
登録リモート機器一覧	本機に登録されている機器などを一覧で確認できます。登録した機器の情報確認や削除も行えます。

ホームサーバー設定

サーバー機能	**入**:本機のホームサーバー機能を有効にします。 **切**:本機のホームサーバー機能を無効にします。
サーバー名	本機の機器名称を設定します。ホームサーバー機能対応機器から本機にアクセスしたときに、ホームサーバー機能対応機器側でこの名前が表示されます。
クライアント機器登録方法	クライアント機器とは、本機のホームサーバー機能を利用して、LAN経由でタイトルを再生したり本機に録画や予約したりする機器のことです。本機にクライアント機器が登録されていないと、ホームサーバー機能を利用できません。 **自動**:本機にアクセスしてきたクライアント機器を自動的に登録します。 **手動**:本機にアクセスできるクライアント機器を手動で登録します。詳しくは、「クライアント機器を手動で登録するには」(110ページ)をご覧ください。
登録機器一覧	本機に登録されているクライアント機器を一覧で表示します。機器の詳細を確認したり機器を一覧から削除したりできます。
未登録機器一覧	本機に登録されていないホームネットワーク上のホームサーバー機能対応機器を一覧で表示し、本機のクライアント機器として登録できます。機器の詳細を確認したり機器を一覧から削除したりできます。

クライアント機器を手動で登録するには

同じネットワーク上にあるクライアント機器のうち、本機に接続できる機器を個別に設定します。《ホーム》ボタンを押し、[設定]>[通信設定]>[ホームサーバー設定]で、以下の設定を行ってください。

1 [クライアント機器登録方法]>[手動]に設定する。

2 [サーバー機能]>[入]に設定する。

3 クライアント機器を登録する。

[未登録機器一覧]から接続する機器を選び、[機器登録]を選びます。

接続候補の機器が多い場合、接続したい機器からネットワークに接続してください。接続順が遅い機器は一覧に表示されない場合があります。

すでに登録されている機器を確認するには

[登録機器一覧]で確認できます。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

かんたん設定

かんたん初期設定

本機を使ううえで必要な設定です。引越しやテレビの買い替え時などに再設定します。

- **地上デジタル放送受信設定**
  郵便番号を入力してチャンネル設定します。<ブラビア>から連動できる場合もあります。
- **BS/CSデジタル放送受信設定**
- **リモコン設定**
  テレビの操作も本機のリモコンで行う場合に設定します。
- **番組表取得**
  2日分の番組表を取得できます。
- **時刻設定**
  地デジ/ BSが受信できていれば表示されません。

かんたんネットワーク設定

ネットワーク機能(40ページ)を使うための設定です。

- **ホームサーバー設定**
  サーバー機能:[入]に設定されます。
  クライアント機器登録方法:[自動]に設定されます。
- **ネットワーク設定**
  IPアドレス/ DNS:DHCPサーバー機能を使って、自動で割り当てられます。
  プロキシサーバー:[使用しない]に設定されます。
  無線LANを使用する場合は、アクセスポイントを[WPS(プッシュボタン方式)]、[検索して登録]、[登録内容を直接入力]のいずれかで登録します。
  IPアドレスの手動設定やWPS(PINコード方式)入力など、詳細な設定をする場合は、[設定]>[通信設定]>[ネットワーク設定]で行えます(109ページ)。

かんたん機能設定

My !番組表、おでかけ転送する機器*、おでかけ転送 高速転送録画*、瞬間起動の設定、モニター別画質設定を行います。

* 対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

設定初期化

お買い上げ時の状態に設定

設定ごとに、お買い上げ時の設定に戻せます。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

ご注意

- [リモコンモード]や[外付けUSB HDD設定]は、お買い上げ時の設定には戻りません。[本体設定](106ページ)で、それぞれ設定してください。

学習情報の初期化

おまかせ･まる録や二度録り回避、瞬間起動などで本機が学習した情報を初期化します。

ご注意

- おまかせ･まる録の学習情報を初期化すると、二度録り回避の学習情報も初期化されます。

個人情報の初期化

本機を廃棄したり譲渡したりするときは、次の個人情報などのデータを本機から削除することを強くおすすめします。

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど。
- 視聴年齢制限レベルと暗証番号。
- 語句登録した単語。
- キーワード履歴。
- 検索履歴。
- お知らせ。
- すべてのルートCA証明書。
- インターネットサービスに機器を登録したときに発行される機器登録(識別)情報など。

暗証番号を設定しているときは、暗証番号の入力画面が表示されます。

ご注意

- 個人情報などの登録･設定データは項目ごとに削除できません。一度初期化すると、すべての登録･設定データが削除されます。
- [通信設定](108ページ)で入力したIPアドレスを始めとする通信接続情報や、[放送受信設定](102ページ)で入力した県域、郵便番号などの情報は、削除されません。[お買い上げ時の状態に設定](111ページ)でそれぞれの設定を選んで削除してください。

HDD初期化

本機のハードディスクを初期化します。初期化すると以下が削除され、元に戻すことができません。

- 録画したタイトル。
- 写真。
- x-Pict Story HDで作成したビデオ作品。
- x-ScrapBook作品。
- BONUSVIEWやBD-LIVEで使うBDデータ(ローカルストレージ)(52ページ)。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。

ブラビアリンクを設定したい

＜ブラビア＞とブラビアリンクに対応した機器をHDMIケーブルでつないで、＜ブラビア＞のリモコンひとつで簡単操作ができます。

本機を操作できる＜ブラビア＞について

＜ブラビア＞の機種によって使える機能が異なります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravialink/

ブラビアリンクに対応している機器

リンクメニュー対応

左のロゴが表記されている機器で、ブラビアリンクを使えます。
詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravialink/

このロゴが表記されていても、一部の＜ブラビア＞のマルチリモコンでは、ご利用いただけない機能があります。

- X7000 / X5050 / X5000 / W5000 / V5000シリーズ。
  これらの機種は、テレビのリモコンでの操作はできません。本機付属のリモコンで操作してください。
- ZX5 / W5 / F5シリーズ、KDL-32JE1 / KDL-32J1、V5 / XR1 / X1 / W1 / ZX1 / F1 / V1シリーズ。
  これらの機種は、リンクメニューのみ利用できます。「見る」、「見て録」、「予約する」は、利用できません。

ブラビアリンクの接続・設定をする

HDMIケーブルで接続すれば、特に設定することなく利用できます。利用できない場合、下記を確認してください。

- [HDMI機器制御]が[入]になっているか？（107ページ）
- テレビ側のHDMI機器制御の設定を確認してください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

＜ブラビア＞のリモコンに本機の登録が必要な場合

お使いの＜ブラビア＞の機種がKDL-32J5 / 26J5 / 22J5 / 19J5 / 26J1 / 20J1 / 46V3000 / 40V3000の場合、本機のリモコンモードがお買い上げ時の設定（BD3）以外のときは、＜ブラビア＞のリモコンに本機のリモコンモードの登録が必要です。登録方法は、＜ブラビア＞の取扱説明書または下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravialink/

＜ブラビア＞のリモコンで操作する

＜ブラビア＞のリモコンの見る／予約する／見て録／リンクメニューボタンで操作します。
使えるボタンは機種によって異なります。下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravialink/

ご注意

- 次の条件や放送では、「見て録」できません。
  - 本機のハードディスクの残量が不足している。
  - デジタル放送のラジオ放送、データ放送。
  - コピー制御信号により録画できない番組。
  - 本機で受信できない番組。
  - 未購入の番組。
  - 視聴年齢制限を超えた番組。
- 「見て録」中の放送時間の変更には対応できません。
- 本機の次の機能を利用しているときに「見て録」を行うと、利用中の機能は停止します。
  - まるごとDVDコピーの読み込み。
  - タイトル再生／タイトル編集。
- 次の機能を利用しているときは、「見て録」はできません
  - 複数番組同時録画（BDZ-E500では録画）。
  - ダビング。
  - おでかけ／おかえり転送*[1]。
  - HDV/DVダビング*[2]。
  - x-Pict Story HD作成。
  - 思い出ディスクダビング。
  - まるごとDVDコピーの書き込み。
  - HDMI AV独立ピュア出力機能を利用*[2]。

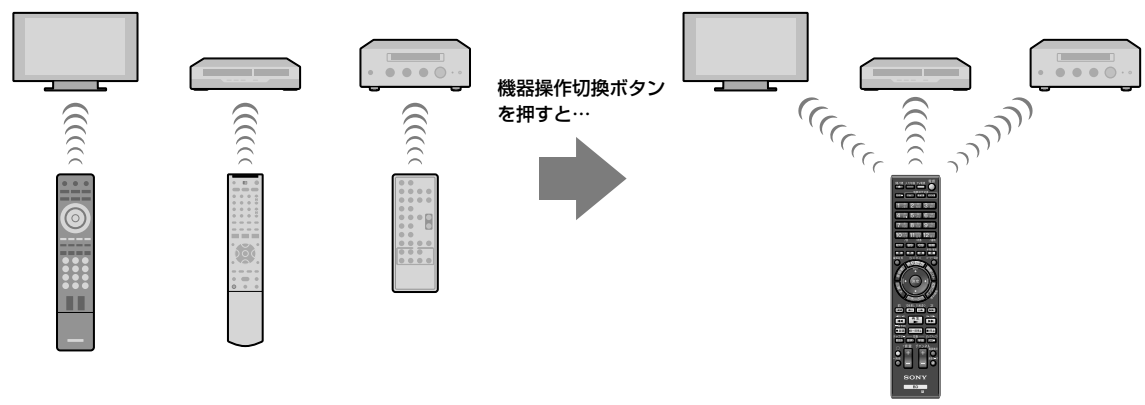
*[1] 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。
*[2] 対象機種：BDZ-EX3000。

本機とテレビの電源「入」、「切」連動について

本機やテレビのHDMI機器制御の設定によって、電源操作を連動します。

- ＜ブラビア＞のリモコンで電源を切ると、本機の電源も切れます。
- 本機で次の操作をすると、自動的にテレビの電源が入り、本機の映像に切り換わります。
  - 次のリモコンのボタンを押す。
    《電源》／《ホーム》／《再生》／《番組表》／《らくらくスタート》／《録画リスト》
  - ディスクの挿入。

本機のリモコンの設定を変更したい

本機のリモコンの機器操作切換ボタンを使うと、本機のリモコンに登録したテレビや「スカパー！ HD」対応チューナー、AVアンプなどの他機器を操作できるようになります。

他機器の操作に利用できる主なボタン

登録した機器のリモコンにないボタンは利用できません。機種によっては同じボタンがあっても操作できないことがあります。

ボタン	<ブラビア>	他社製デジタルテレビ	左記以外のテレビ	「スカパー！HD」対応チューナー
• 入力切換 • TV電源 • 音量＋／－	○	○	○	×
• 電源 • チャンネル＋／－	○	○	○	○
• 数字ボタン • 放送切換（地デジ／BS ／ CS） • カラーボタン • 番組表 • 戻る • ホーム • ↑↓←→ • 決定 • 音声切換 • 字幕切換 • *d*連動データ	○	○	×	○
• 番組説明 • オプション • 画面表示	○	×	×	○
• 消音	○	○	×	×

本機のリモコンでテレビや他機器の操作をしたい

1 リモコンを他機器モードにする。

《STB》ボタンまたは《TV》ボタンを押します。

リモコンが他機器モードになり、ボタンが点灯している間は他の機器を操作できます。

最後の操作から、約30秒でBDモードに戻り、ボタンのランプは消えます。

お買い上げ時は、《STB》ボタン、《TV》ボタンに次の機器が登録されています。

ボタン	登録機器	登録番号
STB	ソニー製「スカパー！ HD」対応チューナー　DST-HD1	701
TV	ソニー製テレビ	901

上記以外の機器を操作したい場合、または、《STB》ボタン／《TV》ボタンが点灯している間にリモコンを操作しても他機器が反応しない場合は、「テレビや他機器を本機のリモコンに登録したい」（114ページ）から他機器の登録を行ってください。

他機器モードに切り換えたままにするには

次の設定を行うと、機器操作切換ボタンで選んだ機器の設定に固定できます。

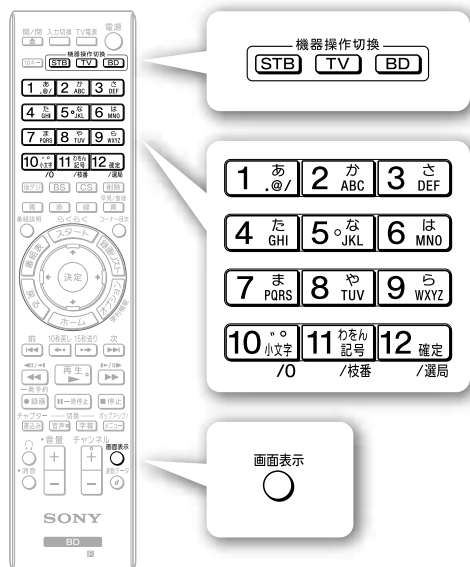
1 《TV電源》ボタンを押しながら、《音量－》ボタン、《チャンネル－》ボタンの順番で3つのボタンを同時に押す。

3つの機器操作切換ボタンがすべて点灯します。指を離してボタンが消灯すると設定が完了します。
もう一度上記手順を行うと、《BD》ボタンのみ点灯し、30秒後に自動的にBDモードに戻るように設定されます。
他機器モードでは、機器操作切換ボタンは操作時のみ点灯します。

テレビや他機器を本機のリモコンに登録したい

本機のリモコンに他機器を登録すると、それらの機器を本機のリモコンで操作できるようになります。

1 登録したい機器の番号3桁を右の表で確認する。

2 《TV》ボタンまたは《STB》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

3 ボタンが点滅している30秒以内に番号3桁を押し、《決定》ボタンを押す。

登録が成功するとボタンが2回点滅、登録できなかった場合は、すばやく5回点滅します。

テレビの場合：《TV》ボタン

メーカー	メーカー番号		
ソニー	901*	910	
パナソニック	902	912	
シャープ	903	916	917
東芝	904	905	
日立	906		
三菱	907		
パイオニア	908	909	
アイワ	911		
ビクター	913		
サンヨー	914	915	
NEC	918		
富士通ゼネラル	919		
フナイ	920		

* 《TV》ボタンのお買い上げ時の設定です。テレビに R マークが付いています。

ソニー製AV機器の場合：《STB》ボタン

機器	登録番号				
DVDレコーダー／プレーヤー	101*	102	103		
HDDレコーダー	301	302	303	304	308
フォトストレージ	351				
ホームシアターシステム	601	602	603	604	
AVアンプ	651	652	653		
デジタルCSチューナー	701	702	703	704	
PSX	801	802	803		

* DVDプレーヤーは「101」に設定してください。

ソニー製BDレコーダー／ BDプレーヤーの場合：《STB》ボタン

リモコンモード	登録番号
BD1	501*
BD2	502
BD3	503

* BDプレーヤーは「501」に設定してください。

「スカパー！ HD」対応チューナーの場合：《STB》ボタン

メーカー	メーカー番号		
ソニー（DST-HD1）	701*	702	
スカパー！ブランドチューナー（SP-HR200H / SP-HR250H）	705	706	707

* 《STB》ボタンのお買い上げ時の設定です。

ビデオデッキの場合：《STB》ボタン

メーカー	メーカー番号				
ソニー	001	002	003	004	005
	006	201*			
アイワ	037	038	039	040	049
パナソニック	010*	011*	012*	013	014
東芝	015*	016*	017	018	
日立	019	020	021	022*	
三菱	023*	024*	025	026	
ビクター	027*	028*	029*	030*	031
	032				
サンヨー	033*	034	035	036	
シャープ	041*	042	043		
NEC	045	046	047	048	
フナイ	044*				

* DVD一体型ビデオ。

ご注意

- メーカー番号や登録番号が複数あるときは、順に試して操作できる番号をお選びください。メーカーの記載がない場合は使えません。
- アイワのメーカー番号を設定しても操作できないときは、ソニーのメーカー番号で登録してください。

テレビやAVアンプの音量だけを操作したい

テレビの音量を調節するには

テレビを登録すると（114ページ）、他機器モードに切り換えなくてもテレビの音量を調節できるようになります。

AVアンプの音量を調節するには

本機のリモコンの《BD》ボタンにAVアンプを登録すると、他機器モードに切り換えなくてもAVアンプの音量を調節できるようになります。

1 登録したい機器の番号3桁を右の表で確認する。

2 《BD》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押す。

3 ボタンが点滅している30秒以内に番号3桁を押し、《決定》ボタンを押す。

登録が成功すると《BD》ボタンが2回点滅、登録できなかった場合は、すばやく5回点滅します。

リモコンモードを「BD3」に設定している場合*

メーカー	メーカー番号			
ソニー	551	552	553	554
オンキョー	555	556	557	
デノン	558	559	560	
サンスイ	561			
ケンウッド	562	563		
ヤマハ	564	565	566	
パナソニック	567	568		
パイオニア	569			

* お買い上げ時の設定です。

リモコンモードを「BD1」に設定している場合

メーカー	メーカー番号			
ソニー	511	512	513	514
オンキョー	515	516	517	
デノン	518	519	520	
サンスイ	521			
ケンウッド	522	523		
ヤマハ	524	525	526	
パナソニック	527	528		
パイオニア	529			

リモコンモードを「BD2」に設定している場合

メーカー	メーカー番号			
ソニー	531	532	533	534
オンキョー	535	536	537	
デノン	538	539	540	
サンスイ	541			
ケンウッド	542	543		
ヤマハ	544	545	546	
パナソニック	547	548		
パイオニア	549			

ちょっと一言

- AVアンプの登録をリセットするには、「本機のリモコンで他のソニー製機器が動作してしまうときは」（116ページ）の手順2で、本機に設定されているリモコンモードを再設定してください。

本機のリモコンで他のソニー製機器が動作してしまうときは

他のソニー製機器のリモコンモードが、本機と同じ「BD3」（お買い上げ時の設定）に設定されているためです。本機と本機のリモコン両方を「BD1」または「BD2」に変更してください。

1 本体側のリモコンモードを変更する。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定]＞[本体設定]＞[リモコンモード]を選び、《決定》ボタンを押します。

[リモコンモード]から設定したいリモコンモードを選びます。

2 リモコン側のリモコンモードを変更する。

画面に従って、本機のリモコンで以下の操作をしてください。

1 《BD》ボタンを押しながら、《画面表示》ボタンを押します。

2 《BD》ボタンが30秒間点滅します。その間に、本体側に設定したリモコンモードに対応する数字をリモコンの数字ボタンで入力します。

3 《決定》ボタンを押します。

本機のリモコンモード	リモコンの数字ボタン操作
BD1	《5》、《10》、《1》ボタンを順に押します。
BD2	《5》、《10》、《2》ボタンを順に押します。
BD3*	《5》、《10》、《3》ボタンを順に押します。

* お買い上げ時の設定です。

登録が完了すると《BD》ボタンが2回点滅します。
登録できなかったときは5回すばやく点滅します。

ちょっと一言

- 《STB》ボタンの設定と組み合わせると（114ページ）、1つのリモコンで複数のBD機器を操作できます。

本機のリモコンで本機の操作ができなくなったときは

本機側とリモコン側のリモコンモードが一致していないと、リモコンで本機を操作できなくなります。
リモコンのボタンを押すと、本機の表示窓に、本機側のリモコンモード（BD1、BD2、BD3）のいずれかが表示されます。

本機の表示例

BD3

「本機のリモコンで他のソニー製機器が動作してしまうときは」（116ページ）の手順2を行い、リモコン側のリモコンモードを表示窓に表示された本機側のリモコンモードに変更してください。

リモコン側のリモコンモードをお買い上げ時の設定に戻すには

リモコンの《STB》ボタンや《TV》ボタンなどに登録した設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

1 《*d*連動データ》ボタンを押しながら、《TV電源》ボタン、《決定》ボタンの順番で3つのボタンを同時に押す。

3つの機器操作切換ボタンがすべて点灯します。

指を離してランプが消灯すると、リモコン側のリモコンモードが「BD3」に戻ります。

困ったときは

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の順番で解決方法を探してください。

最新の情報と、検索も便利なホームページも合わせてご確認ください

- **よくある問い合わせと解決方法を知りたい。**
- **アンテナやテレビとの接続方法を確認したい。**
- **使いかたの詳しい情報を知りたい。**
- **接続できる機器を知りたい。**

インターネットアドレス
http://www.sony.jp/support/bd/

1. まず、確認してください

こんな場合は故障ではありません

**電源を切っているのに
ファンなどの動作音がする**

電源が「切」でも、次のような場合、本機が動作をすることがあります。
- 番組表データの取得時。
- 録画中(録画予約、x-おまかせ･まる録など)。
- ダビング中。
- リモート録画予約機能使用時。
- ホームサーバー機能使用時。
- HDMI機器制御による高速連動機能使用時。
- 瞬間起動の待機時。
- ソフトウェアのアップデート時。
- スカパー！ｅ２の無料視聴期間サービスの利用時。

など

このような場合、内部で動作しているので音がすることがあります。

**「PLEASE WAIT」と点滅表示され、
なかなか起動しない**

本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅表示されます。本機の起動には数十秒かかりますので、そのままお待ちください。
起動時間を短くするには、[瞬間起動]に設定してください(106ページ)。[瞬間起動]に設定すると、[標準]よりも消費電力は増えます。

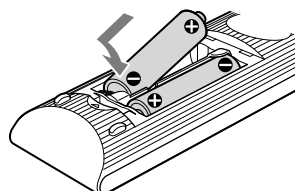
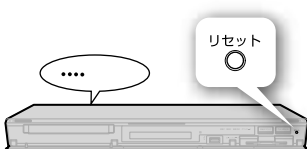
番組表の全部または一部が表示されない

番組表は、最新の番組情報を自動的に、少しずつ取得します。初めてご使用になるときや、電源コードをコンセントから抜いていた場合、番組情報や放送局のロゴが取得できていないため、表示されません。

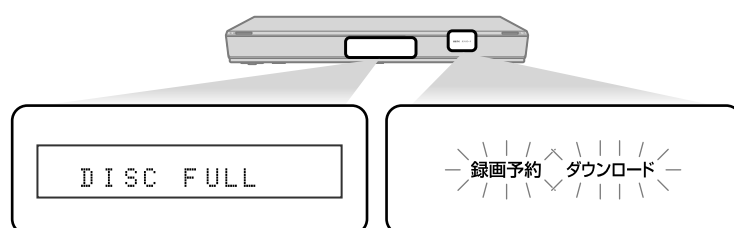
番組表を取得するには
- 表示させたい放送局をしばらく視聴する。
- 電源を切って、一晩程度待つ。
- 番組表表示中にオプションメニュー＞[番組表取得]を選んで取得する。

取得には時間がかかります。

それでも表示されない場合は
本機へのアンテナ接続を行い、かんたん初期設定を行ってください。詳しくは、別冊の「らくらくスタートガイド」をご覧ください。

操作を受け付けなくなった場合は

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本機前面の扉を開き、《リセット》ボタンを押してください(132ページ)。
本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅し、しばらくして表示が消えたら電源を入れ直してください。

リモコンの電池残量が無くなると操作できません。新しい電池に交換してください。

2. 本機のメッセージを確かめる

「表示窓の表示文字」（134ページ）もご覧ください。

表示窓	状態	対処方法
BD3（または BD1、BD2）	本機に設定されているリモコンモードです。リモコンと本機でリモコンモードが違う場合に表示します。	本機を操作するには、本機とリモコンのリモコンモードを合わせる必要があります（116ページ）。
CAN'T USE	ディスクが読み込めません。 ディスクが汚れているか、本機が対応していない種類のディスクや記録方式の可能性があります。	汚れていた場合は9ページの方法で清掃してください。 ディスクの記録方式を確認してください。本機が対応しているディスクおよび記録方式は139ページでご確認ください。
DISC FULL	ディスクがいっぱいです。	別の新しいディスクを入れてください。
E5001	本機の内部温度が上昇しています。	内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。本機を涼しいところに設置してください。
Exxxx（xは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断が働いています。	本機前面扉内の《リセット》ボタンを押してください。それでも改善されない場合はソニーの修理相談窓口（129ページ）へお問い合わせいただき、表示メッセージ「Exxxx」をお知らせください。
FINALIZE	ディスクのファイナライズ実行中です（65、71ページ）。	しばらくお待ちください。完了するまで数分から数十分かかります。
NO DISC	ディスクが入っていません。	使うディスクを入れてください。
NO CARD	B-CASカードが入っていません。	付属のB-CASカードを入れてください。
LINE	画面が白画面でテレビ画面が表示できません。	外部入力になっています。《入力切換》ボタンを押してテレビ画面が表示されるよう入力を切り換えてください。
PLEASE WAIT	点滅中は起動の準備をしています。	そのままお待ちください。起動まで数十秒かかります（118ページ）。
POWER OFF	点滅中は電源が切れる準備をしています。	そのままお待ちください。電源「切」まで数十秒かかります（6ページ）。
SYSTEM ERROR	一時的な不具合の可能性があります。	本機前面扉内の《リセット》ボタンを押してください。それでも改善されない場合はソニーの修理相談窓口（129ページ）へお問い合わせください。
UPDATE	ソフトウェアの更新中です。表示が消えるまで本機を操作できません。	表示中は絶対に電源コードを抜かないでください。
✉（お知らせ）	録画されていない場合など、本機からの状況をお知らせします（99ページ）。	確認するには、《ホーム》ボタンを押して、[設定]＞[お知らせ]＞[本機からのお知らせ]でお知らせを選び、《決定》ボタンを押してください。
DATA	番組表を受信しています。	
時計表示	電源「切」時は、省エネのため表示されません。	[本体表示の明るさ]を[消灯]以外に設定している場合（106ページ）、↑↓←→や《決定》ボタンを押すと、5秒間時計が表示されます。
録画予約（点滅）	● 本機／外付けのハードディスクやBDの容量が不足しています。 ● 録画可能なBDが入っていません。 ● 録画可能な外付けハードディスクが接続されていません。	録画先の不要なタイトルを削除してください（54ページ）。 録画可能なBDや外付けハードディスクに交換してください。
ダウンロード（点滅）	インターネットサービスからのダウンロードがエラーになっています。	しばらくたってからもう一度ダウンロードを実施してください（50ページ）。 改善しない場合はルーター機器を再起動してください。

3. よくあるトラブルと解決方法

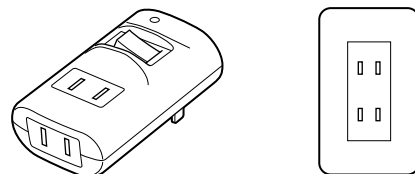
このページにはお問い合わせの多い内容を記載しています。詳細な事例については、122 ～ 128ページをご覧ください。

電源を入れても動作しない

1 電源コードが接続されていることを確認する。

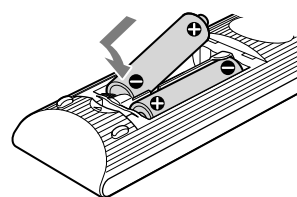
→ 本機側、コンセント側の両方を確認してください。

ご注意

- スイッチ付き電源タップを使用しているときは、電源タップの電源が「入」になっていることを確認してください。

2 リモコンの電池が入っていることを確認する。

→ リモコンのボタンを押して、《BD》ボタンなどの機器操作切換ボタンが点灯することを確認してください。

ご注意

- 点灯しない場合は、新しい電池で試してください。

動作または動作音はするが、テレビに映像が表示されない

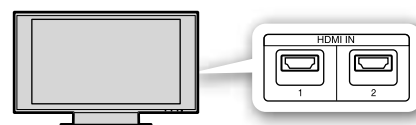
1 HDMIケーブルが、本機とテレビにしっかり接続されていることを確認する。

2 テレビの電源、本機の電源が入っていることを確認する。

3 本機をつないだテレビのHDMI端子(番号)を確認する(HDMI1など)。

→ テレビのリモコンで入力切換をして、本機をつないだHDMI端子に切り換えてください。

ご注意

- 入力を切り換えてから表示されるまで数秒かかることがあります。
- HDMIケーブルが断線している可能性があります。他のHDMIケーブルでつないでみてください。
- AVアンプなどを経由して接続している場合は、AVアンプについても上記の手順1 ～ 3を確認してください。

それでも解決しないときは

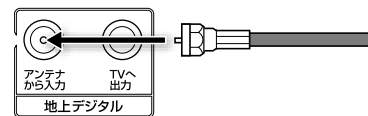
本機前面の扉を開き、《リセット》ボタンを押してください(132ページ)。
本体表示窓に「PLEASE WAIT」が点滅し、しばらくして表示が消えたら電源を入れ直してください。

放送が受信できない

1 本機にアンテナケーブルが接続されていることを確認する。

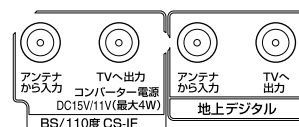
→ 別冊の「らくらくスタートガイド」をご覧になり、接続してください。

ご注意

- 本機で番組の視聴や録画をするには、本機へのアンテナ接続が必要です。テレビでも番組を視聴する場合は、テレビにもアンテナを接続してください。

2 地上デジタル入力／出力端子とBS/110度CS-IF入力／出力端子が正しく接続されていることを確認する。

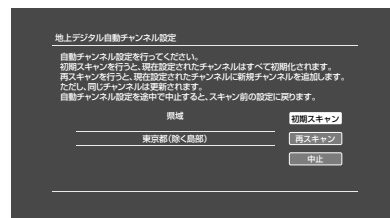
→ 本体後面の端子を確認してください(133ページ)。

ご注意

- 端子の配置は機種によって異なります。

3 地上デジタル放送のチャンネルスキャンを行う。

→ 本機を起動後にホームメニューの[設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタル自動チャンネル設定]でお住まいの県域に合わせて初期スキャンを行ってください。

ご注意

- 地上デジタル放送は接続し直しただけでは受信できません。必ず初期スキャンを行ってください。

本機で受信した放送が乱れたり、録画した番組が途切れたりする

1 受信状態(アンテナレベル)を確認する。

確認したいチャンネルを選局し、ホームメニューの[設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタルアンテナレベル]または[BS/CSデジタルアンテナレベル]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 地上デジタル放送の場合、[地上デジタルアンテナレベル]の画面で[伝送チャンネル]を変更すると、各チャンネルのアンテナレベルを確認できます。

2 アンテナレベルの値が緑色の範囲になるように、アンテナの向きを調整したり、アンテナケーブルに断線がないか確認する。

断線している場合はアンテナケーブルを交換してください。

122 ～ 123ページの事例もご確認ください。

地上デジタルアンテナレベルの表示例

青いバーが赤や黄色の範囲内だと受信電波が弱い状態。

青いバーが緑色の範囲内になるようにアンテナを調整してください。

それでもアンテナレベルが上がらないときは

お住まいの環境によっては、放送波にノイズが入るなどの影響を受け、放送波が一時的に弱くなっていると考えられます。お近くの電気店、またはマンションなどの共同受信システムではマンション管理会社(または管理人や管理組合など)へのご相談をおすすめします。

本書では次の項目のよくあるトラブルと解決方法を記載しています。
解決方法がない場合は、「4. それでも困ったときは」（129ページ）をご覧ください。

映像

映像が出ない、乱れる。

- テレビのリモコンの《入力切換》ボタンを押して、本機をつないだHDMI入力に切り換えてください。お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 放送受信状態やハードディスクの特性上、ごくまれに発生することがあります。複数回発生する場合は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください（129ページ）。
- 次の場合には映像／音声が一瞬途切れたり、映像が乱れたりすることがあります。
  – 2層以上のBD/DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるとき。
  – DVD再生時などでプログレッシブ映像に切り換わるとき。
  – 24p True Cinemaに対応したBD-ROMや、x-Pict Story HDやx-ScrapBookの再生をするとき。
- ホームサーバー機能を無線LAN（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500）でご使用のときは、有線LANに切り換えてみてください。
- 本機はDVI機器への接続に対応していません。
- 他機器で再生や受信している映像に、著作権保護のための信号が含まれています。この場合は、プレーヤーやチューナーなどの機器をテレビに直接つないでください。
- 本体表示窓のHDMI表示が点灯しないときは（134ページ）、HDMIケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。HDMIケーブルを差し直してください。
- HDMIケーブルを差し直しても解決しないときは、HDMIケーブルが断線している可能性があります。HDMIケーブルを交換してください。
- 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、映像を出力する機器をつないだHDMI出力端子に切り換えてください（94ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。
- HDMI AV独立ピュア出力機能を使うときは、HDMI出力1端子にプロジェクターやテレビをつないでください（94ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。
- テレビに映像が映らない場合は、リモコンの■《停止》ボタン（135ページ）を10秒以上押してください。一番低い解像度に設定されるため、［設定］＞［映像設定］＞［HDMI出力解像度設定］＞［変更する］から通常は［自動］を選んでください。映像が乱れる場合は、最適な解像度に設定してください。

本機の入力端子につないだ機器の映像が映らない。

- 《入力切換》ボタンを押して、つないでいる入力端子を本体表示窓に表示させてください。
  例）音声／映像入力端子のときは「LINE」。

本機の入力端子につないだ機器の画面の横縦比がおかしい。

- 録画する映像に合った映像サイズを設定してから録画してください（104ページ）。
- テレビ側の設定や、本機の［設定］＞［映像設定］で［テレビタイプ］や［画面モード］の設定を確認してください（99ページ）。放送や映像によっては、設定にかかわらず画面の左右や画面の上下に黒帯が入ることがあります。

HDV1080i/DV入力端子に機器をつないでも映像が表示されない。

▶ 対象機種：BDZ-EX3000

- 機器との接続に使っているi.LINKケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
- 本機および、つないだ機器の電源を切り、もう一度入れ直してください。

テレビの受信

本機で受信しているテレビ放送が映らない。

- アンテナケーブルの接続端子を確認してください（らくらくスタートガイド「接続と準備をする　STEP1」）。
  – 地上デジタルとBS/110度CSを間違えていませんか？
  – 「アンテナから入力」と「TVに出力」を間違えていませんか？
- 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、［設定］＞［放送受信設定］＞［地上デジタル自動チャンネル設定］で［初期スキャン］（102ページ）を選んで受信設定してください。
- CATVから配信されるBS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送は、本機で直接受信できる方式と、CATVチューナーで受信し、本機に映像／音声ケーブルで入力する方式があります。
  ご利用のCATV局に「直接受信できるかどうか」をお問い合わせください。
- アンテナの向きを調整してください。

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が映らない。

- BS/CSデジタルアンテナレベルの表示を見ながら、BS/110度CS対応アンテナの向きを調整してください（103ページ）。
- BS/110度CS対応アンテナからゴミや雪を取り除いてください。
- ［設定］＞［放送受信設定］＞［BS/CSデジタルアンテナ電源］（103ページ）を［自動］に設定していても番組が映らない場合は、BS/110度CS対応アンテナがショートしている可能性があります。本機とテレビの電源を入れ直してください。
  分波器や分配器をご使用の場合は、電流通過型をご使用ください。
- マンションなどの共同受信システムで、BS/110度CSデジタル放送のアンテナレベルが低いときは、BS/CSブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

本機で受信しているテレビ放送の映像が乱れる。

- 電波が強くありませんか？電波の送信元付近の地域にお住まいの場合には、地上デジタル放送の電波が強くて近隣のチャンネルなどの干渉を受けて、放送が見ることができない、ノイズが入るなどの影響を受ける場合があります。[設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタルアッテネーター]（102ページ）を[入]に設定してください。
  それでも乱れる場合は、お近くの電気店へご相談ください。
- 電波が弱くありませんか？デジタル放送の映像が乱れる場合、アンテナレベル（102ページ）を確認してください。アンテナレベルが低いときは、別売のアンテナブースターで電波信号を増幅してください。

テレビチャンネルを切り換えることができない。

- 複数番組同時録画中*は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、テレビ側で見たいチャンネルに切り換えてください。テレビ側でチャンネルが切り換えられない場合には、テレビの取扱説明書をご覧ください。

* 3番組録画中（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000）。
2番組録画中（対象機種：BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500）。
録画中（対象機種：BDZ- E500）。

- 本機のリモコンの《入力切換》ボタンを押して、映像が映るように入力を地上デジタル放送またはBS/110度CSデジタル放送に合わせてください。《チャンネル＋ ／－》ボタンを押してテレビのチャンネルを切り換えてください。

放送局のロゴが表示されない。

- 本機では各放送局のロゴデータを放送局から順次取得していきますが、お急ぎの場合は表示させたい放送局をしばらく視聴していると自動的にロゴデータが受信され、表示されるようになります。

＜ブラビア＞とチャンネル設定の連動を行ったのに、本機とチャンネル設定が違う。

- テレビ側で次の設定を確認してください。
  - 郵便番号設定
  - 地上デジタル放送のスキャン
- チャンネル設定連動を行った後に、＜ブラビア＞で設定を変更した場合、本機に反映されません。かんたん初期設定をやり直してください。
- 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンの設定が連動したいテレビ側に設定されているか確認してください（94ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。

番組表

番組表が表示されない。

- 番組表データを取得してください（118ページ）。
- アンテナケーブルの接続端子を確認してください（らくらくスタートガイド「接続と準備をする　STEP1」）。
  - 地上デジタルとBS/110度CSを間違えていませんか？
  - 「アンテナから入力」と「TVに出力」を間違えていませんか？
- [設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタル自動チャンネル設定]（102ページ）でチャンネル設定をやり直してください。

番組表に表示されない放送局がある。

- [設定]＞[放送受信設定]＞[地上デジタルチャンネル登録]や[BSデジタルチャンネル登録]、[CSデジタルチャンネル登録]の[＋／－選局]（102ページ）を[選局する]に設定してください。
- 番組表データに含まれない放送局は表示されません。

番組表に表示されない番組がある。

- 本機にアンテナをつないで初期設定を終えた直後や、数日以上本機の電源コードを抜いていた場合は、地上デジタル放送の番組表の一部が表示されません。電源コードを抜かないで1日程度お待ちください。
- 地上デジタル放送の番組表データは放送局ごとに受信します。本機では各放送局の番組表データを自動的に順次取得していきますが、お急ぎの場合は表示させたい放送局をしばらく視聴してから番組表を表示してください。
- 1時間に複数の番組があると、番組名が表示されず、番組の開始時刻のみ表示されます。開始時刻のみ表示されている欄を選び、⬆⬇を押すと、番組名を見ることができます。また、《黄》ボタンを押して番組表を拡大表示すると番組名が表示されることがあります。

間違った放送局名が表示される。

- [設定]＞[設定初期化]＞[お買い上げ時の状態に設定]（111ページ）の[放送受信設定]を選び、実行すると削除できます。削除後は[地上デジタル自動チャンネル設定]（102ページ）をしてください。

録画・予約・ダビング・おでかけ転送

録画中、テレビのチャンネルを変えられない。

- 複数番組同時録画中*は、本機では録画中のチャンネルしか見ることができません。他のチャンネルを見たい場合は、テレビ側で見たいチャンネルに切り換えてください。

* 3番組録画中（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000）。
2番組録画中（対象機種：BDZ- EW2000 / EW1000 / EW500）。
録画中（対象機種：BDZ- E500）。

録画中に■《停止》ボタンを押してもすぐに録画が止まらない。

- 録画が止まる前に本機／外付けのハードディスクやBDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によって、かかる時間は異なります。

「見て録」開始時に「カードエラー」と表示される。

- B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください（らくらくスタートガイド「接続と準備をする　STEP2」）。
- 番組表データを取得してください（118ページ）。

ダビング／おでかけ転送の途中で画面にメッセージが表示され、止まる。

- 本機はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画、そのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
  次の映像やディスクは、ダビング／おでかけ転送（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500）できないことがあります。
  - ビデオカメラで撮影中に、市販のBD-ROMや一部のDVD再生中の音声が入った場合。
  - 無許諾のBD/DVD（海賊版など）。

  詳細は、画面の指示に従って下記をご覧ください。
  Cinaviaオンラインお客様情報センター
  http://www.cinavia.com
- ［本機からのお知らせ］で詳細を確認してください。
  ［設定］＞［お知らせ］＞［本機からのお知らせ］でお知らせを選びます。

予約したのに録画されていない。

- 本機からのお知らせを確認してください。録画ができなかった状況などをお知らせしています（99ページ）。
- お使いのテレビの番組表から録画予約した可能性があります。本機の番組表から録画予約してください（16ページ）。
- <ブラビア>の番組表からネットワーク録画予約した録画予約は日時指定のため、時間変更に追従できません。番組の中止や変更となった可能性があります。本機の番組表からの録画予約をしてください（16、48ページ）。
- 地上デジタルやBS/110度CSデジタル放送からの時刻合わせができなかった可能性があります。
  アンテナケーブルの接続を確認してください（らくらくスタートガイド「接続と準備をする　STEP1」）。自動で時刻が設定されます。
  受信できないときは、［設定］＞［本体設定］＞［時刻設定］で設定してください（106ページ）。
- 番組が中止になったり、変更になったりした可能性があります。
- チャンネル設定を変更した場合、録画に失敗することがあります。録画予約をやり直してください。
- 番組名で毎回録画予約しても、番組名が大幅に変更された場合は、録画されないことがあります。《録画リスト》ボタンで表示されるタイトル一覧から［予約確認］＞［予約リスト］で録画予約する番組を確認しても予約リストにない場合は、番組表からの録画予約をおすすめします（16ページ）。
- おでかけ転送中（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500）は、x-おまかせ･まる録は実行されません。また、複数の録画予約があっても、録画されるのはBDZ-EW2000 / EW1000 / EW500は1番組、BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000は2番組です。
- おでかけ転送用動画ファイルの作成中は、録画予約があっても録画は開始されません。作成終了後に録画が開始されます（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500）。
- LAN経由でのCATV録画／「スカパー！ HD録画」の予約が正しく設定されたか確認したいときは、チューナーを操作して確認します。詳しくはお使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください（らくらくスタートガイド「接続と準備をする　STEP2」）。

予約した内容の先頭が切れている。

- LAN経由でCATV録画／「スカパー！ HD録画」するには、［設定］＞［本体設定］＞［スタンバイモード］（106ページ）を［瞬間起動］や［標準］に設定してください。

本機前面の録画予約ランプが点滅している。

- 本機／外付けのハードディスクやBDの残量が足りない場合に点滅し（119ページ）、録画できません。本機／外付けのハードディスクやBD内の不要なタイトルを削除し、残量を増やしてください（54ページ）。

以前録画した内容がなくなっている。

- 上書き録画されているときは、録画予約設定画面の［上書き］を［しない］にしてください（16ページ）。
- 本機／外付けのハードディスクの容量がなくなると、x-おまかせ･まる録で録画されたタイトルが自動的に削除されます（22ページ）。

動画や写真の取り込みができない。

- HDV1080i/DV入力端子は、MICROMV方式の機器のi.LINK端子（MICROMV信号）とは信号が異なるため、接続できません。（対象機種：BDZ-EX3000）。
- HDV/DVダビングする場合、テープに5分以上の無記録部分があると、取り込みは自動的に終了します。HDV機器から取り込む場合、無記録部分は本機に記録されません。DV機器から取り込む場合は記録されます（78ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。
- HDV/DVダビングが中断してしまう場合は、「映像／音声ケーブルを使って取り込みたい」（80ページ）に記載されている方法で録画してください（対象機種：BDZ-EX3000）。
- USB接続で取り込む場合、AVCHD方式以外の映像は、本機のハードディスクに取り込めません（77、81ページ）。SD（スタンダード）画質で記録された映像を取り込むには「映像／音声ケーブルを使って取り込みたい」（80ページ）に記載されている方法で取り込んでください。
- 市販のBDやDVDに入っているコピー制御信号が付いた場面は取り込めません。

勝手に録画されている。

- タイトル名の先頭に★が付いている場合は、x-おまかせ･まる録のおすすめで自動録画されたタイトルです。自動録画をやめるには、［自動録画］を［切］にしてください（23ページ）。
- タイトル名の先頭に が付いている場合は、あらかじめ設定したジャンルやキーワードから自動録画されたタイトルです。自動録画をやめるには、おまかせ条件を変更または取り消してください（22ページ）。
- 二度録り回避で、本機が録画を回避するのは録画から約半年の間です。

リモート録画予約できない。

- ネットワークに接続されているか確認してください（41ページ）。
- x-Pict Story HD作成中は、リモート録画予約できません。

「スカパー！ HD」の番組を録画できない。

- 地上デジタルやBS/110度CSデジタル放送からの時刻合わせができなかった可能性があります。アンテナケーブルの接続を確認してください。自動で時刻が設定されます。
  受信できないときは、［設定］＞［本体設定］＞［時刻設定］で設定してください（106ページ）。

USB機器を認識しない。

- USBケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。USBケーブルを差し直してください(74、77ページ)。
- 利用する機能に対応したUSB端子に、USB機器をつないでいるか確認してください。
- 本機とのUSB接続に対応している機器かどうか、次のホームページで最新情報を確認してください。
  http://www.sony.jp/support/bd/
- ソニー製デジタルスチルカメラをつなぐ場合、USB接続設定が標準(Mass Storageモード)になっているか確認してください。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機器やPSP®、携帯電話をUSB接続モードなどに設定してください(ワンタッチディスクダビングの場合を除く)(77ページ)。
- 外付けハードディスクの録画、コピー、再生については、「外付けハードディスク」(128ページ)をご覧ください。

おでかけ転送ができない。

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

- PSP®や"nav-u"に"メモリースティック PRO デュオ"が正しく挿入されているか確認してください。
- 携帯電話にmicroSDカードが正しく挿入されているか確認してください。
- メモリーカードスロットに挿入したメモリーカードにはおでかけ転送できません(対象機種:BDZ-EX3000)。
- 同一シーンを複数回参照するプレイリストはおでかけ転送できません。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送する場合は、本機をネットワークにつないでください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルによっては、書き出す機器やメディア、回数に制限がある場合があります。

ワンタッチ転送で一部のタイトルしか転送できない。

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

- 転送先機器の容量が不足していないか確認してください。
- ワンタッチ転送で転送先の容量が不足し、すべて転送できない場合、ワンタッチ転送リストの録画日時の古い順から転送先機器の容量に収まる分まで転送します。ただし、更新転送の場合は、未転送のタイトルを優先して転送します(74ページ)。
- 転送中に複数番組同時録画*の予約が重複したときは、複数番組同時録画が終わってからもう一度ワンタッチ転送すると、続きから転送できます。

* 3番組録画中(対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000)。
2番組録画中(対象機種:BDZ- EW2000 / EW1000 / EW500)。

デジタル放送のタイトルをおでかけ転送できない。

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

- デジタル放送のタイトルは、コピー制御信号に対応していない機器には転送できません。下記ホームページよりご確認ください。
  http://www.sony.jp/support/bd/

おでかけ転送時に高速転送ができない。

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

- [設定]>[おでかけ転送設定]>[おでかけ転送機器]の設定を、実際に転送する機器と合わせた状態で録画してください(105ページ)。
- [設定]>[おでかけ転送設定]>[高速転送録画]が[切]になっている場合は、[入]に変更してから録画してください(105ページ)。
- 本機のハードディスクに録画されているタイトルを編集したり、録画モード、映像や音声の信号、おでかけ転送機器の設定を変更したりすると、高速転送できません。

おかえり転送ができない。

対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500

- 携帯電話、無線おでかけ転送機器からのおかえり転送はできません(74ページ)。
- PSP®や"nav-u"に"メモリースティック PRO デュオ"が正しく挿入されているか確認してください。
- デジタル放送のタイトル以外はおかえり転送リストに表示されず、おかえり転送できません。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルはおかえり転送できません。

ダビングできない。

- 映画などの市販ソフトはコピーできません(62、86ページ)。
- 同一シーンを複数回参照するプレイリストはダビングできません。
- BDやDVDに汚れや傷が付いていないか確認してください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをダビングする場合は、本機をネットワークにつないでください。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルによっては、書き出す機器やメディア、回数に制限がある場合があります。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルは、DVDにダビングできません。BDにダビングできます。
- DVD-R DL(2層)やDVD+R、DVD+RW、DVD+R DL(2層)、DVD-RAMにはダビングできません(62ページ)。

ダビングしたディスクを他機器で再生できない。

- DVD-R/-RWにダビングした場合、他機器で再生するためにはファイナライズが必要です(71ページ)。DVD-RWにダビングした場合には、自動でファイナライズされます。
- DVD-R/-RWにVRでダビングした場合、VRモードに対応した機器でのみ再生できます。ご利用の再生機器の取扱説明書などを確認してください。
- CPRM対応のDVDにダビングした場合、CPRMに対応した機器でのみ再生できます(62ページ)。

「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された。

- 保存しているタイトル数が多い場合や、タイトルの編集回数が多い場合などにメッセージが表示されます。管理情報とは、タイトルの容量とは別に記録される情報で、この管理情報が極端に多くなると本機/外付けのハードディスクやディスクの残量が充分に残っていても、録画、ダビング、編集、ダウンロードができないことがあります。次のことを行ってください。
  - 不要なタイトルを削除してください(54ページ)。
  - ダビング先のタイトルを削除してください。
  - ダビングするタイトルを減らしてください(63ページ)。
  - 編集回数が多いタイトルの場合、タイトルを分割してください(58ページ)。

再生

再生が始まらない。

- ディスクに指紋や汚れが付いている場合、柔らかい布やクロスなどで傷が付かないように拭き取ってください(9ページ)。
- BDやDVD、CDが裏返しや斜めにずれて入っていないか確認してください。
- CD-ROMなどの再生できないディスクが入っていないか確認してください(139ページ)。
- BDやDVDの地域番号(リージョンコード)が本機で再生できる番号になっているか確認してください(140ページ)。
- 他機器で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生できません(139ページ)。

本機／外付けのハードディスクやBD、DVDの再生が最初から始まらない。

- オプションメニューから[はじめから再生]を選んでください(161ページ)。
- 自動的にタイトルメニュー、BDやDVDメニューの画面が表示されるBDやDVDの場合、画面に表示されるメニューに従って再生してください。

前回のつづきから再生できない。

- 次の場合は最初から再生されます。
  - ディスクトレイを開けたとき。
  - 他のタイトルを再生したとき(DVDやCD)。
  - 再生の途中で停止し、停止した場面を編集で削除したとき。
  - タイトル結合したとき。
  - [映像設定]や[BD/DVD視聴設定]、[年齢制限設定]を変更したり、[設定初期化]をしたりしたとき(本機／外付けのハードディスクを除く)。

再生が自動的に始まる／止まる。

- BDやDVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。再生を続ける場合は操作をしてください。

再生の途中で画面にメッセージが表示され、止まる。

- 本機はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画、そのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
  次の映像やディスクは、再生できないことがあります。
  - ビデオカメラで撮影中に、市販のBD-ROMや一部のDVD再生中の音声が入った場合。
  - 無許諾のBD/DVD(海賊版など)。
    詳細は、画面の指示に従って下記をご覧ください。
    Cinaviaオンラインお客様情報センター
    http://www.cinavia.com

音声言語を変更できない。

- 再生しているBDやDVDに複数の言語が記録されているかディスクのメニューから確認して操作してください。
- DRモードで録画した二か国語放送のタイトルのみ音声言語の変更ができます(34ページ)(対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000)。

字幕を変更できない。

- 再生しているBDやDVDに複数の字幕が記録されているかディスクのメニューから確認して操作してください。
- DRモードで録画した字幕付きの番組のみ字幕の入／切ができます(34ページ)。

タイトルが表示されない。

- LAN録画／ LANムーブしたり、インターネットサービスからダウンロードしたりしたタイトルのうち、18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると、タイトルリストなどに表示されません。視聴年齢制限を一時的に解除してください(107ページ)。

タイトルのサムネイルが表示されない。

- 一度再生して停止してください。

追いかけ再生できない。

- アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けたりしていると、記録状態が不安定となり追いかけ再生できないことがあります。

市販の3Dソフト(BD-ROM)の3D再生ができない

- 本機と3D対応テレビは、必ずハイスピードHDMIケーブルでつないでください(27ページ)。
- お使いの3D対応テレビによっては、専用のメガネが必要です。メガネは視聴される人数分必要です(27ページ)。
- 本機と3D対応テレビの間に、ホームシアターシステムやAVアンプなどをつないでいる場合、それらの機器も3D対応している必要があります。
  対応していない機器とつないでいる場合は、本機と3D対応テレビをHDMIケーブルでつなぎ、テレビの光デジタル出力からホームシアターシステムやAVアンプなどにつないでください。BDZ-EX3000をお使いの場合、HDMI AV独立ピュア出力機能を使う接続もできます(94ページ)。

本機／外付けのハードディスクの「残量が足りません」と画面に表示された。

- [ビデオ]＞[BDデータ]＞[共通キャッシュデータ]を選び、《決定》ボタンを押してダウンロードしたBD-LIVEなどのデータを削除してください。

音声

音が出ない。

- 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください(92ページ)。
- 接続ケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。
- AVアンプの入力切換で本機の音声が出るようになっているか確認してください。
- お使いのAVアンプの取扱説明書などを参照し、[設定]＞[音声設定]の[ドルビーデジタル]や[AAC]、[DTS]を[ダウンミックスPCM]に変更し、音が出るか試してみてください(101ページ)。

HDMI接続したとき、音声が出ない。

- HDMI出力端子につないだ機器が対応している音声信号のフォーマットに変更してください。
  例：[設定]＞[音声設定]＞[HDMI音声出力]を[2チャンネルPCM]に設定。
- 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、音声を出力するHDMI出力端子に切り換えてください（94ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。
- HDMI AV独立ピュア出力機能を使うときは、HDMI出力2端子にAVアンプをつないでください（94ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。

音が小さい。

- テレビの音量に比べ、本機に入力を切り換えたときの音量が小さい場合、お使いのテレビで、本機をつないだ外部入力端子の音量を調節してください。詳しくは、テレビの取扱説明書などを確認してください。
- BD/DVDによっては、再生時の音量が小さいことがあります。[設定]＞[音声設定]＞[オーディオDRC]を[テレビ]に設定すると、改善されることがあります（101ページ）。

二か国語放送の音声が切り換えられない。

- 二か国語放送（主音声や副音声）の両方の音声は、DRモード（本機／外付けのハードディスク、BD）でのみ記録できます。
  DRモード以外で録画やダビングする場合は、録画やダビングの前に[設定]＞[ビデオ設定]＞[二重音声記録]＞記録したい音声を選んでください（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000）（18、70ページ）。
- HDMI出力端子に他機器をつないでいる場合、本機／外付けのハードディスクやBD、DVD-RW/-R（VR）、DVD-RAMの主音声や副音声を本機のリモコンを使って切り換えるには、[HDMI音声出力]を[マルチチャンネルPCM]または[2チャンネルPCM]に設定してください（101ページ）。
- 外部チューナーやビデオデッキを使って二重音声放送を記録する場合、外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声や副音声に切り換えてください。
  外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声＋副音声に設定したい場合、本機で視聴中にオプションメニューから[音声設定]＞[外部入力音声]＞[二重音声]（37ページ）を選びます。視聴中の主音声や副音声は本機のリモコンの《音声切換》ボタンを押して切り換えることができます（34ページ）。

ネットワーク

本機がネットワークにつながらない、とぎれる。

- ネットワークの接続／設定を確認してください（41ページ）。
- 本機と無線LANルーターの設置場所を確認してください（41ページ）（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500）。
  次のような環境では、電波干渉を受けている可能性があります。
  - 本機が他の無線機器や電子レンジ、蛍光灯の近くに設置されている。
  - 本機と無線LANルーターの間に床や壁がある。

ホームサーバー機能対応の他機器から本機のタイトルを再生できない。または、他機器から本機が見つからない。

- 本機がホームネットワークに接続、設定されているか確認してください（41ページ）。
- 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の番組をDRモード以外で録画した場合や、LAN録画／ LANムーブした場合は、他機器で再生できないことがあります。対応機器についてはソニー製品情報のホームページ（http://www.sony.jp/support/dlna/）または、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

インターネットサービス

インターネットサービスの映像が乱れる、映らない。

- 利用するネットワークの回線速度を確認してください。「アクトビラ ビデオ・フル」のご利用には、実効速度12Mbps程度の回線速度を想定しています。
- 他機器でインターネットを利用している場合は、他機器のインターネットの利用を停止してください。

画面上に、ダウンロードに失敗したというエラーが表示される。

- ダウンロード予定のタイトル数が50個を超えている場合は、いくつかダウンロードが完了してから再度行ってください（50ページ）。

ダウンロードが遅い。

- 他機器でインターネットを利用している場合や、次の機能は利用を停止してください（12、46、50、52、61、73、85ページ）。
  - BD-LIVEの再生。
  - ホームサーバー機能。
  - インターネットサービスでページを表示、またはインターネットサービスで映像を再生。
  - x-Pict Story HDの作成。
  - ダビング。
  - おでかけ転送（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500）。
  - 録画など。

ダウンロードしたタイトルが見つからない。

- 視聴年齢制限の設定を確認してください（108ページ）。
- 視聴期限が過ぎているため、自動削除された可能性があります。本機からのお知らせを確認してください（99ページ）。

表示

本機前面の録画予約ランプが点滅している。

- 次のことを確認してください（19、54、55、139ページ）。
  - 本機／外付けのハードディスクやBDの残量を確認してください。残量が足りない場合、不要なタイトルを削除してください。
  - 録画できるBDが本機に入っているか確認してください。
  - BDがプロテクト（保護）されていないか確認してください。

録画モードが正しく表示されない。

- 10分未満の録画／ダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、設定した録画モードとは異なるモードが表示されることがあります。録画やダビングした際の録画モードと異なるモードが表示されても、実際は設定したモードで録画やダビングされています。
  これは、本機が可変ビットレート方式(VBR)を採用しているためです。

本体表示窓に時計が表示されない。

- 省エネのため、電源を切っているときは時計は表示されません。[設定]＞[本体設定]＞[本体表示の明るさ]（106ページ）を[消灯]以外に設定している場合は、電源を切っているときに↑↓←→や《決定》ボタンを押すと、5秒間時計が表示されます。

本体表示窓にエラーメッセージ『E5001』が表示されている。

- 本機の内部温度が上昇していることをお知らせするメッセージです。
  - 電源を「切」にして、温度が下がるのをお待ちください。
  - 設置場所を見直して、風通しを良くしてください。
- その他のエラーメッセージについては、「2. 本機のメッセージを確かめる」（119ページ）をご覧ください。

リモコン

リモコンが働かない。

- 乾電池を交換してください。乾電池を交換すると、メーカー番号がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直してください（らくらくスタートガイド「接続と準備をする　STEP3」、114ページ）。
- 本体側とリモコン側のリモコンモードの設定が異なると操作できません。本体とリモコンのリモコンモードを合わせてください（116ページ）。
- リモコンを本体のリモコン受光部 R マークに向けたり、本体に近づけたりして操作してください。
- 操作する機器用の機器操作切換ボタン（《TV》ボタンなど）を押してから操作してください（113ページ）。

本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製のBD対応機器が同時に動いてしまった。

- 本機のリモコンモードを変更してください。お買い上げ時は「BD3」になっています（116ページ）。

外付けハードディスク

録画、コピー、再生ができない。

- お使いの外付けハードディスクによっては、本機後面のUSB HDD専用端子から電源供給ができないことがあります。お使いの外付けハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

その他

電源が「切」のときに本機の動作音がする。

- 番組表データの取得など内部で動作しているので、音がすることがあります（118ページ）。

HDMI機器制御機能が働かない。

- [設定]＞[HDMI機器制御設定]＞[HDMI機器制御]が[入]になっているか確認してください（107ページ）。
- つないだ機器がHDMI機器制御機能に対応しているか、つないだ機器のHDMI機器制御機能の設定を確認してください（つないだ機器の取扱説明書をご覧ください）。
- AVアンプを通してテレビにつないだ場合、HDMI接続を変更したり、電源コードの抜き差しをしたり、停電などがあると、AVアンプからの映像出力が出なくなることがあります。
  AVアンプの入力を本機からの入力に切り換えて、本機の[設定]＞[HDMI機器制御設定]＞[HDMI機器制御]を[切]にし、その後[入]に再設定してください。お使いのAVアンプの取扱説明書もご覧ください。
- 本機前面の《HDMI出力切換》ボタンの設定と、HDMI出力1/2端子の接続が正しいか確認してください（93ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。
- HDMI AVピュアに切り換えていると、HDMI機器制御機能が働きません。本機前面の《HDMI出力切換》ボタンを押して、HDMI出力1/2に切り換えてください（94ページ）（対象機種：BDZ-EX3000）。
- 1台のテレビでHDMI機器制御できる録画機器は3台までです。

操作を受け付けない。

- 本機前面の《リセット》ボタンを押してください（132ページ）。
- 電源を切って本体表示窓が消灯してから電源コードを抜いてください。しばらく経ってから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。

アルファベットと数字で5桁の番号が本体表示窓に出ている。

- 自己診断機能が働いています。「2. 本機のメッセージを確かめる」（119ページ）をご覧ください。

《開／閉》ボタンを押してもディスクトレイが開かない。

- BDやDVDに録画やダビング、編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがあります。これは、本機がBDやDVDにディスク情報を追加しているためです。
- どうしてもディスクトレイが開かないときは、電源を切って電源コードを抜きます。本機前面の《開／閉》ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクトレイが出たら《開／閉》ボタンをはなしてください。ディスクを取り出した後、本機前面の《リセット》ボタンを押してください（132ページ）。

4. それでも困ったときは

サポートホームページで調べる

ブルーレイディスク／ DVDレコーダーサポート・お問い合わせ

パソコンなどでインターネットに接続できるときは、「ブルーレイディスク／ DVDレコーダー」サポート・お問い合わせ

http://www.sony.jp/support/bd/

をご覧ください。

「「ブルーレイディスク／ DVDレコーダー」サポート・お問い合わせ」では、ブルーレイディスクレコーダーに関するトラブル解決方法や活用方法、ブルーレイディスクレコーダーを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

電話で問い合わせる

電話でお問い合わせの前に

ソニーの相談窓口へご相談になるときは、以下の内容をご用意ください。

- 型名：
- ディスクの種類：
- 接続しているアンテナ：
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名：
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

ソニーへのお問い合わせ

下記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「100」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

	問い合わせ先
ソニー	フリーダイヤル： 0120-333-020（使い方相談窓口） 0120-222-330（修理相談窓口） 携帯電話・PHS・一部のIP電話： 0466-31-2511（使い方相談窓口） 0466-31-2531（修理相談窓口） FAX：0120-333-389 ● 取扱説明書・リモコン等の購入相談は修理相談窓口へお問い合わせください。
ソニー株式会社	住所：〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

放送・サービスに関するお問い合わせ

有料BS/110度CSデジタル放送局

	問い合わせ先
WOWOW	電話番号：0120-580-807 受付時間：9:00 ～ 20:00（年中無休） ホームページ： http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル	電話番号：0570-013-111または 045-339-0399 受付時間：10:00 ～ 18:00（年中無休） ホームページ：http://www.star-ch.jp/

「スカパー！」について

	問い合わせ先
スカパー！カスタマーセンター	電話番号：0570-039-888 03-4334-7777（PHS、IP電話） 受付時間：10:00 ～ 20:00（年中無休） ホームページ： http://www.skyperfectv.co.jp/

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

	問い合わせ先
（社）デジタル放送推進協会（Dpa）	ホームページ：http://www.dpa.or.jp/

地上デジタル放送の受信相談について

	問い合わせ先
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話番号：0570-07-0101 受付時間：平日9:00 ～ 21:00 土・日・祝日9:00 ～ 18:00

B-CASカードについて

	問い合わせ先
B-CASカスタマーセンター	電話番号：0570-000-250 受付時間：10:00 ～ 20:00（年中無休）

アクトビラについて

	問い合わせ先
アクトビラ・カスタマーセンター	電話番号：0570-09-1017 受付時間：10:00 ～ 19:00年中無休（元旦除く） メールアドレス：info@desk.actvila.jp ホームページ：http://actvila.jp/（パソコン、携帯電話）

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデートして更新する機能が搭載されています。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。
お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

アップデート（ソフトウェア更新）の条件について

次の2つの条件を満たしていれば、アップデートが行われます。
条件1：地上デジタル放送またはBSデジタル放送を安定して受信できている。
条件2：［ソフトウェアアップデート］が［自動］（お買い上げ時の設定）になっている（107ページ）。
アップデートは、電源が「切」の時に行われます。

データのダウンロードの実行について

データのダウンロードは自動で行われます。

アップデートの実行について

本機がソフトウェア更新用のデータを正常に取得すると、電源が入っていないときソフトウェアの更新を自動的に開始します。電源が入っているときは電源を切った後で開始します。
ソフトウェア更新中は本機中央の白いランプが点滅し、表示窓に進行状況が表示されます。完了して表示窓が消灯するまで電源コードを抜かないでください。

ちょっと一言

- お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

アップデートが正常に完了すると

アップデートの完了を、本機からのお知らせで確認できます（99ページ）。

TSUTAYA TVについて

	問い合わせ先
TSUTAYA TVカスタマーサービス	電話番号：0570-002822 044-862-1902(PHS、IP電話) 受付時間：10:00 ～ 19:00 ホームページ：http://tsutaya-tv.jp/

T's TVについて

	問い合わせ先
T's TVカスタマーセンター	電話番号：0120-657-711 受付時間：月～金10：00 ～ 18：00（祝祭日除く） メールアドレス：support@cs.t-s.tv ホームページ：http://t-s.tv/

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

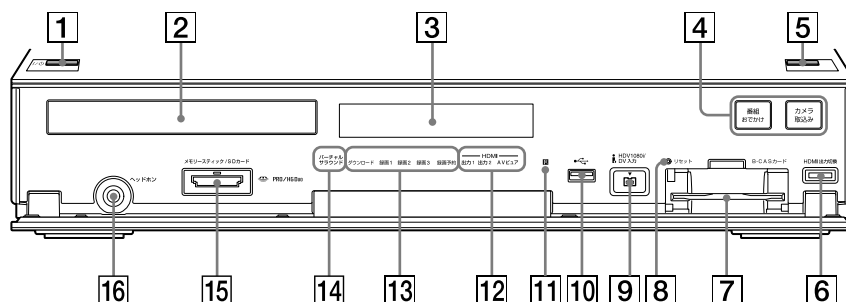
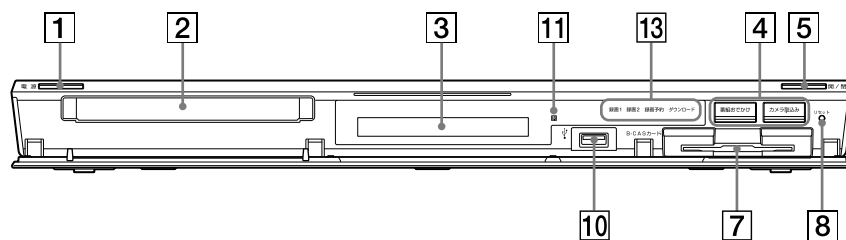
部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面

BDZ-EX3000

BDZ-ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500 / E500

イラストはBDZ-EW500です。

1 I/⏻電源ボタン

2 ディスクトレイ

3 表示窓（134）

4 番組おでかけボタン／ランプ*[1]（74）
カメラ取込みボタン／ランプ（81）

5 ⏏開／閉ボタン
ディスクトレイを開閉します。

6 HDMI出力切換ボタン（94、95）

7 B-CASカード挿入口

8 リセットボタン（118）

9 HDV1080i/DV入力端子（78）

10 ⭠ (USB)端子（74、77）

11 リモコン受光部 ▣

12 HDMI出力1/2/AVピュアランプ（94、95）

13 録画ランプ（24）
録画しているときに点灯します。
複数の番組を録画できる機種*[1]は、1番組録画中に録画1が、2番組同時録画中に録画2が、3番組同時録画中に録画3*[2]がそれぞれ点灯します。

録画予約ランプ（119）
録画予約が設定されているときに点灯します。

ダウンロードランプ（119）
インターネットサービスから映像（タイトル）をダウンロードしているときに点灯します。

ちょっと一言
- 録画予約ランプやダウンロードランプが点滅しているときは、119ページをご覧ください。

14 バーチャルサラウンドランプ（38）

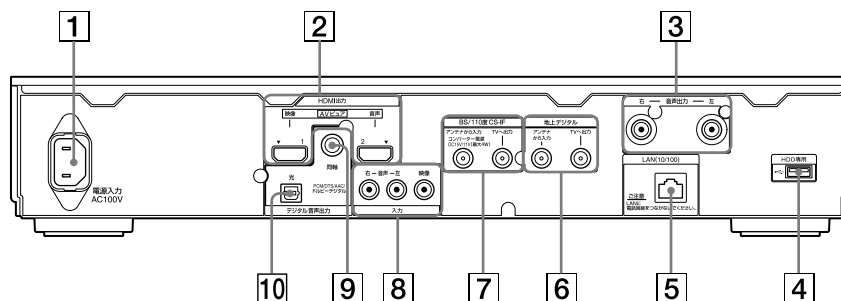
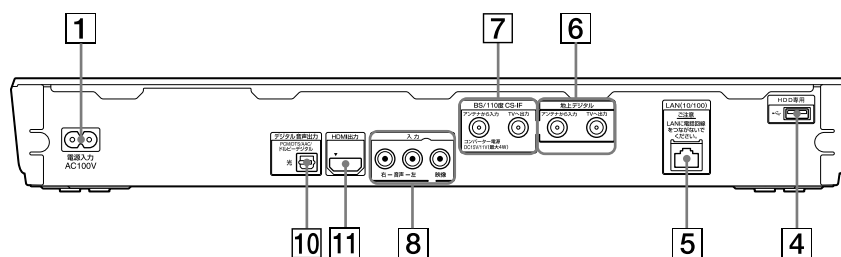
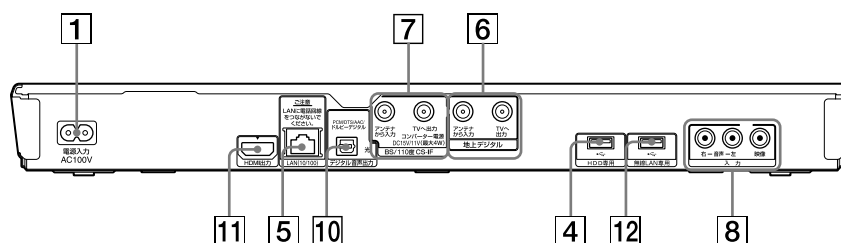
15 "メモリースティック デュオ"／ SDカードスロット（78）
メモリーカードランプ（78）

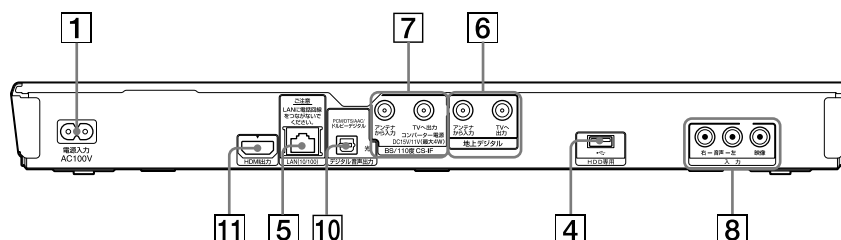
16 ヘッドホン端子（38）

*[1] 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

*[2] 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000。

本体後面

BDZ-EX3000

BDZ-ET2000 / ET1000

BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500

イラストはBDZ-EW500です。

BDZ-E500

1 電源入力端子

2 HDMI出力1/2端子(93、94)

3 音声出力端子(92、93)

4 (USB)HDD専用端子(96)

5 LAN(10/100)端子(42)

6 地上デジタル入力/出力端子(らくらくスタートガイド)

7 BS/110度CS-IF入力/出力端子(らくらくスタートガイド)

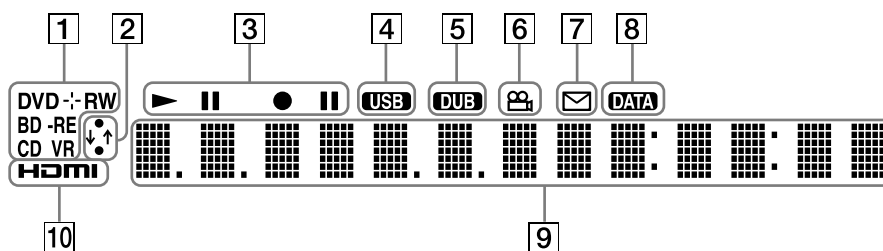
8 音声/映像入力端子(80、82、95)

9 デジタル音声出力 同軸端子(92)

10 デジタル音声出力 光端子(92)

11 HDMI出力端子(らくらくスタートガイド)

12 (USB)無線LAN専用端子(43)

表示窓

1 BD/DVD/CD表示（種類、記録フォーマット）
BDとDVD（またはCD）のハイブリッドディスクの場合は、BDを表示します。

2 通信表示
ネットワークで通信中であることを表示します。

3 HDD/BD/DVD再生記録表示
それぞれのディスクの再生／記録動作を表示します。

4 USB表示
本機前面のUSB端子へのUSB機器接続時に点灯、ダビング時やおでかけ／おかえり転送時*に点滅します。

5 ダビング表示
ダビング中に点灯します。

6 アングル表示
複数アングルの映像が記録されているときに点灯します。

7 お知らせ表示
未読のお知らせがあるときに点灯します。

8 番組表受信表示

9 再生経過時間／メッセージなどを表示

10 HDMI表示
HDMIケーブルで本機につないだ機器が、本機によって認識されているときに点灯します。

* 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

ちょっと一言
- ［本体表示の明るさ］で表示窓の明るさを設定できます（106ページ）。
- 電源が「切」のとき、表示窓は消灯します。

表示窓の表示文字

使用状況によって表示される内容は異なります。下記は表示窓に表示される文字の一例です。「2. 本機のメッセージを確かめる」（119ページ）もご覧ください。

起動などの処理中のとき

PLEASE WAIT

ビデオカテゴリーを選んだとき

HOME VIDEO

ソフトウェアアップデート実行中のとき*

UPDATE XX%

クイックタイマー動作中のとき*

HDD XXX

ディスク読み込み中のとき

LOAD

本機の設定を行っているとき

SETUP

ディスクフォーマット中のとき

FORMAT

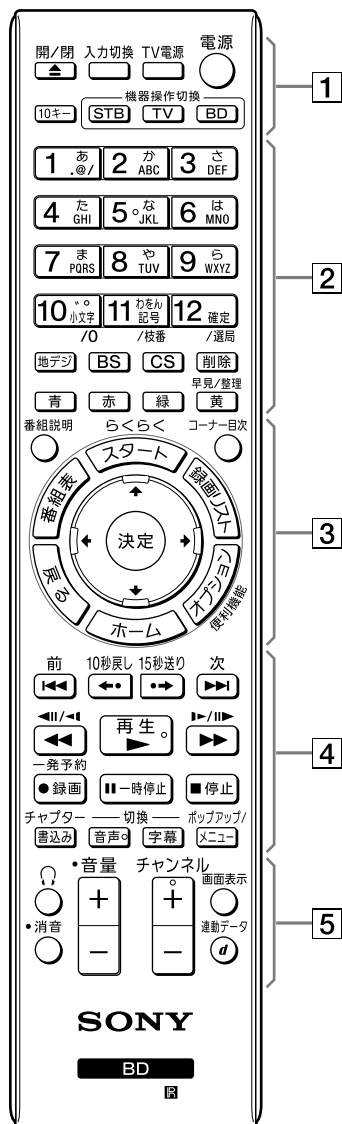
ファイナライズ中のとき

FINALIZE

録画終了処理中のとき

INFO WRITE

* XXには数字が表示されます。

リモコン

イラストはBDZ-EX3000のリモコンです。

*[1] 凸(突起)が付いています(数字ボタンは「5」のみ、《チャンネル+/-》ボタンは「+」のみ)。操作の目印としてお使いください。

*[2] 対象機種:BDZ-EX3000。

ちょっと一言

- 次のボタンを押すと、本機の電源が入ります。
  《録画リスト》ボタン/《らくらくスタート》ボタン/ ⏏《開/閉》ボタン/《ホーム》ボタン/《番組表》ボタン/ ►《再生》ボタン。

1

開/閉
ディスクトレイの開け閉めをします。

TV電源
テレビの電源を入/切します。

10キー
番組視聴中に、チャンネル番号を入力して選局するときに使います。

入力切換
本機の入力を切り換えます。

電源
本機の電源を入/切します。

機器操作切換(113)
他機器を操作するときに押します。操作時には光ります。

2

数字ボタン1 ～ 12*[1]
数字ボタンに登録されたチャンネルを選局したり、数字や文字を入力したりします(72、136ページ)。

削除(54)

地デジ/ BS / CS
(地上デジタル/ BSデジタル/ CSデジタル)放送を切り換えます。
同じボタンをくり返し押すと、テレビ→ラジオ→データの順で放送に合わせて切り換えます。

カラーボタン(10、30 ～ 32、34、136)

3

番組説明(154)

コーナー目次(49)

↑↓←→ /決定

戻る(11)

オプション(便利機能)(11、159)

らくらくスタート
「らくらくスタートガイド」をご覧ください。

番組表(10、16)

録画リスト(11)

ホーム

4

前(31)

次(31)

再生*[1](29)

一発予約/録画(24)

停止
録画、再生などを停止します。

音声切換*[1] /字幕切換(34)

10秒戻し/ 15秒送り(31)

◄II/◄I/◄◄(31)

II►/I►/►►(31)

一時停止(31)

チャプター書込み(33)

ポップアップ/メニュー(31)

5

🎧ヘッドホン音量*[2]
🎧《ヘッドホン音量》ボタンを押して点灯している間に、《音量+/-》ボタンと《消音》ボタンでヘッドホンの音量調節ができるようになります。音量/消音は表示窓で確認できます(134ページ)。

消音
音量を消します。

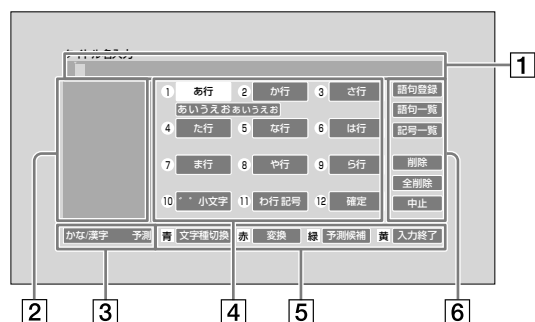
音量+/-
音量を調節します。

チャンネル+*[1] /-
チャンネルを切り換えます。

画面表示
その時の画面に合わせて情報を表示します。

***d*連動データ**
視聴中の番組とその番組に連動するデータ放送を切り換えます。

文字入力のしかた

文字入力画面は、文字を入力する項目を選ぶと表示されます。文字入力はキーワードで番組を検索したり、録画したタイトルの名前を変えたりするときに使います。

1 入力文字表示エリア
主な入力項目と最大文字数は次のとおりです。

	全角文字数	半角文字数
本機／外付けのハードディスク、BDに録画したタイトル名	40文字	80文字
BDディスク名	69文字	138文字
DVDディスク名	32文字	64文字
キーワード入力	10文字	20文字
タイトルマーク名	20文字	40文字
写真のアルバム名	16文字	32文字
外付けハードディスク名	16文字	32文字

2 候補パネルエリア
予測変換候補などを表示します。

3 入力文字／変換モードエリア
選んでいる入力文字の種類と、候補パネルの表示が予測候補文字か変換文字かを表示します。

4 文字選択／変換／確定ボタンエリア
リモコンの数字ボタン(《1》～《12》)を押して入力する方法と、↑↓←→で入力する方法があります(136ページ)。

5 機能ボタンエリア

項目	できること
文字種切換	《青》ボタンを押して文字の種類を切り換えます。
変換	《赤》ボタンを押して漢字／カタカナに変換したり、英字や数字入力中は全角／半角を切り換えたりします。
予測候補	《緑》ボタンを押して予測変換候補を表示します。英字入力中は大文字／小文字を切り換えます。
入力終了	《黄》ボタンを押して入力した文字を確定し、文字入力画面を終了します。

6 操作ボタンエリア

項目	できること
語句登録	入力文字表示エリアの語句を20件まで登録できます。
語句一覧	登録した語句の一覧を表示できます。登録解除もできます。
記号一覧	記号の一覧を表示できます。
削除	カーソルの後の1文字を削除できます。後に文字がないときは、前の1文字を削除できます。
全削除	入力した文字をすべて削除できます。
中止	文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアの文字は記録されません。

ちょっと一言

- 文字入力画面の[記号一覧]から選べる 二 (二か国語放送)や 字 (字幕放送)は、キーワード検索で使えます。

ご注意

- 電源コードを抜き差ししたり、再起動(リセット)したりすると、変換に関する学習データが削除されます。

文字を入力するには

1 文字を入力する。

数字ボタンで入力するには

対応する数字ボタンをくり返し押します。

↑↓←→で入力するには

[あ行]などを選び、《決定》ボタンを押します。

→で[お]など入力したい文字を選び、《決定》ボタンを押します。

2 変換する。

《赤》ボタンを押します。

3 候補パネルエリアから変換候補を選ぶ。

変換候補を選び、《決定》ボタンを押します。

4 入力を終了する。

《黄》ボタンを押します。

文字を挿入するには

入力文字表示エリアにカーソルを動かした後、挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。数字ボタンや↑↓←→を使って文字を入力します。入力時に文字が挿入されます。

主な仕様

システム

形式:BD ／ DVD ／ハードディスクレコーダー
受信チャンネル:地上デジタルチューナー:UHF、CATV
BS/110度CSデジタルチューナー:1032 ～ 2071MHz
アンテナ入出力:地上デジタル:75 Ω F型コネクター
BS/110度CS IF:75 Ω F 型コネクター
(コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、
芯線側＋、メニューにて自動／切を切り換え)
タイマー:
時計方式:クォーツクロック、12時間デジタル表示
映像記録方式:
MPEG-2(録画モードDR ／(DVDダビング)
MPEG-4 AVC(録画モードDR以外)／(おでかけ転送)*1
LAN録画／ LANムーブは送信元の方式のまま。
音声記録方式／ビットレート:
BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000:
Dolby Digital (2ch 256kbps/5.1ch 448kbps)(録画モードDR以外)
MPEG-4 AAC(おでかけ転送)*1
MPEG-2 AAC(録画モードDR)
MPEG-1 Layer2(HDVダビング)*2
LAN録画／ LANムーブは送信元のまま。

BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500:
Dolby Digital (2ch 256kbps/5.1ch 448kbps)(モードを変更してのダビング／外部入力録画)
MPEG-4 AAC(おでかけ転送)*1
MPEG-2 AAC
LAN録画／ LANムーブは送信元のまま。

*1 対象機種:BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。
*2 対象機種:BDZ-EX3000。

入力／出力端子

映像入力:入力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
音声入力:入力1系統、ピンジャック入力レベル:2 Vrms
(入力インピーダンス:22 kΩ以上)
音声出力:
BDZ-EX3000:出力1系統、ピンジャック出力レベル:
2 Vrms(負荷インピーダンス:10 kΩ)
デジタル音声出力:
BDZ-EX3000:
光:角型光ジャック1系統／ -18 dBm
(発光波長660 nm)
同軸:ピンジャック1系統／ 0.5 Vp-p/75 Ω
BDZ-ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500 / E500:
光:角型光ジャック1系統／ -18 dBm
(発光波長660 nm)
HDMI出力:
BDZ-EX3000:19ピン標準コネクター(TypeA)2系統
BDZ-ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500 / E500:19ピン標準コネクター(TypeA)1系統
HDV/DV入力:
BDZ-EX3000:i.LINK 4ピン HDV1080i/DV入力1系統
USB端子:
BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500:Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(デジタルカメラ、デジタルハイビジョンビデオカメラ、"メモリースティック"USBリーダー／ライター、"ウォークマン"、PSP®、PS Vita、携帯電話、"nav-u"接続用)
BDZ-E500:Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(デジタルカメラ、デジタルハイビジョンビデオカメラ、"メモリースティック"USBリーダー／ライター、"ウォークマン"、PSP®接続用)
USB HDD専用端子:
Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(外付けハードディスク接続用)
USB無線LAN専用端子:
BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500:
Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(USB無線LANアダプター接続用)
内蔵無線LAN:
BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000:
通信方式 IEEE 802.11a/b/g/n
メディアスロット:
BDZ-EX3000:メモリーカードスロット×1
("メモリースティック デュオ"／ SDメモリーカード スロット)
LAN端子:10BASE-T/100BASE-TX
(ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)
ヘッドホン端子:
BDZ-EX3000:標準ジャック

電源・その他

電源:AC100 V、50/60 Hz
消費電力(動作時／待機時*):
BDZ-EX3000:53W / 0.08W
BDZ-ET2000:40W / 0.05W
BDZ-ET1000:39W / 0.05W
BDZ-EW2000:28W / 0.05W
BDZ-EW1000:27W / 0.05W
BDZ-EW500:26W / 0.05W
BDZ-E500:24W / 0.05W
* スタンバイモード[低消費待機]、HDMI機器制御[切]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]時。
最長録画時間:12時間
最大チャプターマーク数:98個
最大録画番組数:ハードディスク:999、BD-R/RE:200
最大予約数:130件
写真の最大取り込み枚数:10,000枚
アルバムの最大数:200個
アルバム内の最大写真数:500枚
1フォルダから取り込める最大写真数:500枚
一度に取り込める最大写真数:4,000枚

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)(最大突起含む):
BDZ-EX3000:430×81×288 mm
BDZ-ET2000 / ET1000:430×57.5×292 mm
BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500:
430×46.5×239 mm

ハードディスク容量:
BDZ-EX3000:3テラバイト
BDZ-ET2000 / EW2000:2テラバイト
BDZ-ET1000 / EW1000:1テラバイト
BDZ-EW500 / E500:500ギガバイト

本体質量:
BDZ-EX3000:約6.1kg
BDZ-ET2000 / ET1000:約4.0kg
BDZ-EW2000 / EW1000:約2.8kg
BDZ-EW500 / E500:約2.6kg

許容動作温度/許容動作湿度:
5 ℃~ 35 ℃/ 25 %~ 80 %

付属品

- B-CASカード使用許諾契約約款(1部)。
- B-CASカード(1)(B-CASカードは台紙に貼り付けてあります)。
- リモコン(1個)。
- 単3形(R6)乾電池(2本)。
- アンテナケーブル(1本)。
- 電源コード(1本)*[1]。
- プラグアダプター(1個)*[2]。
- らくらくスタートガイド(1部)。
- 取扱説明書(本書)(1部)。
- 保証書(1部)。
- ソニーご相談窓口のご案内(1部)。

*[1] 付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。
*[2] 対象機種:BDZ-EX3000。

本機の省エネ対応について

本機動作時は、本体表示の明るさ設定(106ページ)によって消費電力を軽減できます。
待機時の消費電力と起動時間の関係については、次の表をご覧ください。表の数値は目安です。

対象機種:BDZ-EX3000

スタンバイモード	消費電力			起動時間*[5]
低消費待機	0.08W*[1]			約50秒(約60秒)
標準	0.2W*[1]	0.50W*[2] *[3]	約23W*[4]	約6秒(約25秒)
瞬間起動*[2]	約34W			約0.5秒(約3秒)

対象機種:BDZ-ET2000 / ET1000

スタンバイモード	消費電力			起動時間*[5]
低消費待機	0.05W*[1]			約50秒(約60秒)
標準	0.16W*[1]	0.43W*[2] *[3]	約17W*[4]	約5秒(約20秒)
瞬間起動*[2]	BDZ-ET2000:約22W BDZ-ET1000:約21W			約0.5秒(約3秒)

対象機種:BDZ-EW2000 / EW1000 / EW500 / E500

スタンバイモード	消費電力			起動時間*[5]
低消費待機	0.05W*[1]			約50秒(約60秒)
標準	0.11W*[1]	0.43W*[2] *[3]	約12W*[4]	約5秒(約12秒)
瞬間起動*[2]	BDZ-EW2000:約17W BDZ-EW1000:約17W BDZ-EW500:約16W BDZ-E500:約15W			約0.5秒(約3秒)

*[1] [HDMI機器制御](107ページ)[切]、[BS/CSデジタルアンテナ出力](103ページ)[切]時。
*[2] [HDMI機器制御](107ページ)[入]、[BS/CSデジタルアンテナ出力](103ページ)[入]時。
*[3] お買い上げ時の設定状態です。
*[4] [リモート機器登録](109ページ)ありのとき。
*[5] 本機の画面が表示されるまでの時間です。( )内は記録/再生などの操作可能になるまでの時間です。

ご注意

- [スタンバイモード]を[瞬間起動]にすると、1日最大6時間が表中の消費電力となり、それ以外の時間は[標準]の消費電力となります。
- 起動時間は本機内に録画されたコンテンツの数などにより、遅くなることがあります。

利用できるディスク一覧

本機で録画／ダビングできるディスク（12cmのみ）

	BD-RE	BD-R	DVD-RW（VR）	DVD-RW（ビデオ）	DVD-R（VR）	DVD-R（ビデオ）
対応バージョン／倍速	Ver.2.1（1層／2層）、Ver.3.0（3層）に対応した2倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2/1.3（1層／2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（3層／4層）に対応した4倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2　CPRMに対応した6倍速メディアまで		Ver.2.0/2.1　CPRMに対応した16倍速メディアまで	
本機で行いたいこと						
デジタル放送番組の録画*1	○	○	×	×	×	×
デジタル放送、ビデオカメラ映像をハイビジョン画質のままダビング	○	○	×	×	×	×
デジタル放送番組などの録画映像を標準画質でダビング	○	○	○（CPRM）	×	○（CPRM）	×
他機器から取り込んだ映像を標準画質でダビング	○	○	○	○	○	○
二か国語放送の両音声を記録	○*2	○*2	×	×	×	×
文字放送の字幕を記録	○*3	○*3	×	×	×	×
文字放送の字幕をダビング*4	○	○	○	○	○	○
1つのタイトルに16:9/4:3の映像を混在して記録	○*3	○*3	×	×	×	×
ディスク上のタイトルを編集	○	○	×	×	×	×
静止画のHDD→ディ スク書き出し	○	○	×	○*5	×	○*6
ディスクの互換性	多くのBD機器で再生可能*7	多くのBD機器で再生可能*7	VRモード対応の機器で再生可能	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）	VRモード対応の機器で再生可能（要ファイナライズ）	多くのDVD機器で再生可能（要ファイナライズ）

*1 次の映像・番組は直接録画できません。
– インターネットサービス。
– LAN経由のCATV ／「スカパー！ HD」対応チューナーの番組。

*2 録画モードがDRモードのときのみ（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000）。

*3 録画モードがDRモードのときのみ。

*4 DRモードで録画した字幕付きデジタル放送の番組を、録画モードがDRモード以外で字幕をダビングするときは、［字幕焼きこみ］の設定が必要です（104ページ）。

*5 書き出しの操作手順にてディスクを初期化する確認画面が表示され、初期化が必要となります。

*6 新品ディスクにのみ書き出せます。

*7 DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。BD-RE XL（3層）／ BD-R XL（3層／4層）は、BD-RE XL（3層）／ BD-R XL（3層／4層）に対応したBD機器で再生できます。

本機への取り込み／再生できる他機器録画ディスク

本機は12cmと8cmの両方のディスクに対応しています。

BD	BD-RE（1層／2層／3層）／BD-R（1層／2層／3層／4層）
DVD	DVD-RW（VR ／ビデオ）*1 *2
	DVD-R/DVD-R DL（2層）（VR ／ビデオ）*1 *2
	DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL（2層）*1 *2
	DVD-RAM*3
CD	CD-R/CD-RW（CD-DA）*2 *4

*1 AVCHD方式で録画したディスクも可能。

*2 他機器で記録したディスクは、記録した機器でファイナライズ処理が必要です。

*3 DVD-RAMは、Ver.2.0、Ver.2.1、Ver.2.2に対応。カートリッジ方式（Type1を除く）のDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出してお使いください。

*4 CD-R/CD-RWは、静止画と音楽が取り込めます。

再生のみできるディスク

BD	BD-ROM
DVD	DVDビデオ
CD	CD（CD-DA）
	Super Audio CD*

* CDレイヤーのみ。

ご注意

- 表に記載のないディスクは、本機で対応していません。
- 大切な録画やダビングを行う場合には、BD-REなどのくり返し録画できるディスクや本機／外付けのハードディスクで必ず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 本機でダビングしたDVD-RW（VR）やDVD-R（VR）は、DVD-RW（VR）やDVD-R（VR）対応プレーヤーでのみ再生できます。通常のDVDプレーヤーでは再生できませんのでご注意ください。

- 2層など複数レイヤー（層）のBD/DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるときに映像·音声が一瞬途切れることがあります。
- 他機器で録画したBD-REやBD-Rは、録画や再生、編集ができないことがあります。
- 記録済みのBD-RE/BD-R、DVD+RW/DVD+R、DVD-RW/DVD-R、DVD-RAM、またはCD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、BD/DVD/CD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、BD-RE/BD-R、DVD-RAM以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないDVD、CDは再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機器で録画したディスクは、ディスク情報画面で正しく表示されないことがあります。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rに録画した場合、MPEG-4 AVC方式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。
- パソコンで記録したデータのうち、本機で読み込めないデータは、削除されることがあります。

以下のことはできません

- 地域番号（リージョンコード）が「A」を含まないBD-ROMを再生すること。
- 地域番号（リージョンコード）が「2」や「ALL」以外のDVDを再生すること。
- NTSC以外のカラーテレビ方式で記録されたディスクを再生すること。
- 1枚のDVD-RWやDVD-RにVRとビデオモードを同時に設定すること。
  記録フォーマットを変更するときは、もう一度ダビング時に初期化してください（64ページ）。ただし、それまでにダビングした内容は削除されます。またDVD-R（VR ／ビデオモード）は再度初期化できません。
- DVD-RW/DVD-Rを単独で初期化すること。
  ダビング時にのみ初期化できます。BD-REは、オプションメニューから単独で初期化できます。
- デジタルカメラで作成したフォトムービーなどを本機に取り込むこと。

録画モードと録画／ダビング可能時間について

表の数値は目安です。記録する内容によって変化することがあります。

本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります（長時間録画のモードでは、特にその差が著しくなります）。残量に余裕がある状態で記録してください。

- DRモードでの録画は、放送により転送レートが異なるため、本機の表示が実際と異なることがあります。本機では、残量表示は24Mbps、録画時の使用容量は、地上デジタル放送は17Mbps、BS/110度CSデジタル（HD）放送は24Mbpsをもとに計算しています。

本機のハードディスク／ BDの録画モードと録画可能時間

		HDDへの録画可能時間*1（目安）				BDへの録画可能時間*1（目安）			
録画モード		BDZ-EX3000	BDZ-ET2000/EW2000	BDZ-ET1000/EW1000	BDZ-EW500/E500	1層（25GB）	2層（50GB）	3層（100GB）	4層（128GB）
DR（デジタル放送画質*2）									
	地上デジタル（HD）放送録画時	約382時間	約250時間	約122時間	約58時間	約3時間	約6時間5分	約12時間20分	約15時間45分
	BS/110度CSデジタル（HD）放送録画時	約270時間	約177時間	約87時間	約41時間	約2時間10分	約4時間20分	約8時間45分	約11時間10分
	地上・BS/110度CSデジタル（SD）放送録画時	約590時間	約387時間	約190時間	約91時間	約4時間40分	約9時間30分	約19時間5分	約24時間25分
	HDV1080iの映像取り込み時*3	約240時間	—	—	—	約1時間55分	約3時間50分	約7時間45分	約9時間55分
XR（AVC16M）	（高画質）	約398時間	約261時間	約128時間	約61時間	約3時間10分	約6時間25分	約12時間50分	約16時間25分
XSR（AVC11M）		約572時間	約375時間	約184時間	約88時間	約4時間35分	約9時間10分	約18時間25分	約23時間35分
SR（AVC8M）	（標準）	約762時間	約500時間	約245時間	約117時間	約6時間5分	約12時間15分	約24時間35分	約31時間30分
LSR（AVC4M）		約1,525時間	約1,001時間	約490時間	約235時間	約12時間10分	約24時間35分	約49時間15分	約63時間
LR（AVC3M）		約2,166時間	約1,422時間	約696時間	約334時間	約17時間20分	約34時間55分	約70時間	約89時間30分
ER（AVC2M）	（長時間録画）	約3,051時間	約2,003時間	約981時間	約470時間	約24時間25分	約49時間10分	約98時間35分	約126時間5分

*1 次のようなときに録画時間が異なることがあります。
- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合。
- 編集されたBDに追加して録画する場合。
- 静止画像や音声のみを録画し続けた場合。
- 動きの激しい動画を録画した場合。
- ［高速転送録画］を［入］に設定した場合（105ページ）、HDDの録画時間が短くなります（対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500）。

*2 デジタル放送をそのままの画質で録画できます（標準テレビ放送（SD）の番組は、そのままのSD画質で録画されます）。LAN経由のCATV録画でも、放送によって画質は異なります。

*3 対象機種：BDZ-EX3000。

本機のハードディスクからBDへの高速ダビング所要時間（60分番組の場合）

表中の所要時間は目安です。ディスク管理情報の作成時間も加わります。
ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間が変わります。

録画モード		2倍速メディア使用時	4倍速メディア使用時	6倍速メディア使用時
DR	地上デジタル（HD）放送	約14分35秒	約7分40秒	約5分15秒
	BS/110度CSデジタル（HD）放送	約20分35秒	約10分45秒	約7分25秒
	地上･BS/110度CSデジタル（SD）放送	約9分30秒	約5分00秒	約3分25秒
	HDV1080i	約23分10秒	約12分05秒	約8分25秒
XR	（高画質）	約14分20秒	約7分30秒	約5分10秒
XSR	↑	約10分00秒	約5分15秒	約3分35秒
SR	（標準）	約7分30秒	約3分55秒	約2分45秒
LSR		約3分45秒	約2分00秒	約1分25秒
LR	↓	約2分40秒	約1分25秒	約1分00秒
ER	（長時間録画）	約1分55秒	約1分00秒	約0分40秒

本機のハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間

ダビングモード		DVDへの記録可能時間*（目安）
XP	（高画質）	約1時間
XSP	↑	約1時間30分
SP	（標準）	約2時間
LSP	↓	約2時間30分
LP	（長時間録画）	約4時間

* 次のようなときに記録時間が異なることがあります（XSP ～ LPのみ対象）。
  – 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組をダビングする場合。
  – 編集されたDVDに追加してダビングする場合。
  – 静止画像や音声のみのタイトルをダビングした場合。

「スカパー！ HD」対応チューナーが受信する番組と本機の録画可能時間

「スカパー！ HD」対応チューナーと本機では、録画時間の残量表示が異なる場合があります。
録画可能時間について詳しくは、下記のホームページをご覧いただくか、スカパー！カスタマーセンター（129ページ）までお問い合わせください。
ホームページ：http://sptvhd.jp/rokuga

「スカパー！ HD」対応チューナーが受信する番組	本機の録画可能時間			
	BDZ-EX3000	BDZ-ET2000 / EW2000	BDZ-ET1000 / EW1000	BDZ-EW500 / E500
スカパー！ハイビジョンチャンネル	約720時間 （390 ～ 900時間）*	約480時間 （約260 ～ 600時間）*	約240時間 （約130 ～ 300時間）*	約120時間 （約65 ～ 150時間）*
スカパー！ 3Dチャンネル	約450時間	約300時間	約150時間	約75時間
スカパー！標準画質チャンネル	約1,230時間 （780 ～ 2,370時間）*	約820時間 （約520 ～ 1,580時間）*	約410時間 （約260 ～ 790時間）*	約205時間 （約130 ～ 395時間）*

* 録画可能時間は録画する番組により異なります。（ ）の時間は変動する録画可能時間の目安です。

本機で取り込み／再生できるアルバムや写真について

本機で取り込み／再生できる写真は、圧縮方式がJPEG方式やMPO方式で、ファイル名形式がDCF形式*[1]のものです。

*[1] (社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"のことです。

各メディア直下(ルート)を第1階層とした場合、本機は4階層目までに保存した写真を認識します。

ご注意

- ファイル名、フォルダ名がISO9660のレベル1、レベル2、拡張フォーマット(Joliet)に準拠していない場合、正しく表示されないことがあります。
- 501個以上のファイル*[2]やフォルダを1つの階層で表示できません。500個を超えた場合は、一部表示されません。

*[2] JPEG/MPO以外のファイルも含む。

- 次のファイルを再生すること、ハードディスクに取り込むことはできません。画面上の写真の一覧には表示されますが、再生すると が表示され再生できません。
  - 縦や横のいずれかが、16,384ドット以上の写真。
  - 縦や横のいずれかが、15ドット以下の写真。
  - ファイルサイズが64MBを超える写真。
  - 横縦のサイズ比が50：1より横長、または1：50より縦長の写真。
  - プログレッシブJPEG形式の写真。
  - BD-RにUDF2.6以外で記録された写真。
  - BD-REにUDF2.5以外で記録された写真。
- 3D以外のMPOファイルは、代表画像または先頭画像のみ表示されます。
- MPOファイルを表示するには、接続先機器のUSB接続設定を標準(Mass Storageモード)にしてつないでください。

i.LINK(アイリンク)について

対象機種：BDZ-EX3000

本機のデジタルカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルカメラ用HDV1080i/DV入力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

ちょっと一言

- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。

S100(最大転送速度　約100Mbps*)
S200(最大転送速度　約200Mbps)
S400(最大転送速度　約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

本機の最大転送速度は「S100」です。

最大データ転送速度が異なる機器とつないだ場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は入力専用です。また、本機のi.LINK端子(HDV1080i/DV入力端子)は、MICROMV方式のデジタルカメラのi.LINK端子(MICROMV信号)、および地上デジタルハイビジョンテレビ、地上デジタルチューナー、BSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子(MPEG-TS信号)とは信号が異なるため、接続できません。使用方法については78、81ページをご覧ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン ←→ 4ピン（HDV/DVダビング時）

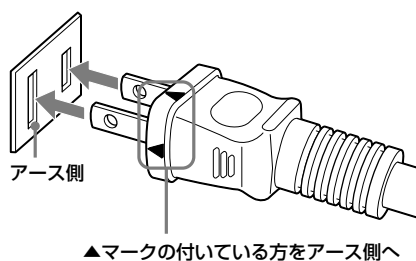
本機器はIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000規格に準拠しています。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。

電源コードの極性について

本機の電源コードの極性を次のように合わせてつなぐことで、よりよい音質で音声を楽しめます。

電源コード（付属）のプラグにある▲マークを、コンセントの差し込み口の長い方（アース側）に差し込みます。差し込み口に長短がない場合は、どちらの向きに差し込んでも問題はありません。

言語コード一覧

詳しくは、104ページをご覧ください。

1027	Afar	1345	Malagasy
1028	Abkhazian	1347	Maori
1032	Afrikaans	1349	Macedonian
1039	Amharic	1350	Malayalam
1044	Arabic	1352	Mongolian
1045	Assamese	1353	Moldavian
1051	Aymara	1356	Marathi
1052	Azerbaijani	1357	Malay
1053	Bashkir	1358	Maltese
1057	Belarusian	1363	Burmese
1059	Bulgarian	1365	Nauru
1060	Bihari	1369	Nepali
1061	Bislama	1376	Dutch
1066	Bengali; Bangla	1379	Norwegian
1067	Tibetan	1393	Occitan
1070	Breton	1403	(Afan)Oromo
1079	Catalan	1408	Oriya
1093	Corsican	1417	Punjabi
1097	Czech	1428	Polish
1103	Welsh	1435	Pashto; Pushto
1105	Danish	1436	Portuguese
1109	German	1463	Quechua
1130	Bhutani	1481	Rhaeto-Romance
1142	Greek	1482	Kirundi
1144	English	1483	Romanian
1145	Esperanto	1489	Russian
1149	Spanish	1491	Kinyarwanda
1150	Estonian	1495	Sanskrit
1151	Basque	1498	Sindhi
1157	Persian	1501	Sangho
1165	Finnish	1503	Singhalese
1166	Fiji	1505	Slovak
1171	Faroese	1506	Slovenian
1174	French	1507	Samoan
1181	Frisian	1508	Shona
1183	Irish	1509	Somali
1186	Scots Gaelic	1511	Albanian
1194	Galician	1512	Serbian
1196	Guarani	1513	Siswati
1203	Gujarati	1514	Sesotho
1209	Hausa	1515	Sundanese
1217	Hindi	1516	Swedish
1226	Croatian	1517	Swahili
1229	Hungarian	1521	Tamil
1233	Armenian	1525	Telugu
1235	Interlingua	1527	Tajik
1239	Interlingue	1528	Thai
1245	Inupiak	1529	Tigrinya
1248	Indonesian	1531	Turkmen
1253	Icelandic	1532	Tagalog
1254	Italian	1534	Setswana
1257	Hebrew	1535	Tonga
1261	Japanese	1538	Turkish
1269	Yiddish	1539	Tsonga
1283	Javanese	1540	Tatar
1287	Georgian	1543	Twi
1297	Kazakh	1557	Ukrainian
1298	Greenlandic	1564	Urdu
1299	Cambodian	1572	Uzbek
1300	Kannada	1581	Vietnamese
1301	Korean	1587	Volapük
1305	Kashmiri	1613	Wolof
1307	Kurdish	1632	Xhosa
1311	Kirghiz	1665	Yoruba
1313	Latin	1684	Chinese
1326	Lingala	1697	Zulu
1327	Laothian	1703	無指定
1332	Lithuanian		
1334	Latvian; Lettish		

言語名表記はISO639：1988（E/F）に準拠

商標について

- "ブラビアリンク"および"BRAVIA Link™"は、ソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、Blu-ray 3D™、BD-LIVE™、BONUSVIEW™、BDXL™、及びロゴはBlu-ray Disc Associationの商標です。
- "DVD ロゴ"はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー 及び ダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはDTS, Inc.の登録商標です。そして、DTS-HD Master Audio | EssentialはDTS, Inc.の商標です。
  Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS-HD, the Symbol, & DTS-HD and the Symbol together are registered trademarks & DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- i.LINKは、IEEE1394を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ"" はソニーの商標です。
- "XMB"は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- "PSP"、"PS Vita"および"PlayStation"は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- "AVCHD"はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DLNA™, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- "メモリースティック"、"メモリースティック デュオ"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"メモリースティック マイクロ"（"M2"）および " MEMORY STICK " は、ソニー株式会社の商標です。
- "MagicGate"（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。
  "MagicGate Type-R for Secure Video Recording"（以下 MG-R(SVR) ）は "MG-R(SVR) for Memory Stick PRO"および"MG-R(SVR) for EMPR"は Dpa（地上波 デジタル推進協会）からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。
- "Embedded Memory with Playback and Recording Function System" (以下 "EMPR") は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名です。
- この製品はメモリースティックセキュアビデオ規格および"EMPR"規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for Memory Stick PRO"および"MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR"を利用しています。
- HDVはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN" ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- "Sony Tablet"、"nav-u"はソニー株式会社の商標です。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- JavaおよびすべてのJava関連のマークは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- マーク、 acTVila および「acTVila」、「アクトビラ」は、㈱アクトビラの商標または登録商標です。
- 「TSUTAYA TV」 は、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の登録商標です。
- DCS－人名辞書データ (著作権者・提供者：日外アソシエーツ株式会社)
- DCS－ニュース・シソーラス 第四版
  - 新聞・放送ニュース検索のための主題14000語：著編者・廣木守雄、服部信司〔編〕／提供：日外アソシエーツ株式会社
- Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。
- 「Xperia」はSony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各社の登録商標あるいは商標です。なお、TM、®マークは省略している場合があります。

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、下記のソフトウェア使用許諾契約書とソフトウェアライセンスの各お知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」とします)は、お客様(以下「使用者」とします)と弊社(以下「ソニー」とします)との間で、ご購入頂いたブルーレイディスクレコーダー(以下「本製品」とします)に含まれるソフトウェア(以下「許諾ソフトウェア」とします)の使用許諾に関する条件について規定するものです。なお、許諾ソフトウェアには、ソニーが許諾を受けている第三者のソフトウェアが含まれており、本契約と下記のソフトウェアライセンスの各お知らせに記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬などがある場合には、各お知らせにかかるソフトウェアの範囲において、各お知らせに記載されております使用許諾条件が優先致します。

第1条(総則)

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条(使用権)

1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも貸与または頒布する事はできません。

第3条(許諾条件)

1. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書に記載の使用方法に沿って使用するものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等の一部または全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を再使用許諾、貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
7. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
8. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の著作権もしくは商標にかかる表示等の一部または全部を除去、変更、追加してはならないものとします。
9. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切(全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書および本契約書を含みます)を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェアおよび前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することが出来るものとします。なお、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者(以下原権利者とします)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(ソニーおよび原権利者の免責)

ソニーおよび原権利者は、許諾ソフトウェアについて何等の保証を行うものではなく、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条(第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条(自動アップデート)

1. 許諾ソフトウェアにはソニーまたはソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。使用者が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、アップデートをするか否かを問わせる設定にした場合で且つ使用者がアップデートの実行を拒否した場合、使用者による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。
2. 使用者は、前項に従い自動アップデートの機能を有効にした場合、(A)許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、および(B)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあることに同意するものとします。

第8条(秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第9条(契約の解除)

ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

(1) 本契約に定める条項に違反したとき
(2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第10条(許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れするものとします。

第11条(許諾ソフトウェアの更新)

1. 使用者が、ネットワークからのダウンロード(第7条に定める自動アップデートを含む)あるいはソニーが提供または販売する更新用CDにより許諾ソフトウェアの更新を行う場合、更新後のソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。ただし、ソニーより別の契約条件が提示される場合はこの限りではありません。なお、使用者は、更新用CDを許諾ソフトウェアの更新以外の目的で使用しないものとします。
2. 前項に定める更新を行った結果、本製品に何らかの不都合が生じた場合には、ソニーの相談窓口へお問い合わせください(129ページ)。

第12条(その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel.tar.gz
pump
lrzsz
busybox
gcc
glibc
dosfstools
lzo
mkcramfs
hostname
scfs
libptp
libusb
procps
e2fsprogs
coreutils
NOE_driver
RestrictThread
ltt-control
xz
iwconfig
rpm
gdisk

これらのソースコードは、Webでご提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。
以下、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE の原文を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The Licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share

その他

and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes

make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999
Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are

not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and assessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

OpenSSLソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL（「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む）」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
パッケージ名 sony-target-dev-openssl-0.9.8g-05000408.src.rpm

<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Original SSLeay

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative

thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

FREETYPE SOFTWARE

Copyright 1996-2002, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction
============
The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products.
We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:
"""
Portions of this software are copyright c <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms
===========
0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org
  Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.
- freetype-devel@nongnu.org
  Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

http://www.freetype.org

NetBSDソフトウェアに関するお知らせ

BSD License

Copyright (c) 1994-2004 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by Adam Glass.
This product includes software developed by Bill Paul.
This product includes software developed by Charles M. Hannum.
This product includes software developed by Christian E. Hopps.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Christos Zoulas.
This product includes software developed by Gardner Buchanan.
This product includes software developed by Gordon W. Ross
This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
This product includes software developed by Rolf Grossmann.
This product includes software developed by TooLs GmbH.
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.
This product includes software developed for the NetBSD

Project by Matthias Drochner..

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
パッケージファイル名 sony-target-dev-libjpeg-6b-05000401.src.rpm

以上

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:
The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (c) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

PuTTYソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、PuTTYソフトウェアの一部のコードが搭載されております。
ソースパッケージ：putty-0.58.tar.gz
ライセンス条文：http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html

PuTTY is copyright 1997-2006 Simon Tatham.

Portions copyright Robert de Bath, Joris van Rantwijk, Delian Delchev, Andreas Schultz, Jeroen Massar, Wez Furlong, Nicolas Barry, Justin Bradford, Ben Harris, Malcolm Smith, Ahmad Khalifa, Markus Kuhn, and CORE SDI S.A.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SIMON TATHAM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

fdlibmソフトウェアに関するお知らせ

@(#)fdlibm.h 1.5 95/01/18
Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunSoft, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted,provided that this notice is preserved.

Root Certificatesに関するお知らせ

In addition, the Runtimes and Runtime Components may contain one or more root certificates (herein referred to as "Root Certificates"). You may not modify the Root Certificates.

Nano-XMLに関するお知らせ

Copyright (C) 2000-2002 Marc De Scheemaecker, All Rights Reserved.
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

MPEG-2 Videoに関するお知らせ

ANY USE OF THIS PRODUCT OTHER THAN CONSUMER PERSONAL USE IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-2 STANDARD FOR ENCODING VIDEO INFORMATION FOR PACKAGED MEDIA IS EXPRESSLY PROHIBITED WITHOUT A LICENSE UNDER APPLICABLE PATENTS IN THE MPEG-2 PATENT PORTFOLIO, WHICH LICENSE IS AVAILABLE FROM MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206.

MPEG-4 AVCおよびVC-1に関するお知らせ

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE AND THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO

(i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO")
AND/OR
(ii)DECODE AVC VIDEO AND VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD THAT WERE ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND

NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://MPEGLA.COM <HTTP://MPEGLA.COM>

SEEに関するお知らせ

Copyright (c) 2003, 2004
David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Mr Leonard nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY DAVID LEONARD AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL DAVID LEONARD OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

Anti-Grain Geometryに関するお知らせ

The Anti-Grain Geometry Project
A high quality rendering engine for C++
http://antigrain.com

Anti-Grain Geometry - Version 2.3
Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies.
This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

libpixmanに関するお知らせ

libpixregion

Copyright 1987, 1998 The Open Group

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

Copyright 1987 by Digital Equipment Corporation, Maynard, Massachusetts.

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Digital not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

DIGITAL DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL DIGITAL BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----

libic

Copyright © 2001 Keith Packard

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Keith Packard not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Keith Packard makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

KEITH PACKARD DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL KEITH PACKARD BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----

slim

slim is Copyright © 2003 Richard Henderson

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Richard Henderson not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Richard Henderson makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

RICHARD HENDERSON DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL RICHARD HENDERSON BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

expatに関するお知らせ

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

CURLに関するお知らせ

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2008, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

802.11 WLAN driverに関するお知らせ

802.11 WLAN driver

Copyright held by
  Sam Leffler, Errno Consulting,
  Atsushi Onoe,
  Atheros Communications, Inc.
  Video54 Technologies, Inc.
  The Regents of the University of California.
  Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
  Jonathan Stone and Jason R. Thorpe
  Gunter Burchardt, Local-Web AG

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY copyright holder "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL copyright holder BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

WPA Supplicantに関するお知らせ

WPA Supplicant

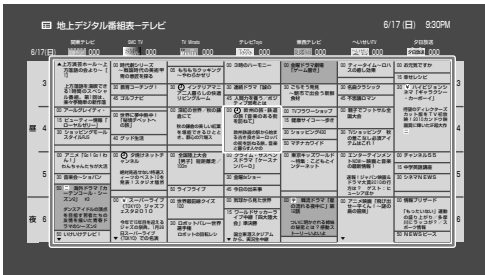
Copyright (c) 2002-2011, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

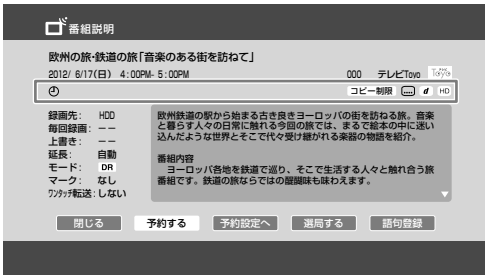
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

画面別アイコン一覧

番組表（10ページ）

アイコン	説明
●（赤）	録画中の番組
（赤）	録画予約されている番組
（灰）	予約の一部が録画できない番組
（赤）	日時指定予約されている番組
（灰）	日時指定予約のうち、一部が録画できない番組
¥	有料番組

番組説明

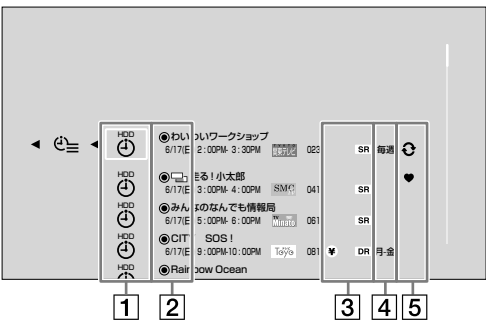
番組説明は、番組視聴中などにリモコンの《番組説明》ボタンを押すと表示できます。

アイコン	説明
●（赤）	録画中の番組
（赤）	録画予約されている番組
（灰）	予約の一部が録画できない番組
¥	有料番組
契約済	契約済みの番組
未契約	未契約の番組
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
録画不可	コピー制御信号により、録画できない番組

アイコン	説明
	視聴年齢制限付き番組
	字幕放送
d	テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送
HD	デジタルハイビジョン信号の番組
SD	標準テレビ信号の番組
ラジオ	ラジオ放送

x-おまかせ・まる録設定一覧（22ページ）

アイコン	説明
HDD★／USB★（緑）	本機／外付けのハードディスクへ自動録画する場合の、デジタル放送おすすめ設定
★（灰）	自動録画しない場合のデジタル放送おすすめ設定
HDD／USB（白）	本機／外付けのハードディスクへ自分で設定したおまかせ設定
HDD／USB（青）	本機／外付けのハードディスクへ設定した、プリセットキーワードのおまかせ設定

予約リスト（20ページ）

1

アイコン	説明
HDD	本機のハードディスクへの録画予約
BD	BDへの録画予約
USB	外付けハードディスクへの録画予約
HDD	本機のハードディスクへのリモート／ネットワーク録画予約。「見て録」を利用して番組を録画しているときも表示
BD	BDへのリモート／ネットワーク録画予約
USB	外付けハードディスクへのリモート／ネットワーク録画予約。「見て録」を利用して番組を録画しているときも表示

2

アイコン	説明
	複数の予約が重なっている場合、優先順が下位の番組
●（赤）	録画予約した番組を録画しているときに表示
●（青）	同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画可能
●（灰）	録画不可 • 録画先に設定されたディスクが残量不足の場合。 • 他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性がある場合。 • 録画に対応したディスクが挿入されていない場合。 • 番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合。
⚠	対象番組なし 予約に該当する番組を追跡できない可能性がある場合に表示

3

アイコン	説明
¥	有料番組
DR など	録画時の録画モード

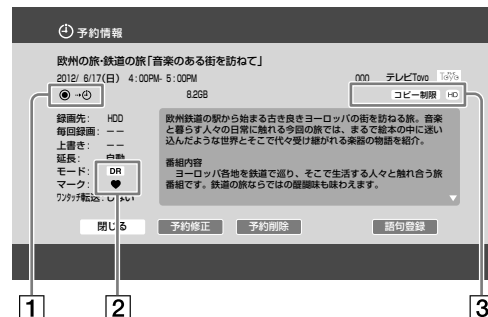
4

アイコン	説明
毎週など	毎回録画で予約した場合に表示

5

アイコン	説明
など	録画予約時に設定したマーク
	毎回録画で前回のタイトルを上書きする場合に表示

予約情報

予約情報は、予約リスト（20ページ）を表示中にオプションメニューから［情報表示］を選ぶと表示できます。

1

アイコン	説明
	リモート／ネットワーク録画予約、または「見て録」を利用して番組を録画している場合に表示
スポーツ	スポーツ延長自動対応機能によって、延長対象になった場合に表示

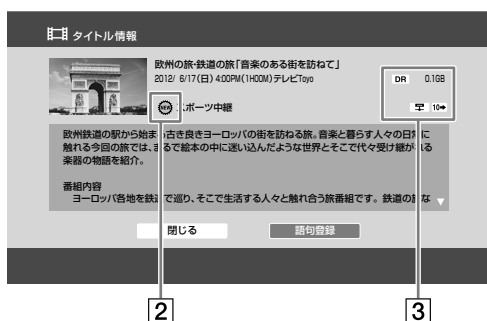
2

アイコン	説明
DR など	録画時の録画モード
など	録画予約時に設定したマーク

3

アイコン	説明
¥	有料番組
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
	視聴年齢制限付きの番組で、設定されている制限レベルに該当するため年齢制限を解除して予約したとき表示
	字幕がある番組のとき表示
d	連動データがある番組のとき表示
HD	デジタルハイビジョン信号の番組
SD	標準テレビ信号の番組

タイトルリスト、タイトル情報、タイトルダビング、おでかけ転送*[1]（27、63、74ページ）

タイトル情報は、タイトルリストを表示中にオプションメニューから[情報表示]を選ぶと表示できます。

1

アイコン	説明
（年月）	録画日時で分類されたタイトルグループ
（ジャンル）	番組データのジャンルで分類されたタイトルグループ
（予約）	予約の種類ごとに分類されたタイトルグループ
（おまかせ・まる録）	x-おまかせ・まる録の録画条件で分類されたタイトルグループ
（記録時間）	タイトル再生にかかる時間で分類されたタイトルグループ
（マーク）	マークごとに分類されたタイトルグループ
（プレイリスト）	プレイリストグループ。x-Pict Story HDや他機器のタイトルから作成したプレイリストは含まれません
（ダウンロード）	インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのうち、視聴期限のないタイトルグループ。
（レンタル）	インターネットサービスからダウンロードしたタイトルのうち、視聴期限のあるタイトルグループ。
（x-Pict Story）	x-Pict Story HDのビデオ作品（または、そのプレイリスト）のグループ
（ビデオカメラ映像）	他機器のタイトルグループ。8cm DVDから本機のハードディスクへダビングしたタイトル、HDV1080i/DV入力端子から録画したタイトル*[2]、HDV/DVダビング*[2]やAVCHDダビングで取り込まれたタイトル（カメラ取込みで作成したタイトルや、そのプレイリスト）を表示します

2

アイコン	説明
NEW	再生されていないタイトル
	プレイリスト
★	x-おまかせ・まる録のおすすめ設定により録画されたタイトル
NEW★（金）	x-おまかせ・まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
NEW★（青）	x-おまかせ・まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトル
	x-おまかせ・まる録のおまかせ設定により録画されたタイトル。 の付いたタイトルで が付いているタイトルは、本機のハードディスクがいっぱいになったときに自動的に削除されます

その他

アイコン	説明
(金)	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
(青)	x-おまかせ･まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトル
●(赤)	録画中
	再生中
	追いかけ再生中
(ピンク)	本機のハードディスクにダビング中のタイトル
(灰)	本機のハードディスクにダビング予定のタイトル
(ピンク)	ディスクにダビング中のタイトル
(灰)	ディスクにダビング予定のタイトル
(ピンク)	外付けハードディスクにダビング中のタイトル
(灰)	外付けハードディスクにダビング予定のタイトル
(ピンク)	おでかけ転送中のタイトル*[1]
(灰)	おでかけ転送予定のタイトル*[1]
(ピンク)	無線おでかけ転送中のタイトル*[1]
	インターネットサービスからダウンロードしたタイトル
(ピンク)	インターネットサービスからダウンロード中のタイトル
(灰)	インターネットサービスからのダウンロード一時停止、または中断エラーのタイトル
	インターネットサービスからダウンロード中に追いかけ再生をしているタイトル
	インターネットサービスからダウンロードされ、再生されていないタイトル
3D	放送局側で3D信号が付けられたタイトルや、他機器などで撮影した3D映像

3

アイコン	説明
など	録画予約時や録画したタイトルに設定したマーク
1	コピー制御信号により、1回だけ移動(ムーブ)できるタイトル(本機／外付けのハードディスクからBDおよびDVDのCPRM対応ディスクへのダビング、BDから本機／外付けのハードディスクへのダビング、本機／外付けのハードディスク間のダビング、おでかけ転送*[1])。 ダビングや携帯電話におでかけ転送すると元のタイトルは削除されます
1 10 各種	ダビング可能回数2 ～ 10回のタイトルや、ダビング可能回数1 ～ 9回のプレイリスト、インターネットサービスからダウンロードしたタイトル。数字の回数だけ、BDおよびDVDのCPRM対応ディスクや、本機と外付けハードディスク間でダビングできます。ダビングすると数字が減り、ダビング可能回数に達すると、コピー制御信号によりダビング元のタイトルは削除されます。
	ダビングできないタイトル
DR など	録画モード(DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER)
	毎回録画で前回分を上書きしたタイトル
	プロテクト(保護)されたタイトル
	x-おまかせ･まる録で録画され、自動削除対象となっているタイトル。プロテクト(保護)や編集をすると、自動削除対象からはずれます
パック	インターネットサービスからパック購入したタイトル
x-Pict Story	x-Pict Story HDのビデオ作品
	視聴年齢制限付きタイトル
	他機器で再生できるタイトル
	“ウォークマン”などに高速でおでかけ転送できるタイトル*[1]
	PSP®などに高速でおでかけ転送できるタイトル*[1]
	携帯電話に高速でおでかけ転送できるタイトル*[1]
	スマートフォン／タブレットPCに高速でおでかけ転送できるタイトル*[1]

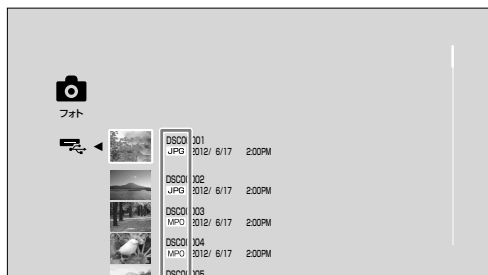
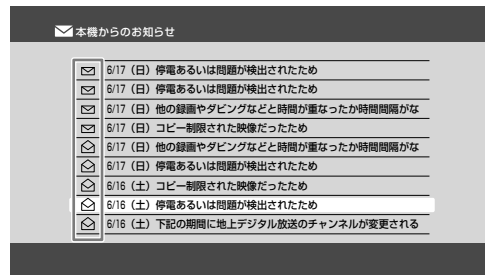
*[1] 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

*[2] 対象機種：BDZ-EX3000。

写真の一覧（84ページ）

アイコン	説明
3D	3Dの写真データ
JPG	JPEGの写真データ
MPO	MPOの写真データ

ダウンロード管理画面（50ページ）

アイコン	説明
（ピンク）	インターネットサービスからダウンロード中のタイトル
	ダウンロードを一時停止しているタイトル
	ダウンロードエラーのタイトル。 本機のハードディスクの容量が不足している、または保存できるタイトル数が上限に達している場合、ダウンロードできません。またネットワークの中断や、ダウンロード期限が過ぎている場合にもエラーとなります
パック	インターネットサービスからパック購入したタイトル

お知らせ（99ページ）

アイコン	説明
	すでに読んだお知らせ
	まだ読んでいないお知らせ。 お知らせはお客様自身で削除できません

オプション項目一覧

《オプション》ボタンを押すと、さまざまな設定や操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

五十音順

あ行

オプション機能		できること
映像切換		違うアングルなど、複数の映像があるときに切り換えます。
追いかけ再生		録画中の番組を再生します（27ページ）。
おでかけ進行状況		おでかけ転送実行中に、おでかけ転送進捗画面を表示します。
おでかけ転送		
	選択転送	選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します（74ページ）。
	すべて転送	表示中のリストのうち、上から順に30個までを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します。
	グループ内選択	グループ内の選んだタイトルを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します。
	グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、上から順に30個までを、おでかけ転送用動画ファイルとして転送します。
おまかせへ登録		お気に入り設定や検索の条件設定を、x-おまかせ･まる録に登録すると、自動で録画します（22ページ）。
思い出ディスクダビング		本機に取り込んだ動画や写真、x-ScrapBookなどをディスクに書き出します（87ページ）。
音声設定		37ページをご覧ください。

か行

オプション機能		できること
改行		改行します。
回転（左／右）		左や右回りに写真を90度回転させます。
画質設定		35ページをご覧ください。
気になる人名		視聴中の番組や、タイトルの情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組やタイトルを検索します（21、30ページ）。
気になるワード		視聴中の番組や、タイトルの情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組やタイトルを検索します（21、30ページ）。
グループ表示		グループごとに分類します（31ページ）。
コーナー目次		録画した地上デジタル放送のタイトルのコーナーリストを表示します。
降雨対応切換		降雨などで通常放送が正常に受信できないときに降雨対応放送に切り換えます。
語句登録		表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録します。
コピー		アルバムや写真をコピーします。
	1アルバムコピー	1つのアルバムをコピーします（83ページ）。
	1ファイルコピー	1ファイルの写真をコピーします（84ページ）。
	選択コピー	選択した複数のアルバムや写真をコピーします。

さ行

オプション機能	できること
サービス切換	
テレビ／ラジオ／データ	テレビ番組／ラジオ番組／データ放送のチャンネルをそれぞれ表示します。
再検索	番組やタイトルを再検索します。
再生／再生停止	再生（27ページ）／再生を停止します。
再読込み	表示中のページを更新します。
削除	タイトルや写真、ブックマークなどを削除します。
1タイトル削除	1つのタイトルを削除します（54ページ）。
1ファイル削除	1枚の写真を削除します。
1件削除	x-おまかせ･まる録の予約を1件取り消します。
選択削除	タイトルまたは写真、x-おまかせ･まる録の予約を複数選んで削除します（54ページ）。
すべて削除	表示中のリストのすべてのタイトルを削除します（54ページ）。
グループ削除	グループのタイトルを一括して削除します（54ページ）。
グループ内選択	グループ内の複数のタイトルを選んで削除します。
シーンサーチ	見たい場面をすばやく探します（34ページ）。
次回予約	録画したタイトルの次回の予約をします。
視聴制限一時解除／視聴制限再設定	視聴年齢制限を一時的に解除／再設定します。
ジャンル色設定	地上デジタルやBS、CSデジタル番組表で表示される色に好みのジャンルを割り当てます。
終了	インターネットサービスを終了します。
条件設定へ	日時指定検索の条件を変更します。
情報表示	タイトルや予約、インターネットサービスのページ、写真などの詳細情報を表示します。表示される情報が多い場合は、↑↓で画面をスクロールしてください。
初期化	BD-REを初期化します（72ページ）。
新規作成	x-Pict Story HDのビデオ作品を作成します（85ページ）。
新規登録	お気に入り番組表やおまかせ設定を新規登録します。
進行状況	インターネットサービスからダウンロード中に、ダウンロード管理画面を表示します（158ページ）。

オプション機能	できること
信号選択	● 複数の映像／音声が記録された映像をモードを変えてダビングする場合、ダビングする映像／音声信号を設定します。 ● 複数の映像／音声が記録されている映像をおでかけ転送するときは、転送する映像／音声信号を設定します。インターネットサービスからダウンロードしたタイトルをおでかけ転送するときは字幕も設定できます。
進む	次のページを表示します。
すべて一時停止／すべて再開	ダウンロードを一時的に停止／再開します。
スライドショー	スライドショーで表示します（85ページ）。
スライドショーの速さ	スライドショー表示の速さ（速い／標準／遅い）を設定します。
設定／編集	
名前変更	名前を変更します（60ページ）。
NEW設定	タイトルリストに NEW マークを付けます（55ページ）。
マーク設定	タイトルにマークを設定します（59ページ）。
サムネイル設定	タイトルのサムネイル画像を変更します（60ページ）。
チャプター編集	チャプターを分割／削除／結合します（56ページ）。
部分削除	タイトル内の一部分を選んで削除します（57ページ）。
タイトル分割	タイトルを2つに分割します（58ページ）。
タイトル結合	複数のタイトルを結合します（59ページ）。
プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します（57ページ）。
設定削除	登録しているお気に入り番組表やおまかせ設定を削除します。
設定取消	設定した条件を取り消します。
設定変更	お気に入り番組表やx-おまかせ･まる録の設定を変更します。
前回終了のページ	前回インターネットサービスを終了するときに表示していたページを表示します。
選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
全タイトル表示	すべてのタイトルを表示します。
選択／選択解除	タイトルを選択／選択を解除します。
選択モード	x-ScrapBookを選択モードに切り換えます。
全チャンネル表示／設定チャンネル表示	全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。

た行

オプション機能	できること
ダイジェスト／ダイジェスト解除	タイトルの見どころ場面(盛り上がり場面)のみを再生／ダイジェスト再生を解除します(32ページ)(対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000)。
ダイジェスト時間	ダイジェスト再生の時間を変更します(32ページ)(対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000)。
タイトル検索	
ジャンル検索	ジャンルを設定してタイトルを検索します。
キーワード検索	キーワードを設定してタイトルを検索します。
詳細条件検索	詳細条件を設定してタイトルを検索します。
タイトルサーチ	タイトルを選んで頭出しします(33ページ)。
ダウンロード管理	インターネットサービスを終了して、ダウンロード管理画面を表示します。
ダウンロード実行	選んだ映像のダウンロードを最優先にします。
ダビング進行状況	タイトルダビング実行中に、ダビング進捗画面を表示します(69ページ)。
ダビング停止	ダビング実行中にダビングを停止します。
ダビングモード設定	ダビングモードを設定します(71ページ)。
チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(33ページ)。
チャンネル指定	週間番組表の表示チャンネルを切り換えます。
チャンネル別表示	番組表をチャンネル別に週間表示します。
中止	選んだタイトルのダウンロードを中止します。ダウンロード管理画面やタイトルの一覧(タイトルリスト)からは削除されます。
重複確認	時間が重なっている録画予約を確認します(20ページ)。
停止	スライドショーやx-ScrapBookの再生を停止します。
ディスクへダビング	
選択ダビング	選んだタイトルをディスクにダビングします(63ページ)。
すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までをディスクにダビングします(63ページ)。
グループ内選択	グループ内の選んだタイトルをディスクにダビングします(69ページ)。
グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までをディスクにダビングします(69ページ)。

オプション機能	できること
テーマ変更	x-ScrapBookの壁紙のテーマを変更します。
転送選択取消	複数のタイトルを選んでワンタッチ転送を取り消します。
転送取消	1件のタイトルのワンタッチ転送を取り消します。
トップページ	インターネットサービスのトップページを表示します。
トップメニュー	ディスクのメニュー画面を表示します。

な行

オプション機能	できること
名前変更	BDやグループ、アルバム、ブックマークなどの名前を変更します。文字入力については136ページをご覧ください。
並べ替え	タイトルを並べ替えます。
日時指定	日時を選んで番組表を表示します。
入力	文字入力画面を表示します。
入力切換	外部入力の映像を切り換えます。

は行

オプション機能	できること
はじめから再生	タイトルをはじめから再生します。
早見／早見解除	タイトルを早見再生／早見再生を解除します。
番組検索	
日時指定検索	日付、時間、放送、チャンネルを指定して番組を検索します。
ジャンル検索	ジャンルを設定して番組を検索します。
キーワード検索	キーワードを設定して番組を検索します。
詳細条件検索	詳細条件を設定して番組を検索します。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します。
番組追跡情報	次の場合に、番組追跡情報を表示します。 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組。 • 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で延長を設定した番組。
番組表	番組表を表示します。
番組表取得	番組情報を取得します。
番組表を表示	選んだお気に入り番組表を表示します。
番組名検索情報	番組名で毎回録画するときに、番組名の確認や変更ができます。
番組録画	見ている番組を録画します。

オプション機能		できること
左削除		カーソルの左1文字を削除します。
日付順表示		予約を日付順に表示します。
ビデオ解除		x-ScrapBookのビデオの参照を解除します。
表示		x-ScrapBookを表示します（85ページ）。
表紙へ		x-ScrapBookの表紙ページを表示します。
表示モード		
	ノーマル	写真全体を表示し、余白には黒帯を表示します。
	ズーム	横長の写真を画面いっぱいに表示します。写真が縦方向にはみ出した場合は、はみ出した部分は表示されません。縦長の写真は［ノーマル］と同様に表示します。
標準表示に戻す		番組表を標準表示に戻します。
開く		選んだブックマークのページを表示します。
ファイナライズ		DVDをファイナライズします（71ページ）。
ファイルサーチ		指定した写真を表示します。
ブックマーク		
	ブックマーク一覧	ブックマーク一覧画面を表示します。
	ブックマーク追加	表示中のページをブックマークに登録します。ブックマークは10個まで登録できます。
プロテクト／プロテクト解除		本機／外付けのハードディスクやディスクのタイトルが削除、編集されないよう保護／保護を解除します（55ページ）。
ページサーチ		入力した番号のページをx-ScrapBookで表示します。
ページモード		x-ScrapBookをページモードに切り換えます。
編集		
	タイトル結合	複数のタイトルを結合します。
	プレイリスト作成	タイトルから映像の範囲を選び、新しいプレイリストを作成します。
	テーマ変更	x-ScrapBookで壁紙のテーマを変更します。
	ビデオ選択解除	x-ScrapBookでビデオの参照を複数選択して解除します。
	ビデオ選択追加	x-ScrapBookにビデオを追加します。
放送切換		
	地上デジタル／BSデジタル／CSデジタル	それぞれの番組表を表示します。
ポップアップ		DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します。

ま行

オプション機能		できること
みどころ特集設定		みどころ特集で対象とする特集テーマを設定します（24ページ）。
メニュー		DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します。
モード		おでかけ転送する映像の録画モードを設定します。
	VGA2.0M	VGA2.0Mbpsの映像を転送します。
	VGA1.0M	VGA1.0Mbpsの映像を転送します。
	QVGA768k	QVGA 768kbpsの映像を転送します。
	QVGA384k	QVGA 384kbpsの映像を転送します。
戻る		前のページを表示します。

や行

オプション機能		できること
優先順表示		予約を優先順に表示します。
優先変更		予約の優先順位を変更します。
読込み中止		ページの読み込みを中止します。
予約削除		録画予約を取り消します（20ページ）。
	1件削除	1件の予約を取り消します。
	選択削除	複数の予約をまとめて取り消します。
予約修正		録画予約情報を修正します（20ページ）。
予約へ変更		おまかせ･まる録で予約されている番組を、自動録画から、番組表からの予約と同じように、優先順位を上げて録画します。
予約名変更		予約名を変更します。

ら行

オプション機能	できること
録画延長	録画中の番組の録画時間を延長します。「おまかせ予約リスト」の番組を延長した場合、その番組は「予約リスト」に移動します。
録画時間設定	視聴しながら録画中（クイックタイマー）に録画時間を変更します。
録画停止	録画を停止します。
録画モード	録画先や録画する時間、画質に合わせて設定します。
録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします（16ページ）。また、確実に録画したい番組を録画予約します。
ロック／ロック解除	BDを再生できないように、ロック／ロックを解除します（72ページ）。

アルファベット順

オプション機能	できること
BDクローズ	BD-Rを録画できないようにします(71ページ)。
BD情報	BDの情報を表示します。
BD録画	BDに録画します。
Cookie削除	Cookieを削除します。
DVD情報	DVDの情報を表示します。
HDD情報	本機のハードディスクの情報を表示します(19ページ)。
HDDへダビング	本機のハードディスクにダビングします(68、81ページ)。
選択ダビング	選んだタイトルを本機のハードディスクにダビングします(68、81ページ)。
すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までを本機のハードディスクにダビングします。
グループ内選択	グループ内の選んだタイトルを本機のハードディスクにダビングします。
グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までを本機のハードディスクにダビングします。
HDD録画	本機のハードディスクに録画します。
My !番組表	My !番組表を表示します(24ページ)。
My !番組表へ登録	My !番組表に検索の条件を登録します(24ページ)。
USB HDD情報	外付けハードディスクの情報を表示します。
USB HDDへダビング	外付けのハードディスクにダビングします(67、81ページ)。
選択ダビング	選んだタイトルを外付けハードディスクにダビングします(67、81ページ)。
すべてダビング	表示中のリストのうち、録画日が古い順に30個までを外付けハードディスクにダビングします。
グループ内選択	グループ内の選んだタイトルを外付けハードディスクにダビングします。
グループ内すべて	グループ内のタイトルのうち、録画日が古い順に30個までを外付けハードディスクにダビングします。
USB HDD録画	外付けハードディスクに録画します。
x-Pict Story作成	x-Pict Story HDのビデオ作品を作成します(85ページ)。
x-ScrapBook再生	x-ScrapBookを再生します(85ページ)。

用語集

五十音順

アクセスポイント（42ページ）
無線LAN*の中継機器です。無線LANルーターは、無線LANアクセスポイントとブロードバンドルーター機能を内蔵し、無線LANと有線LANの橋渡しをします。

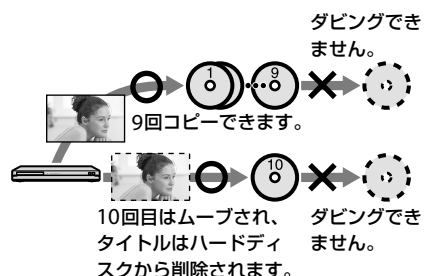
* 対象機種：BDZ-EX3000 / ET2000 / ET1000 / EW2000 / EW1000 / EW500。

解像度（99ページ）
ディスプレイの表示能力として、出力される映像の情報量の細かさを表現する単位。この値が高いほどより自然に近い画質が得られます。

サムネイル（60ページ）
複数の動画や画像を一覧表示するために縮小された画像。本機のタイトルリストなどに表示されます。

字幕放送（34ページ）
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。本機では、字幕を入／切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

タイトル（27ページ）
ハードディスクやBD、DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたります。本機で録画された番組などの映像のこともタイトルと呼んでいます。

ダビング10
著作権保護のため、10回までダビングすることが許可されています。ダビング可能回数の数字はアイコンで表示されます（157ページ）。

ブロードバンドルーター（42ページ）
家庭内にある複数のパソコンやデジタル家電を相互に接続できるネットワーク機器です。LAN録画／LANムーブ、ソニールームリンク、リモート録画予約などのネットワーク機能利用時に使います。

分配器
入力された信号を、同じ周波数で複数に分けるための機器です。ただし、信号を分けることにより信号のレベルが小さくなります。

分波器（らくらくスタートガイド）
地上波、BS/CSなどが合成された信号を、それぞれの信号に分けて出力する機器です。

ムーブ（移動）
タイトルリストで 1⇨ が表示されているタイトルは、ハードディスクからディスクなどに、1回だけムーブ（移動）できます。BDに保存したタイトルは、本機のハードディスクに移動できます。ハードディスクから外付けハードディスクには、ダビング可能回数の1回分を含めて、タイトルを移動できます。

ルートCA証明書（99ページ）
ルートCA証明書はルートCA（認証機関）が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。

アルファベット順

BD-J（87ページ）
双方向操作を可能にするため、BD-ROMフォーマットではJavaをサポートしています。“BD-J”と呼ばれるJavaアプリケーションを使って、思い出ディスクダビングからBD-Jメニュー付きのディスクを作成してカレンダー表示などのメニューから動画や写真などを再生できます。

BD-R（BD Recordable）
ハイビジョン映像の記録･再生に対応した一度だけ書き込めるBD。記録したコンテンツは上書きできないため、大切な映像の保管･配布に使えます。

BD-RE（BD Rewritable）
ハイビジョン映像の記録･再生に対応した書き換えができるBD。上書きができるため、さまざまな編集や、テレビ番組の録画などに適しています。

BD-ROM（BD Read Only Media）
映画などの映像を記録して市販される読み込み専用のBD。映画などの映像素材をハイビジョン画質で収録できることに加え、双方向性コンテンツ、ポップアップメニューによるメニュー操作、字幕のさまざまな表示方法や、スライドショーなどの拡張機能があります。

BDAV（BD Audio/Visual）
デジタル放送の番組などを記録したディスクの規格です。BD-R、BD-REにデジタル放送の番組を録画したりコピーしたりできます。

BDMV（BD Video）
映像･音声･字幕･メニュー表示に関する情報を記録できる、ディスクの規格です。「BD-ROM」で利用されているアプリケーションフォーマットの一種です。市販のBD-ROMや思い出ディスクダビングで書き出したBD-R、BD-REがBDMVになります。

CPRM（Content Protection for Recordable Media）
著作権を保護するために映像素材を暗号化・復号化する技術です。CPRM対応のDVD-RWおよびDVD-Rに録画したタイトルは、CPRMに対応した機器でのみ再生できます。

DVD-R（DVD Recordable）
映像の記録・再生に対応した一度だけ書き込めるDVD。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。
映像の保管・配布に使えます。

DVD-RW（DVD ReWritable）
映像の記録・再生に対応した書き換えができるDVD。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。
映像の保管にくり返し使えます。

GigaByte（GB）
ギガバイトと読みます。ハードディスクやBD、DVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送れるインターフェースです。
ハイビジョン映像を高画質、高音質で楽しめます。

STB（CATVチューナー）
セットトップボックス。ケーブルテレビ放送の放送信号を受信して、テレビで視聴できる信号に変換する機器です。
本書では、ケーブルテレビ（CATV）チューナーと呼びます。

TeraByte（TB）
テラバイトと読みます。ハードディスクなどの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。
1テラバイトは1ギガバイトの1,024倍です。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

その他

ま行

や行

ら行

わ行

数字順／アルファベット順

数字

アルファベット

4-435-911-**02** (1)

Q＆A

製品について困ったときは

- ●よくあるお問い合わせのQ＆Aを知りたい
- ●アンテナやテレビとの接続を確認したい
- ●使いかたの詳しい情報を知りたい

インターネットで下記アドレスを入力してください。

http://www.sony.jp/support/bd/

この説明書は、古紙70％以上の再生紙と、
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。